滿洲日報
夕刊
九月十九日
發行編輯印刷人 鈴木山下 水田庄太 井代郎
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

事態を擴大せぬやう出來る限り努力
けさ臨時閣議決定 政府聲明書を發表

【東京特電十九日發】政府は奉天における事態急迫につき十九日午前十時より官邸に臨時閣議を開き若槻首相以下各大臣出席劈頭若槻首相より「緊急閣議を開きたるは昨夜奉天附近に起つた**日支兩軍衝突事件が極めて重大なるを以て之が處置につき協議したい**」と述べ陸軍省より「奉天北大營で支那兵が鐵道を破壊し同時に日本警戒兵を驅逐したとの報に急遽應援に赴き引揚げる際衝突するに至つたものである、而して我兵が非常に不足のため奉天の一大隊中より若干を急派し支那兵五、六百名と會戰したがその後の狀況は判明せず奉天大隊は右救援と同時に領事館商埠地居留民防備の配備を爲した」と報告、幣原外相より外務省に達した情報を報告更に安保海相より「海軍は必要あれば十二時間以内に佐世保より出動し得る準備整つてゐる」と報告意見交換の後**本件については政府は事態を擴大せしめざるやう極力努むる方針**に決し午後零時十五分散會、大臣より直ちに同一主旨を以つて關東軍司令官に訓令したとの聲明書を發した

鐵線爆破により突如日支軍衝突となり交戰中の報に接し南陸相は幣原外相と協議のうへ應急處置を取敢ず電命し今朝八時十五分若槻首相を訪問衝突事件の經過を報告密議するところあつた

東北第九聯隊を占領

十九日午前四時半我軍は東北第九聯隊を占領した【奉天電話】

皇姑屯支那兵我軍を攻撃

十九日午前四時皇姑屯にまた支那兵二個中隊現はれ我軍に對し攻撃して來たので目下應戰中である【奉天電話】

奉天總領事に訓電

【東京特電十九日發】外務省は滿洲の日支衝突事件を飽迄地方的問題として解決し事件を之以上擴大する事を防止するやう方針決定其旨林奉天總領事に訓令を發した

我海軍の出動準備

【東京十九日發】滿洲における日支兩軍衝突事件に關し海軍當局は十九日午前八時三十分大臣室で安保海相、小林次官、堀軍務局長等軍部首腦部緊急會議を開き海軍側の態度につき意見交換を行つた結果事件が擴大され滿洲各地に延長を見る最惡なる事態に備へるため目下青島に在る巡洋艦多摩を旗艦とする第二遣外艦隊を特別警備任務に就かしめ更に事急變の際は目下佐世保に在る第二十四驅逐隊を長江に急派せしめ警備に遺憾なきを期すこととなつた

根本的に支那を膺懲
我軍部の空氣は益々硬化

【東京十九日發】日支兩軍衝突事件に關し當面の處置として朝鮮軍の一部の出動その他大體內定してゐるが軍部の空氣は支那官兵が集團的に滿鐵線を破壊するに至つては最早容赦の餘地なく旣に兩軍の間に火蓋が切られたのであるから根本的に支那の侮日的態度を膺懲して一氣に滿蒙諸懸案を解決せねばならぬといふにあり而も奉天、長春その他各地で兩軍の衝突あり結局大部隊が內地から出動するの已むなきに至らんと見らる

陸相首相協議

【東京特電十九日發】支那軍の滿

旅順部隊の出動

(上)旅順重砲隊出發(中)重砲列車內積込み(下)旅順憲兵隊の出發

天津の日本駐屯軍出動準備整ふ
列國側居留民保護を申合はす

【天津特電十九日發】奉天の日支衝突事件に鑑み當地日本駐屯軍では直に緊急會議を開き當地での不祥事發生を懸念し萬一のため何時でも出動し得る準備を完了すると共に列國側に諒解を求めた、列國側は若し支那軍が日本租界に侵入の場合は一致して日本軍を援助し居留民保護を申合せた

王樹常氏管下の軍隊を訓戒
輕擧妄動する勿れと

【天津特電十九日發】日支衝突に關し王樹常氏は本日直に管下の軍隊に對し輕擧妄動を戒める訓戒をなした

江代理公使我外務省を訪問
日本の態度を聽取

【東京十九日發】江支那代理公使は十九日朝十時外務省に谷亞細亞局長を訪ひ奉天事件並に外務當局の態度につき詳細聽取した

寛城子占領の詳報

寛城子支那軍隊の武裝解除は大島聯隊長指揮の下に十九日午前四時半より行動を開始したが敵は頑強に抗するため交戰永引き九時半までには兵舍の一部分を占領したのみで完全なる武裝解除までに至らずこの間我軍は戰死軍曹以下四名負傷特務曹長以下十四五名を出し戰線における負傷者はどんどん聯隊醫務室に收容される有樣で支那側は第二連營長傅冠軍ほか多數の死傷者あつた模樣である、かくて北方の寛城子、南方の南嶺に敵を邀へた我軍は相當苦戰の形勢にあつたが應援隊續々と到着し午前十一時遂に占領するにいたつたものである【長春電話】

周水子飛行場緊張

日本航空會社大連出張所では奉天事件に關し軍部よりの要求あれば何時にても飛行機を出發させる事とし周水子飛行場では準備萬端整へ緊張してゐる

小西邊門一番乘の勇士

奉天城占領にあたりわが三浦一等卒は小西邊門破壊に際して一番乘りの功名をあげた【奉天電話】

我軍死傷者

長春附近における我軍の死傷者は寛城子において死者四名、負傷者十五六名、南嶺において負傷五名【長春電話】

奉天城內の治安はわが憲兵隊が維持
滿鐵公所に本部設置

十九日午前六時半に至り我軍は奉天城內を完全に占領した、この際入城せるは奉天獨立守備隊、鐵道守備隊、遼陽第十六旅團であるが奉天憲兵隊は城內における治安維持を命ぜられ十九日午後城內に入城するに決し本部は滿鐵公所內に置く事となつた【奉天電話】

支那兵及び巡警三百七十名捕虜
奉天憲兵隊に護送

我軍の攻擊による支那側の損害程度は判明せぬが午前十一時半捕虜三百五十名は鐵道のトラック二台に分乘せしめ奉天憲兵隊本部裏手に假設せる收容所に收容した又巡警二十名は支那軍某旅長息子一名と共に十一時十分憲兵隊に護送されて來た【奉天電話】

城內支那兵は約三千

我軍の猛擊により支那軍の敗殘兵で附近の山中に遁走せる者數知れず城內に集結せる殘兵は東大營に約三千、講武堂及び各兵科訓練所々隊の若干部隊のみである【奉天電話】

將校團は無事

今朝七時長春着の東支第十一旅客列車には哈市派遣に赴いた新發田

瓦房店公安隊の武裝を解除
暴民等は一時抵抗

瓦房店守備隊に出動命令下り隊長以下百名は十九日午前三時臨時列車で營口に向つて出發した、殘留部隊は支那公安隊に對し武裝解除を命じたので暴民反抗し竹槍、スコップその他の兇器をもち數百の群衆は附屬地に向つて襲擊せんとしたので在留官民は危險を慮り關東長官、軍司令官、滿鐵總裁に軍隊及び警察官の應援を要求すると共に義勇警備隊を組織し市街の警備に任じた、然るに公安部幹部は穩便なる態度に出で武裝解除を承認したので公安隊全員百五十名の武裝解除を實行した、在留官民は極度の緊張を以て不眠不休あらゆる警備に任ずる覺悟である、熊岳城より應援巡査十五名來着を得て目下管內の警備に任じてゐる【瓦房店電話】

鳳凰城支那兵の武裝解除

鳳凰城の我守備隊は城內の支那兵に武裝解除をなさしめた【鳳凰城電話】

監獄役人逃走

奉天城內小南門の支那監獄には約二千名の囚人があるが典獄始め獄卒が全部逃走し危險なので東北法學研究會長趙欣伯は憲兵隊に之が保護を請願した【奉天電話】

安東保障占領ご押收品

安東保障占領により支那兵武器の押收せる數は小銃六十四挺、不良銃二十挺、短銃十五挺、彈藥二十八個、銃劍二十挺その他藥包である【安東電話】

吉長、長哈間通信全く不通

日支事件突發と共に支那官憲は早くも日本人の長哈間電報の受付を禁じたらしく哈市よりの通信は全く不通に陥り彼地の狀況は一切不明である、滿鐵へは公務電報(事務電報)に限り他は之亦全く通信を絕ち無電も不通となつたなほ吉林長春間も同時に不通となつた

滿鐵に時局事務所
各係主任で組織、奉天と聯絡し鐵道輸送計畫に當る

滿鐵本社では益々惡化する時局に善處するために村上鐵道部長、山崎總務部次長を始め、各課長、技術課、鐵道部庶務、工務、車務、運轉その他關係各課長、主任を以て時局事務所を新設し鐵道部會議室に置き奉天事務所內にも同樣の機關を設け電話を以て連絡し輸送計畫に當ることとなつた、尚佐藤鐵道部次長は連絡の爲め十九日午前九時發列車で奉天に向つた

軍部と連絡をとり治安維持に努力
塚本長官の歸任談

去る八月十二日上京した塚本關東長官は所轄內政務報告及び對支外交問題について中央政府と打合せその他要務を果して室田秘書官帶同十九日午前八時半入港のうらる丸にて歸連したが折柄十八日夜よりの奉天における日支衝突あり對支關係重大化したので三浦內務局長、西山財務部長、河相外事課長、田邊秘書課長等關東廳高官、滿鐵村上、竹中兩理事等ランチにて港外まで出迎へ、一方市內警察四署總動員にて物々しく長官身邊を警戒した、沖合まで出迎へた三浦內務局長は直に塚本長官に對し衝突事件勃發の成行について報告するところあり、記者の呈した本紙十九日朝刊及び號外を見て

今、船の無電の飜譯が出來上つたのと滿日の號外を貰つたのが同時で之を見て實に驚いた、支那兵が滿鐵線を破壊せるのが原因とは實に支那は怪しからん、

と憤慨し乍ら語る

私は船中にあつてこの成行については全然知らないから何とも言へないが事態が茲に到つた以上行政長官として軍部と聯絡をとり在留邦人の保護及び治安維持に全力を盡す、今聞いたが旅大から既に警官隊が行つたさうだれ、當然の處置だ

「政府當局の肚は」と記者の問に對して長官は

愈よ斯うなれば積極的に行くところまでやらればなるまい

と答へなほ語を續け

今回の中華民國の要人の言動に對しても內地國民は非常に人心を刺戟され、今輿論沸騰してゐる、滿蒙に對して內地國民は從來にない強い意思と大いなる關心を持つてゐることは事實だ、又國民は目下の支那時局に對して出先官憲の主張を強く支持してゐる

次いで話頭を轉じ

今回の上京は北白川宮、閑院宮の兩宮樣の御渡滿に際し御警衞の報告、過日私が北滿及び州內視察せる結果の管內狀況報告を兼ねての用事だつた、歸つてから行財政整理は是非やらればならないが私は未だ何等の報告を聞いてゐないから具體案については分らない、税制整理とは行財政整理とは別個にやるのだが二十六日に特別委員會が開かれるといふから私も出席してなほ私の持つてゐる意見もあるから其處において愈々具體案を作りあげやう、要は税の公平なる負擔を主要とするのだから個人所得税の問題もその意味において具體化するかも知れない、私は直ぐ旅順に歸るが其の前に滿鐵正副總裁に會ふつもりだ

出迎への人と共に午前九時四十五分上陸した塚本長官は自動車にて滿鐵本社に內田、江口正副總裁を訪ひ重要會見した

國境方面も嚴重警備
朝鮮軍司令官談

【京城十九日發】林朝鮮軍司令官は語る

暴戾なる支那軍隊は遂に我滿鐵線を破壊し守備隊を攻擊する無謀なる行動に出たが朝鮮軍では形勢に應じて自發的にも應援を出すべく準備中であつたもので關東軍方面からも情勢の大要を入手し動員の請求を受けた、依つて直に朝鮮軍第〇〇師團附屬の一部は今曉出動準備を整へ目下一部出發他の部隊も續いて出發の筈である、滿洲に向つた增援隊の兵力その他は朝鮮警備の關係上發表出來ない、なほ國境守備隊は嚴重なる警備に當つてゐる、今後の軍の行動については主として中央の指令を仰ぐことゝなる、中央も下奉天を中心に交戰狀態に在るので早晩何等かの發動を見るものと考へる

重砲兵殘留部隊
けふ午後奉天へ急派

旅順重砲兵大隊では一個中隊を臨時編成し清水大尉引率の下に十五珊砲四門、野砲六門、追擊砲十六門、狙擊砲七門その他彈藥兵器等を六輛の貨車に積み込み午後一時二十五分發列車で赴奉した

軍司令部首腦奉天着

本庄關東軍司令官は石原參謀以下幕僚十名と第三十聯隊の一個大隊を引率して十九日正午着奉し直に驛貴賓室において板垣高級參謀より一般報告を受けた、關東軍司令部は附屬地大廣場の東拓支店の二階に置かれた

旅順部隊送迎

十九日午前十時半臨時列車にて本庄軍司令官並に旅順駐剳聯隊將校下士卒八百名當驛を通過驛にて辨當茶菓を青年團の手により配布し官民多數見送り萬歲聲裡に奉天へ向つた【鞍山電話】

旅順部隊一部長春に出動

旅順から來着した第三十聯隊は長春方面手薄なので長春に出動することに決した【奉天電話】

南嶺砲兵隊の武裝解除

長春城內における第六十六團(兵數三百名)は戰鬪準備をなしつゝのへ出動したが南嶺の砲兵隊は大體武裝解除された【長春電話】

平壤から飛行隊けさ北行

【平壤特電十九日發】飛行選拔隊十四名今朝新義州へ向つた、龍山步兵混成一旅團今日午前六時當地を通過北上した平壤步兵隊も參加

露人驛員逃走
貨車立往生

寛城子驛勤務露人從業員は日本軍の行動を開始すると早くも日本軍の東支占領だと早合點し悉く逃げ出して未だ歸つて來ない、之が爲めに旅客列車は平常通り到着するが貨物列車は書類の交換不可能に陷り寛城子驛に到着したまゝ立往生してゐる

ついた火は消せ
頭山滿翁沈痛に語る

【東京特電十九日發】支那軍の挑戰により遂にわが軍の憤起を見たことにつき頭山滿翁は極めて沈痛な態度にて語る

支那と日本とは元來離れてならん關係にある、曾て孫中山君が神戸に來たとき互ひに語つたことであるが支那と日本とは常に相協力してアジアの平和に盡し萬一の時には提携して外敵に當らねばならぬ、更に注意すべき點は支那及び日本に共產黨の跋扈せんとする形勢のあることでこれは容易ならんことであるから共に協力して、これが剿滅に努めなければならぬと申し合せた、今日共產黨の討伐は蔣介石軍がやつてゐるが、日本との關係は條文の意志に反するやうな結果となり遂ひに滿洲において正面衝突するに至つたことは遺憾千萬である、本來なら兩國の爲政者が事態茲に至るまへに考慮すべきであつた、しかも燐寸の火でも大火災をひき起すのであるから既に火がついた以上斷乎としてこれを消さなければならぬ

奥地滿鐵社員機宜の處置

滿鐵は支那奥地に在る各公所及び派遣員等に對しては特に避難は命じないがすべて各出先において機宜の處置を取り善處するやう十九日午前それぞれ訓令を發した、なほ十九日出連豫定の木村理事は事變突發の報を得て途中より奉天に引返し時局に善處することゝなつた

滿鐵東京支社の繁忙

【東京特電十九日發】滿鐵東京支社においては今朝七時半より大淵支社長、平山庶務課長、角田秘書等出社、奉天その他各地より來る電報を整理在京社員家族の安否問合せ等應接に多忙を極めてゐるが各新聞通信社員は早朝より殺到し情報の發表をまつなどなかなかの混雜を呈してゐる、引續き各新聞社の號外發行され人心は刻々に緊張、在滿邦人の安否を氣づかつてゐる

滿鐵貨物受付

滿鐵々道部では時局柄十九日朝各驛に於て運送承知の貨物だけを受付ける旨發表したがその輸送がやゝ順調に歸したので右通知を取消し通常通り受付けることゝなつた

高崎男來連

十九日入港のうらる丸にて貴族院議員高崎弓彥男が來連したが船中にて語る

貴族院議員の滿蒙視察團一行は十八日東京をたつて朝鮮經由で來る筈だ、僕はその案內役に一足先に歸つたわけだが內地では對支問題はなかなか喧しいよ、僕は公正會で萬寶山事件調査の報告をしたがこの頃は皆相當滿蒙實情について聞いて知つてゐる

號外發行

本社は十九日本夕刊發行後に三回に亘り號外を發行したが全滿讀者に配布せる分は本紙に再錄しませぬ

彈雨を潜り本社記者現地へ

文官屯、虎石臺居留民の無事を知つて狂喜す

闇を衝き今曉二時モーターカーで警官隊と共に急行

本社記者　兼本正一

滿鐵線路が虎石臺方面にて支那兵のため突如爆破され我守備隊撃退中との警報に余（兼本記者）は十九日午前二時モーターカーで現場に向ふ我警官隊一行に隨行、電燈一つなき暗黒の夜を冷風をついて驀進した、皇姑屯を通過したとおぼしき頃右手に**大砲の音、小銃の響一齊に湧き起るかと見るまに彈丸はヒユー／＼と闇をついて飛んで來る、**砲彈は鐵地を搖るがせて炸裂する、それへ犬の遠吠さへ加はつて物凄き事限りがない、文官屯に着けばいま北大營の一角は我軍占領せるが**虎石臺で**はなほ**兩軍激戰中**にして野田中尉名譽の負傷せりなどの情報を聞かされ一同武者振ひして虎石臺に着いた時には既に同驛近の支那部落陷落後で**我居留民は文官屯同樣無事なるを**聞き一同狂喜した、然し支那兵の便衣等ある模樣との事だつたが何分先程まできいてゐた影さへ見えず之を見極める術もない、歸途柳條溝附近に到れば鐵嶺からのわが應援隊約一箇大隊續々下車北大營方面に進擊中なるを見、然も流彈の飛來頻りにして危險この上なく、我等の任務は我同胞の安否如何にあればこれが安全を確めたる上は應々歸着すべく再び彈雨の下を潜つて二時間後奉天驛着、一同申合せたやうにホツとする

『日本軍占領』と大書の日章旗飜る奉天城内へ

居住民は滿鐵公所に避難無事

日支衝突の跡を直接みるために十九日午前八時記者は自動車に乘つて先づわが軍によつて占領された奉天城内に入つたが城壁の上にはわが日章旗がへんぽんとして飜へりわが軍の步哨が立つてゐるのが目につく、城内に足を踏み入れると各店舖は全部門戶を閉さしてゐるが支那人は城外と何等異るところなく三々伍々街上を通行してゐる、長官公署、交涉署、財政廳、司令部、教育廳等の各官衙を初め各銀行會社の門前には既に「日本軍占領」と大書せる紙が張りつけてある、しかして長官公署前には鹵獲せる小銃拳銃等が山の如く積まれわが軍隊によつて守られ同所には約四百名のわが軍が駐屯してゐる、目下のところ城内外は約二ケ大隊のわが兵によつて治安が維持されてゐる、かくて滿鐵奉天公所を訪へば總領事の命によつて各自の家から引揚げて來た七十五名のわが避難民が靜肅にしかも不安な面持で避難してゐた、商埠地四經路の榮臻參謀長の邸宅を覗いて見ると窓といふ窓は明けられて居り、室内の家具類は亂雜を極め狼狽して窓から逃げ出した樣が窺はれる、續いてこんどの衝突の端緒となつた柳條溝（奉天驛から十キロ）をみるに上り線のつなぎ目が強烈な爆藥によつて破壞され既にわが軍によつて修理されてゐた、皇姑屯のクロス點に行つてみると瀋陽驛から北平に行く線のクロス地點の線路は取り外してあり電線は全部切斷されてゐる、一方北大營はわが軍の砲彈によつて相當損害を受けてゐる【奉天電話】

沿線主要地の狀勢

各要所を嚴戒し撫順に不安なし

支那側に最後的警告をなし萬一の對策完備す

撫順における日支開戰にあたり撫順も十九日午前一時より各警備機關一齊に動員されまさに戰時狀態になつた、守備隊、防備隊、在鄉軍人、警察隊、中學生、工實青年團など一千名の合同軍組織され、整然たる統制指揮のもとに發電所、製油工場、各採炭所、驛中央事務所その他各要所々々の特別警戒任務につき凄ぐましき奮鬪、各どけつゝある、そのため十九日午前五時までには何らの被害なし、なほ附屬地内邦人は萬一の場合に撫順中學、高女の各校舍に避難する準備も出來てゐる、撫順炭礦各採炭所その他は平日の如く各從事員出勤はしてゐるが中央事務所始め人心落着かず仕事は手につかぬ狀態である、撫中、工實二校生は後方勤務のため休校この他各小學校、工場等は平日の如く從業をしてゐる、また一方十九日午前三時半撫順署杉町警務主任は支那縣公署に到り支那公安隊萬一抵抗するにおいては即時打ち拂ふから鐵嶺にせよとの最後的警告を發した、松田附近の支那民衆は十九日午前三時四十分銅鑼を鳴らして集合不穩の形勢あり、この方も村長に警告を發し若し應ぜざれば直に打ち拂ふ用意をしてゐる【撫順電話】

支那人を保護して日本軍が治安維持

多門中將から布告

奉天城を占領せる我軍は第二師團長多門二郎中將の名に於て

一、日本軍が支那人の保護と治安維持に當る
二、支那人にして若し日本人に危害を加へるものは銃殺す
三、如何なる集會、示威運動もこれを禁止す

旨の日本布告を發した【奉天電話】

緊張裡に歸任　塚本關東長官

支那街は完全封鎖

城内を警戒中

十九日午前十一時半における撫順の狀勢左の如し
支那側には公安隊員二百五十名巡警約八十名ありこれ等は今尚武裝を解除して居ないが日本側合同軍のため完全に封鎖され支那街より附屬地内には蟻のはい出るすきまもなく實質に於ては武裝解除と同一である、ために平素は支那人の人出の最も多い大山坑下國際道路や大官橋など も華人の通過全くなく支那街一體はあたかも袋の鼠の如く支那武裝隊や暴民の附屬地に出る餘地は全くない、又一方撫順城方面の敵情視察のため十九日午前六時偵察に赴きたる撫順署山口部長佐々木巡査一行四名は十一時歸署したる報告によると撫順城内には約二百名護路兵公安隊三十六名巡警二十二名計二百五十八名の武裝隊あるも大した不穩の形勢もない但し護路兵二百名の行動は特に警戒すべき必要がある【撫順電話】

鐵嶺

奉天事變の報傳はれるや當地における日支間は極めて平穩にて些の動搖も認めず十九日朝石塚領事は支那縣政府を訪問、日支官民の感情を激發せしめざるやう取締り警戒につき懇談 なほ時局のため小學校は授業を休止し兒童を歸宅せしめ二十日の校內大運動會も無期延期した【鐵嶺電話】

長春城内の居留民無事避難

交通遮斷し治安維持

長春城内の居留邦人は驛前滿鐵クラブに收容した、支那人避難民が附屬地に流れ込む模樣であるが一切入れぬ方針で警界は巡警の姿も見えず對峙の狀態である、一方長春駐箚長谷部旅團長は一切の命令を下し終り十九日十二時十分から旅團司令部で領事、署長、地方事務所長、鐵道事務所長等關係者を集め緊急會議を開いた、また東支鐵道の午前六時四十九分長春着列車は十九日午前八時十分到着したが同列車は途中三道溝に停車した際に日支交戰の形勢不利とみた列車警乘巡警は直に下車逃走した【長春電話】

するところあつた、支那側もこれに對し充分取締る旨嚴命した、而して支那公安隊は市街警備のため目下馬賊討伐中の公安兵を至急城內に召集する模樣であり、日本側も附屬地警備のため義勇團の非常召集を行ひ、應召者百餘名を以て二ケ小隊を編成し本部を警察署内に置き、十九日より警察と協力晝夜警戒の任に當ることゝなつた、な

哈市は平穩

衝突を知らず

【ハルビン特電十九日發】長春、ハルビン間電信不通のためハルビンに於ける邦人の安否が氣遣はれて居るが十九日早朝の長春入電によれば日支衝突事件未だ市中に知れわたらざるため日支とも平穩無事であると

金州

在鄉軍人會金州分會では時局に鑑み十九日正午全會員に對し何時にても即座に出動出來るやう準備かたを命令した【金州電話】

『實彈の音だ！』と一聲

砲火閃き交戰を直覺

日露役の勇士津久居翁のお通夜から飛び出す

本社記者　太原要

十八日夜日露戰役四十七士中の一方の旗頭故津久居平吉翁の通夜に林總領事木下在鄉軍人會長始め當時の志士連中集つて今はなき翁の武勳を語りつゝあつたところへ時**十時半とおぼしきころ俄然天を搖がす大鳴動起ると共に殷々たる砲聲は豆を煎る如き音響と交錯して續いた、時を移さず林總領事は急報により席をはづした**、記者（太原本社記者）初め並居る列席の木下少佐等は『**アリヤ實彈の音だ**』と叫んだ一同は時節柄さてはと戶外に飛び出した記者は音する方へ車を走らせたが町々の人々は何れも三々伍々軒下や辻角に蹲がつてたゞ事ならぬ物音に私語を交してゐる、柳町の陸橋の邊に至れば**夜陰にひらめく砲火アリ／＼と見られ**原因こそ不明だが、**日支交戰は確かと直覺した、間もなく全市は武裝せる警官隊のオートバイ疾驅、**右腕に所屬の腕章をつけた服裝さまざまな在鄉軍人團、カーキ服に長銃をかついだ青年訓練所員等の往來繁くなつた、この時某方面からの急報は支那兵、わが鐵道爆破のうへ守備隊を襲擊し來れるため目下應戰中とつげ來つた、銃砲聲は忽ち急にまた忽ちゆるやかに斷續しつゝある間**日支交戰の詳報は櫛をひくが如くに傳へられて來る**一時間後には町の辻々は守備兵、憲兵、警官、在鄉軍人で固められ**商埠地との境は鐵條網が張られ**柳町陸橋以北並に城內方面は交通遮斷となつた、奉天驛には遼陽、撫順からの急援隊續々臨時列車で送られ來り、將卒いづれも非常な緊張の面持ちにて城內方面に急行、**午前四時には多門師團長は幕僚を從へて奉天驛貴賓室を司令部として直ちに活動を開始する、**また東拓樓上**は片づけられ本庄軍司令官一行の來着を待ちつゝあり**あたかも戰爭當時そのまゝの光景である、たゞ異なるは支那人のざわめき殆どなく、午前五時平安通りから郊外の方を見廻るに、支那地區家屋の屋上には支那人大工はさし登る朝日を背にうけ、金槌を揮つて悠々たり、農夫高粱刈に餘念なくこゝ泰平の樂土の感がある、斯る間にも總領事館の命で滿鐵公所、赤十字社、鮮銀に避難せる同胞の安否氣遣はれつゝあつたが、午前五時半、わが兵一個小隊滿鐵公所に到着**同六時完全に保障占領の報に附屬地の同胞一同安堵の胸撫で下したのであつた**【奉天電話十九日午前六時】

管内の治安維持は

嚴重な警戒で異狀なし

警務局緊張す

滿洲治安維持の最高部たる關東廳警務局では事件勃發と同時に中谷警務局長、松田高等課長外局内幹部は十九日午前零時半登廳しそれぞれ部署につき中谷局長指揮の下に軍司令部との連絡及び奉天附屬地の治安維持等につき萬遺憾なき應急措置を協議の結果萬端の準備を整へたが中谷局長は語る
事件は御承知の通りで實に近來にない一大不祥事件である、先般來支那の青年兵は中村大尉事件に刺戟されて排日氣運濃厚となつて居た折柄だから恐らく今度の事件も日本何者ぞといつた支那兵の無謀からだらうと思ふが實に許すべからざる重大事である、戰爭は軍部の方でやつて貰つて居るので詳しくは知らぬが奉天附屬地及び管内の治安の維持は軍隊及び警察官の嚴重なる警戒で目下の處は幸に何等の異狀はない、然し斯る重大時期に際しては得て流言蜚語や各地で種々の事件が突發し易いので官民共に輕擧妄動を愼しみ十分善處する心がけで居なくてはならない

列國環視のうち愼重冷靜に

關東長官と重大協議後に

内田滿鐵總裁語る

塚本關東長官は歸任匆々滿鐵本社において約四十分間に亘り重要會見をとげた、内田滿鐵總裁は出入記者團を引見して左の如く語る
今各地から集まつて來る情報を見ながら大變なことになつたと思つてゐる、事こゝに至つては單に對支關係のみでなく列國環視のうちにあり極めて重大事である諸君と（記者連を指して）はもとより各人は極めて愼重に冷靜にことを考へて國家のため萬全の策を講じなければならぬ關東長官と會つたのは任匆々ではあり、單に自分の手許に來てゐる情報をお知らせしたに止まる、滿鐵沿線居住の邦人は先づ安心と思はれる　吉林、チチハル、ハルビン、鄭家屯等辟遠の地にある人々の身の上については不祥事が起らないことを祈つてゐる、各地の公所等出先機關の引揚に就ては現在の所では考へてゐない、今回の事件の勃發により特に上京期を早めやうとは考へてゐない、明年度の豫算會議の如きも豫定の通り進めて行きたい積りである
最後に總裁は「この間各地を廻つて日支親善のために大いに交驩して來たばかりなのにこんな事件が勃發するとは……」と深い憂色を漂らしてゐた

大連市内の警戒

大連署では十九日署員の非常召集を行ひ軍部方面と連絡を執つて管内の警戒を嚴重にしてゐるが殊にこのごたくさ紛れに思想分子の策動を虞れて是等特務を激勵し嚴に注意中の某々團體及び大連驛の出入人物に對し嚴重監視を行つてゐるまた管内居住民の過半數が支那人である小崗子署では時局に際し流言蜚語による人心の動搖を考慮し三浦署長は十九日朝十時本署に小崗子公議會長龐睦堂氏を招致して徒らなる流言蜚語にまどはされず平常通り商業に從事する樣時局に對する訓示を與へこれを居住支那人に傳へるやう依賴した、しかして大連市民の生活機關として重要な機關を管内に持つて居る沙河口署においても昨夜奉天における日支兵衝突の報達するや久下沼署長は直ちに署員の非常召集を行つて管内の非常警戒を行ふと共に滿電發電所、同變電所、水源地淨水池、臺山屯無電受信所、瓦斯タンク、滿鐵工場、沙河口驛に署員を派遣して徹宵警戒せしめたが同署では今後も時局安定するまで引續き警備に當らせると、更に他方大連埠頭では日支衝突重大化の結果、埠頭構内警備の要を認め十九日午後一時より埠頭事務所内埠頭事務所において警備會議を開いたが當分未だ全員出動する程のこともないので取敢ず十九日夜より在鄉軍人會が警備に當ることゝなつた

旅順警備協議

二十九日午後一時半旅順驛貴賓室に厚東要塞司令官、鈴木無線電信所長、米内山民政署長、加藤警察署長その他重砲兵大隊步兵第三十聯隊等各方面の人々參集し警備に關して協議を凝らしてゐる

在滿邦人大會

廿一日夜歌舞伎座で

時局問題に蹶起した滿蒙研究會、青年聯盟、北辰會、在鄉軍人分會、自主同盟の五團體は共同主催の下に廿一日午後六時より歌舞伎座に於て在滿邦人大會を開く事になつたが、なほ大連終了後は全滿各主要都市に於て同會を催すと

市外通話と電報激增

奉天事件のため大連中央電話局では市外電話の發着交換に多忙を極め宛然戰時狀態を思はせてゐるがその通話數も從つて激增し午前零時より同九時までの間發信八千五百四十通、着信三百二十通に達し平素の一日分を僅か九時間の間に取扱つてゐる、いづれも至急話のみで普通電話は次から次へとつかへ目下のところ時々通話出來るやも知れず一方郵便局における電信も發着平素の三倍に達し全員を擧げ全能力を發揮してこれに當つてゐるが長文のもの多く係員は頗る多忙を極めてゐる

社告

小山島學術調査探檢講演會は時局柄延期します追つて期日は發表します

大連市内に高射砲設置

關東軍要塞司令部大連出張所は大連市上空防禦のため十九日午前十一時關東軍倉庫彈藥庫附近に高射砲一門を設置し引續き大廣場を中心として滿鐵本社、陸軍關係建物の警備のため二、三門の高射砲設置の準備を整へた

滿鐵運動會延期さる

硬球大會も

明二十日午前八時より大連運動場に於て開催する豫定の第二十一回滿鐵運動會は日支衝突事件のため延期となり又來る二十四日より擧行する筈の滿洲體育協會主催の全滿硬球選手權大會も時局の安定するまで延期されることゝなつた

天氣豫報

二十日　西の風　晴

各地温度

	十九日午前十一時	十八日最高
大連	二二、九	二三、五
旅順	二三、五	二五、七
奉天	二三、六	二一、六
營口	二〇、二	二〇、八
長春	一八、八	一八、三

滿潮（午前三時五十分　午後三時四十五分）
干潮（午前十時五十五分　午後十時三十分）

けふの小洋相場（正午）　金百圓は二五一圓七〇錢

暗流阿修羅館 (190)

生田蝶介
挿畫　藤井紂達

水路(二)

襖ぞひの戸が一枚開けてあつて、そこから吹きこむ朝の微風が、釣つてある蚊帳に青く揺れてゐた。

「雨戸をみんな開けませうか」

いくらか元氣をとり直してお紋は云つた。

行燈は、まだ部屋の隅で黄色くともつてゐた。

「開けて貰はうか」

お紋は、蚊帳の周圍を廻つて戸をあけに行つた。

蚊帳は釣手が六ケ所ともついてゐて、一ケ所もはづしてなかつただんだんあかるくなつて蚊帳の中も明かに見えて來た。

お紋の云つたやうに、蚊帳の中には誰も居なかつたが、蒲團は、何事もなかつたやうに亂れも見せずにあつた。

由比は覗き込んで、蒲團に手を入れて見た。

まだ、いくらか温もりはあつた

「うむ」

あの美しい女の客に思ひをよせてゐたのだらうか」

そんなことを思つた。

男の寢た方の蒲團を振ふと、

「また」

こゝに何かある。

「まあ」

何でせう。

一枚の懷紙に何か赤い字がかいてある。

お紋が拾ひあげた。

「紅筆でかいたものだな。何、御恭勢に存ずる、水路を凉みながら戻る。や、この娜から逃げ居つたな」

さ、由比は、その紙をのぞき込んで讀むと手欄から水の方へ首を出した。

「こゝにも」

赤い扱帯が、手欄から、結んで水の上へ垂れてゐた。

「確に、こゝから下りて行つたのだ、それにしても……」

何處に舟が隠れてゐたのだらう

「はてな」

水の上も何事も無かつた様にひつそりと光つてゐた。

「だが、これは容易ならぬことだ」

と云ひながら、由比は懷の櫛に觸つて見た。

それから仲居をよんで蚊帳を外させた。

その間に次の部屋、屏風のかげ押入の中を見た。

仲居とお紋は蚊帳を外した。

「よく振つて見てくれ」

「こうでございますか」

二人は振りながら疊んだ。

「それから床は……?」

「それも、よく振るつて疊んでくれ」

「はい」

一枚一枚、振りながら、これも疊みはじめた。

「あ」

「あら」

何か小さいものが、かちりと敷居の上に落ちた。

「櫛だな」

由比は、すぐ近寄つて拾ひあげた。

「や」

「何でございます」

と近寄つてくるお紋の胸を左の手でとめて、その櫛を懷深くしまつた。

お紋も仲居も不思議さうな顔をした。

(あの女の客の櫛といふことはわかるが、なぜこの役人は拾つてすぐに隱したのだらう、この役人も

「普段こゝへ舟が來るのか」

「いゝえ、滅多にまゐりません」

痴人哀樂　モンタ・ベル監督作品でジョン・ギルバートコンライト・ネウゲル、ノーマー・シエラー總の錚々たる連中が出演してゐる、來る廿一日夜協和會館で里見義郎氏の解説で上映される

キネマと演藝

不二映畫好調

松竹蒲田脱退連によつて組織された不二映畫もその後大阪ビル内に創立事務所を置いて專ら新會社發展に邁進してゐるが應募株も好調で、あつて大半は既に集まつてゐるといふ事である

一方スタヂオも澄戸にある日本俳優學校のスタヂオ、市外吾嬬にある高松スタヂオやプロダクション建設で苦い經驗を味つてゐる阪妻からも谷津の撮影所を使用してはと言ふ好意的申込もあり、その他土地を提供して撮影所を建てゝやらうといふ人等も現れて不二映畫では大いに感激してゐる

里見義郎氏の名解説の夕

前衛映畫と名映畫を上映
廿一日夜協和會館で

名解説者として大阪松竹座にあつて松木狂郎氏と並び稱せられてゐた里見義郎氏は「ラテン街の屋根裏」の獨演を最後に竹座のステーヂから引退してフリーランサーとなり、既報の如く滿鮮巡演の途去る十三日入港のばいかる丸で來連し映畫解説の夕を催すべく準備中であつたが、いよく來る廿一日午後七時から協和會館にて本社主催、大連滿鐵社員倶樂部後援にて、ワーナー映畫「裏表七人組」フランス前衛映畫「家鴨の懷死」モンタベルの「痴人哀樂」を上映し里見義郎氏の解説を紹介することになつた、會費は一般一圓、倶樂部員及び本紙讀者は五十錢に優待割引し廿一日朝から社員倶樂部事務所にて前賣し座席券と引換へることになつた

▲けふの船で「巴里の屋根下」と名解説者里見義郎氏がいよく協和會館のステーヂに立つて第一聲をあげる▲そして「家鴨の懷死」でアヴアンガルトが初御目見得する

噂話

奉天滿元界の元老津久居氏が亡くなつたので昨夜お通夜に總領事をはじめ各方面の人達が集り▲本社の多波羅氏も居合はしてゐたところへ砲聲が轟き出したので俄然緊張しお通夜から飛び出して大活動が開始されたのだつた

本社特選 新棋戰 (其六)

香落 七段 △宮松關三郎
五段 ▲齋藤銀次郎

【圖は六八歩成迄の局面】

▲齋藤氏 持駒 金歩歩歩

△宮松氏 持駒 飛桂歩

△五二銀成	▲同 金	
△五三 歩	▲五一 金	
△四四 歩	▲同 歩	
△四八 歩	▲二四 桂	
△二五 歩	▲一六 桂	
△同 香	▲五九 と	

【土居八段講評】△宮松君は攻勢を執りたくも銀を渡すと敵に五八と迫られ危險の惧れあるを以て、一日四八歩と打つて自重したのは安全第一の好手段である▲齋藤君は目下忙がしい局面であれば五筋より悠々攻勢を執る事が出來ないから、二四桂と打つて端を狙ひ非常の段を用ゐたのは局面上、至當の方法である△其時宮松君は敵の二四桂を逆用して強く二五歩と突き出し、催促的の意味で二筋より攻勢を圖つたのは巧かな一策である。

【萩原六段解説】齋藤氏五二銀成に對し同金は同銀では八二飛と打たれて惡い。又五一金も、四二金では六一飛と打たれて惡いから已むを得ない。宮松氏四四歩と突き捨て、同では自玉が安全故、齋藤氏同歩は至當。然して四八歩と、敵より五八と、と攻められる手を消したのは好手であつた宮松氏は敵の右翼よりは仲々攻め難いから多少自玉は危險になるも二五歩と逆用して攻めたのは巧者である。要するに敵に攻めさして反つてそれに乘じる事は却々六ケ敷く、又危險も伴ふが、勝利に導く要諦の一つである。

日支衝突の影響

奉天に於ける支那側の暴戻から遂に惡化し日支軍の衝突となるや十九日より奥地取引は全然杜絶し當地に於ては日本側銀行及取引所は臨時休業し時局による影響を示せば左の如し

鈔票俄然急騰す　高値四十五圓五十五錢

[illegible]となりハルビン方面の治安が如何に維持せらるゝかに多大の關心を寄せ[illegible]

綿糸崩落乍ら　地場の買氣旺盛

十九日前場大阪三品市場における綿糸は米棉十五六ポイント安、日支開戰の報に人氣惡化し軟派の追擊賣りと買方の投げ物殺到をみたもの〻如く、各限三圓七八十錢乃至四圓四五十錢方の崩落を示し當中先とも百二圓臺の新安値に辷りをみた

當市もこれにつれて崩落したが地場は日支の開戰は結局對支諸問題の解決を促進するものとみる向多く先高見越しの買氣旺盛にて商内活況を呈し一場五百丁幅の手合せをみた

奉天、營口の　わが銀行團　商取引杜絶で臨時休業

奉天及營口における鮮銀、正隆、滿銀等日本側銀行各支店は十九日事件勃發により商取引杜絶せるため臨時休業したが、人氣割合に落着きを示してゐるので二十一日月曜日からは開業の運びになるらしいと

商議聯合會　開催中止

二十一、二兩日奉天において開催される筈の滿洲商工會議所聯合會は日支衝突勃發により中止される

奥地方面の　果實需要　減少を豫想

大連卸市場今日の市場には未だ何等の反響を見なかつたが、林檎梨等の出盛期を控えて居るし、これが消費地は大半奥地方面である關係上この方の影響は蓋し絶大なものあるだらうと見られてゐる

内地株式慘落　諸株五、六圓安

十九日前場北濱定期は諸株共三四圓安に寄つたが引續き續落を示し結局大株は前日より三圓三十一錢安、天新は三圓二十錢安、鐘紡は六圓七十錢安、鐘新は五圓十錢安と崩落し、東新は東西兩市場共百二十八圓臺より百二十三四圓臺と一氣に四五圓方の慘落となり諸株共新安値を入れ、當市は地場株保合なれど内地株はいづれも四五圓方の暴落と共に市場商内活況を呈すると共に市場は波瀾含みで異狀の緊張を示した

引尻高となり　大豆、高粱昂騰

日支交戰の報は當地特産界にも多大の衝動を與へ殊に奉天の保險占領、河北の占領等の報を傳へて朝來色めき立つたが時恰も端境期に直面し貨物の出廻り旺盛ならざると一面日本軍隊の敏活なる軍事行動によつて時局も豫期の如く擴大はすまいとの觀測が

有力

となり事件の割には比較的に冷靜なる態度が維持せられた、即ち十九日前場の特産市場に於ては日支衝突による銀價の上昇を眺めて寄鼻の氣配は頗る軟調であつたが、アト戰局の推移によつて一時的ながら貨物の輸送は中絶さるゝに至るべしと觀られ、漸次上伸して引尻高となり大豆、高粱は五錢乃至八錢方の昂騰を演じ豆粕は區々、豆油は弱保合を呈した、現に角現在迄の情勢では戰局の推移は區々の觀察が行はれ殊に華商側では簡單に解決するものとの觀測をなすもの多く、これがため相場自體に及ぼす影響は割合に

微弱

ではあつたが各大手筋方面では奥地の情報蒐集に躍起

大連に於ける　物價と物價指數　(五)市中小賣物價の比較

市中各方面の小賣物價比較において先づ注目されるのは滿鐵社員消費組合値段と一般市中値段との間に著るしい開きがあるといふことである、それは普通二割位違ふといはれて來たが從來消費組合では次のやうな調査を發表した

年	月	次	組合	市中
昭和二年	四月末		一〇〇、〇	一
同	五月末		九九、五	一二一、九
同	六月末		一〇〇、四	一二一、〇
同	七月末		九九、七	一二二、五
同	八月末		一〇〇、一	一二三、九
同	九月末		九九、〇	一二〇、三
同	十月末		九九、〇	一二九、三
同	十一月末		九八、一	一二七、〇
同	十二月末		九七、〇	一二六、五
昭和三年	一月末		九六、九	一二六、四
同	二月末		九九、一	一二六、七
同	三月末		九七、九	一二五、三

即ち漸次多少値鞘縮小の傾きはあるが大體において二割内外の開きがあつたのは事實である、茲には掲げないが關東廳購買組合の配給値段も消費組合の分に非常に近接してゐた、而してこれら組合が市中よりよほど格安なのは大量に仕入れて大規模而も組織的に配給しその回收も月給差引その他の方法により全然危險な伴はず營業税も負擔しないといふやうな種々有利な條件を備へてゐるからで寧ろ當然だといはねばなるまい

◇然しその後における値開きの趨勢はどうであるか、一般物價が加速度的に低落の一途を辿つたゝめ組合では仕入割高の手持品を澤山抱へて比較的に配給値段を下げ澁つた傾きがあつたやうである、これに對し市中小賣商側ではもとく甚だしく業者過多で組合や華商側の壓迫に惱みぬいてゐた折柄、極度の不況や銀安に追立てられて劇しい競爭を餘儀なくされたゝめ著るしく市價を引下げた、かくてその後組合、市中間の値段は漸次相當に開きを縮めた模樣である、試みに關東廳物價賃銀調査月報により市中各方面の本年六月十五日現在現金小賣物價中より拔萃してみやう(銘柄單位を略し市場及遞信局組合も夫々日本人商店及關東廳購買組合に近似するので略す且つ五十九品種中、銘柄の違ふのや二ケ所以上不揃のものも掲げない)

品名	日本商店	中國商店	消費組合	購買組合
白米	四、五〇	四、五〇	四、九九	四、五〇
麥粉	四〇	四〇	三一	四〇
牛肉	四〇	四〇	三五	三六
豚肉	三八	三八	三七	三八
鷄肉	三五	三五	三五	四五
鷄卵	二八	二五	二八	二八
椎茸	二八	二七	二六	三〇
干瓢	二五	二五	一二〇	一八
玉葱	一	三	二五	三
馬鈴薯	一	三	三五	三
梅干	三	三五	二七	三五
滿洲澤庵	六	五	四	七
内地澤庵	八	八	六	五
味噌	六	五	六	五
醤油	二五	二五	二四	二〇
白砂糖	六	六	六	六
角砂糖	八	八	七	八
酢	四	四	三	四
味の素	九〇	九〇	一、〇五	九〇
鰹節	一、二〇	一	一、一二	一、一五
煎茶	二〇	二〇	二〇	二〇
出昆布	二〇	二〇	二〇	二〇
清酒	一、二〇	一、二〇	一、一六	一、一〇
サッポロ	三五	三五	三四	三五
キリン	三五	三五	三四	三五
サイダー	一三	一二	一二	一二
正宗撰	四〇	八〇	七二	八〇
川柳	一、〇〇	四〇	二二	一

品名	日本商店	中國商店	消費組合	購買組合
煉乳	三五	三五	三三	三五
朝日	三	三	三	二
ウエストミンスター	三六	三五	三五	三五
晒木綿	九八	一	九三	一〇〇
金巾	一〇	一	九	一〇
綿ネル	一七	一	八	一
モスリン	三五	一	九	一三
木綿縫糸	八	一	六	七
毛糸	三、二〇	一	三、三三	三、二〇
蒲團綿	三、六〇	一	三、三三	三、四五
小袖綿	一、二五	一	一六	一八
木炭	一、二〇	一、二〇	一、一五	一、〇〇
花王石鹸	一〇	一〇	九	九

これによると消費組合は矢張り一番安いが二割は違つてゐない、購買組合は不祥事件が祟つたのか消費組合よりかなり高くなつてゐる、そして中國商店は案外安くない

◇大連市社會課では毎年二回宛係吏員をして購入せしめ市中各方面の主要食料品小賣價格を調査してゐるが昨年十一月末日に行つたものにつき、その三十三品種の平均値段だけを掲げてみやう

信濃町市場	三八、七
沙河口及山縣通市場	三七、九
平均	三八、三
市中A	三九、五
同　B	三八、六
同　C	三四、〇
平均	三八、八

市中Aとはダルニー河を境として連鎖商店街を含む東家屯、伏見臺方面だが一番高い、常盤町より埠頭に至る電車幹線軌道を境として南部方面が市中B、北部方面が市中Cであるが後者は一番安く前者と信濃町市場は市中Aに亞いで高い、そして市中平均は市場平均より五厘方高く、これを品別に比ぶれば七種、低位にあるもの十四種、同値のもの二種である、なほ著るしく相場の違ふものをあげてみやう

▲醤油五合龜甲井、信濃町二五、市中A三五▲福神漬一罐花大黑各市場二五、市中B三五▲白米一斗滿洲檢查特等、山縣通及沙河口市場一、七〇市中A一、五五▲大豆五合山縣通及沙河口市場一二市中A一七▲小豆五合、信濃町市場二〇市中B一〇

商工會議所令　制定に關する請願　大連商議、聯合會に提出

大連商議より滿洲商議聯合會へ提出される議案は種々あるが商工會議所令制定に關し請願の件に就ての大連商議の擧げる理由左の如し

滿洲商工會議所法制定方に關しては大正十一年第一回聯合會に於て決議し政府に建議する所あり更に大正十四年第四回聯合會に於ても亦同樣決議し之が促進方を關東廳に交涉せし結果法案の起草を見るに至りしが、偶々領事館内に對する處置に對し外務省と關東廳との間に議論の要起り停頓せしも其後内地に於ては商工會議所法議會を通過したるを以て之を機會とし滿洲商工會議所法を制定するの緊急なるものあるを認め、昭和二年第七回聯合會の決議を以て之が實施方を政府當局に要請せり爾來十有餘年猶其實現を見ざるは眞に遺憾に堪へず、抑も商工會議所法は既に内地、朝鮮に實施せられ關東州及滿鐵附屬地に之を施行するも其趣旨に於て何人も異議あるべき筈なし、然るに事實は十有餘年を經過するも尚發令の運びに至らざるは其治域を異にする關東州と滿鐵附屬地並に領事館管内とを同一所管たらしめんとするに因るや明かなり、翻て滿洲の狀勢を顧みるに帝國の滿蒙に於ける經濟的地步は刻々不安の度を深からしめ商工民は疲弊困憊し眞に商工會議所の活動を期待さるゝの時に當り財源不安にして其職能を充分に發揮する能はず、就中大連の如き法令の實施に依りて相當充實せしめ得る可能性を有するに不拘領事館管内と滿鐵附屬地との事情に牽制され何時迄も舊態を存置せざるべからざるが如きは弊所の堪へ難き所なるを以て此際先づ關東州商工會議所令を發布し滿鐵附屬地には漸を追つて實施の方策を採ること最も機宜に適したるものと認む依て聯合會の決議を以て其旨政府當局に請願せんとす

國運取締役ら　北行

國際運輸會社では日支交戰と共に今後の輸送に多大の關係があるので來連中の岡崎取締役を今朝四時半發の列車で北行せしめた、更に今夜釘宮運輸課長を北行せしめる筈

船會社色めく

昨夜來の事件勃發に當地船會社方面でも色めき立ち、今後に於ける貨物の出廻り狀態及市況の推移に關し各輸出筋方面を歴訪する等只ならぬ衝動を與へた

有つてゐるやうである

滿鐵、滿洲商工界　根本建直し理由

既報大連商議が大拘負を以て商議聯合會に提出し全滿の運動とすべく滿鐵及び滿洲商工界根本建直し策を發表し滿鐵の政府配當金一時中止、一般株主の配當率引下、炭價、鐵道運賃の引下、社内の整理の三項目を擧げたがその理由として擧げるところのものは左の如くである

第一 滿鐵會社は過般社員の整理、給與を減じたりと雖も一般株主に對し八分、政府持株に對し四分三厘の配當を爲し未だ整理を徹底せしむるに至らず後述第二、第三の方策を斷行するに於て更に社内の整理冗費の節約を爲し得るもの多々あるを發見すべく、社員亦茲に始めて事態の眞に尋常ならざるを知り上下協力更生のため徹底的緊縮を完成するを得べし、地方文化施設の如きは好况時代の情勢に依り馴致せられたるもの尠からず此難局に當面しては不便を忍び最少限度の施設以外は見合はすべきなり、是れ其反面に生産的事業に全力を注ぎ得て眞の立直しを期し得る所以なりとす

第二 現行貨客運賃は大正八九年戰時經濟の反影と銀價の暴騰に際し何れも約三割方引上げたるものにして現在の如く世界的不況に加ふるに銀價の崩落は滿洲特産物にして北滿に産するものは輸送費嵩み生産者の手取は零に等しきものさへあるの情況にあり、沿線各驛構内には特産物出廻の最盛期に於て猶殆んど野積貨物を見ず實に滿鐵創業以來の悲慘狀態を現出せり、滿洲に於ける農民疲弊せば購買力減退し從つて鐵道貨物減少す其結果日滿貿易の衰退を招徠するや明かなり、乘客亦大激減を來し空列車を運轉しつゝあるの狀態にして昔日の隆盛に比すべくもあらず、加ふるに支那鐵道の機進し來れるものあるを以て經濟界の景氣回復に向ふものあるも滿鐵は數年前の盛況を期する能はず、今春輸出入鐵道運賃の低減を行ひたるも此等は單に當面の急を糊塗するに過ぎず、現狀を以て推移せば滿鐵は自ら旅客を驅逐し貨物の圓滑なる移動を阻み唯だ退嬰あるのみなり、跼くとも大正八、九年の改定前或はそれ以上の大低減を斷行し滿蒙開發に適切にして且つ支那諸鐵道に對抗し得る賃率に改定し眞に滿蒙の産業と共存共榮の關係を保持するの策に出づるを要す、撫順炭の滿洲地賣値段も亦目下銀安の關係上隨所に支那炭の進出に脅かされ其賣上數量の激減を見つゝあり、他方南支其他に於ける賣値は益々低下し來れるに比し兩者は餘りに大なる値開きあり、結果滿洲在住者は漸次支那炭を使用するか然らざれば其消費量を極度に節約するに至り滿鐵の賣炭收入は益々低減し支那炭を使用し得ざる地域に於ける生産業者は其生産を差控ふるの已むなきに至り兩者共に萎微不振の裡に嘆聲を洩すの現況にあり地賣炭の値段を合理的に引下ぐるは運賃引下と共に滿鐵の收益を甚しく減退せしむるが如きも、其實需要を刺激し消費を回復し、競爭炭に對する抵抗力を強固にし滿洲商工業を蘇生せしめ、起死回生の打開策として最も有効適切なり、同時に滿鐵をして更生の大道に踏出さすべき第一步なりとす、蓋し滿洲に於ける産業の繁榮なくして滿鐵の繁榮なく滿鐵の隆昌なくして滿洲商工界の隆昌を期する能はず眞に兩者の關係は緊密離るべからざるものあればなり

第三 今や滿鐵は大減收に苦みつゝあり例へ滿鐵及滿洲商工界の根本的立直が其運賃及地賣炭價の大低減にありとするも此際之を實行するは至難なるが如きも上記社内の大整理を斷行し社員の協力一致難局を打開せんとする大決意と共に政府及一般株主も亦其配當を經營の實況に鑑み無理なき程度に止むるの互讓的態度に出づるに於ては必ずしも難事とせず而して是れ滿鐵を更生せしめ滿洲商工界建直しの唯一無二の策たるなり、即ち滿鐵は將來に對し適確なる見定めつく迄一般株主に對する配當を六分以下に止むると共に政府は其持株に對し命令による年四分三厘の配當を當分辭退すべきなり、政府は滿鐵創立に際し向ふ十五箇年間年六分の配當を保證せしも幸にして未だ一回たりとも其要を見るなし却て明治四十二年以降配當を受け好況時には增配せしめたり、更に滿鐵は政府の命令に依り地方經營のため年々多額の經費を負擔せり其昭和五年度に至る累計約一億七千萬圓に上る、之れ一種の政府配當と見るも失當にあらざるなり、故に現在の如き難局に際し何時過去の隆昌を回復し得るや計り難き際政府は須からく滿鐵本來の使命と創立當時に於ける配當補給の精神に鑑み積立金一億五千五百萬圓に手を觸るゝが如き姑息手段に出づるなく國家當然の歸趨として率先其配當を免ずべきなり、斯の如きは政府財政窮乏の際頗る困難なく事情あるべしと雖も眞に滿洲の實情を靜觀し國運の消長に想到する時僅々年額數百萬圓乃至一千萬圓程度の犧牲に替へ難きものあり、若し現狀を以て荏苒不徹底裡に推移するときは所謂慢性不治の症狀に陥り再起の力と希望を失ふに至るべし、蓋し現在の如き高運賃と地賣炭の高値を維持し一般株主と政府に對し命令に依る配當を繼續すせば勢ひ特別積立金を蠶食し他方會社内部の眞劍味を缺き然も滿鐵と共存共榮の關係にある多數有力なる華商は漸に經濟的壓迫に堪へ乘れ他に移動するに至るべく彼等一度去らば再び招致すること困難なるは支那の事情に通ずるもの〻等しく首肯する所なり斯くして所謂其日暮しの不透明不徹底裡に再起の望み絶え如何ともすべからざるの日に到達すべし、抑も經濟界の建直しは財界好調の域に進まざる今日に於て最惡の場合に處する充分なる整理をなし不況相當期間繼續するも尚ほ充分自立し得るの道を步む大決心を以て望むこと最も肝要なり、漫然將來に望を嘱し動もすれば特殊なる好景氣の出現を目當に無理なる計畫を其儘踏襲せんとするが如きは前途に光明を迎ふる所以にあらず將來迎ふべき針路を見出し與へられたる方向に邁進する時茲に始めて經濟界の健全なる發達あり國運の顯著なる隆昌を見るべきなり以上の如き方策は滿鐵及滿洲商工界の蘇生振興に資するの甚だ緊急なるものあるを以て之れを聯合會に於て決議し政府當局並に滿鐵總裁に要請し而は必要に應じて更に其實現を促進する爲適切なる手段方法を講ぜんとす

黄塵

◇…日支問題は山雨將に襲らんとして風樓に滿つるの觀があつたが暴戻なる支那官憲の滿鐵線爆破によつて遂に火蓋は切つて落された。

◇…彼等の横暴は天人共に許さゞるところで實力解決も亦止むを得ざるに至つたものである。

◇…しかしながら彼等もその非を覺り正道に歸つて日支諸懸案の圓滿解決をみるに至らば兩國民のために慶賀すべきことであらう。

◇…東三省の商民も多年に亘る諸苛斂誅求に苦められこの苦惱から離脱せんことを希望してゐた。

◇…從つて今次の不祥事件が諸懸案解決の鍵となり眞の日支親善が實現すれば獨に在滿邦人の福利増進のみならず支那商民も亦塗炭の苦みから救はれることになるのだ。

◇…吾等は今次の膺懲によつて支那官憲の迷妄が覺まされ雨降つて地固まるで眞の意味の日支親善が實現すべきことを期待するものである。

物價調べ

果實　林檎は祝種の出仕舞期、紅玉は摘果物少量の入荷あるに過ぎないので昂騰、桃もまた出仕舞期で上向した、十九日の卸値は左の通り(單位百匁當錢)

林檎上四、五、下一、桃上六、下一、梨上四、五、下一、葡萄上六、下三、松茸(朝鮮物)上一〇〇、下六〇

手形交換高(十九日)

金	六九枚	一、七七、五〇圓
銀	三三枚	一八、六三〇、三五圓

市況(十九日)

特産　日支抗争事件に　大豆昂騰

今朝日支抗爭に一氣に上昇せる銀高を眺めて寄鼻氣配軟弱なりしもアト一時的輸送の中止を氣構えて大豆、高粱は引尻高を示し豆粕は強弱區々を入れ豆油は弱保合を呈した

◇定期前場(銀建)

▲大豆(昂騰)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	五七〇〇	五七〇〇	五七〇〇	五八〇〇
十月末	五七一〇	五八四〇	五七一〇	五八二〇
十一月末	五七一〇	五八一〇	五七〇〇	五八〇〇
十二月末	五七〇〇	五八〇〇	五六九〇	五七九〇
一月末	五七二〇	五八二〇	五七一〇	五八〇〇

出來高　三百三十一車

▲普通大豆出來不申

▲豆粕(強弱區々)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十月限	一八三〇	一八三〇	一八三〇	一八三〇
十一月限	一八九〇	一八九〇	一八八五	一八八五
一月限	一八九〇	一九一〇	一八九〇	一九一〇
二月限	一九一〇	一九一〇	一九一〇	一九一〇

出來高　四萬八千枚

▲豆油(軟調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月限	一五七〇	一五七〇	一五七〇	一五七〇
十二月限	一五七〇	一五七五	一五七〇	一五七五
二月限	一五八〇	一五八五	一五八五	一五八五

出來高　二千箱

▲高粱(昂騰)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
九月末	三五〇〇	三五一〇	三五〇〇	三五〇〇
十月末	三六三〇	三六四〇	三六三〇	三六[illegible]
十一月末	三六九〇	三六九〇	三六九〇	三六九〇
十二月末	三七一〇	三七三〇	三七一〇	三七三〇
一月末	三七二〇	三七八〇	三七二〇	三七七〇

出來高　四十二車

▲包米　出來不申

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(袋込)	五七四〇	五八二〇
出來	四十車	
普通大豆(袋物)	五六五〇	五七三〇
出來高	三車	
豆粕	一八四五	一八八〇
出來高	一萬九千枚	
豆油	一五四〇	一五四五
出來高	五千箱	
高粱	三三五〇	三五五〇
出來高	二車	
包米	四四〇〇	四四〇〇
出來高	二車	

定期喰合高(十八日帳入)

		前日對比
大豆	三八四二車	増 二六車
高粱	八七〇車	減 一九車
豆粕	二一〇三千枚	増 一〇二千枚
豆油	四八四〇百箱	減 一五百箱

錢鈔　事件勃發で　當市暴騰

今朝海外銀塊は倫敦近物十二片四分の三(八分の一安)同先物十二片八分の七(八分の一安)紐育二十七仙二分の一(八分の一安)孟買四十三留比十六分の七(四分の一安)と一齊に低落を報じたが上海標金は日支交戰のため寄鼻十四兩八安の七六四兩五を示し高値も七十三兩見當たつたと當市地元の大事件なるため狂騰を演じた、匯申七十二兩五〇、匯四七十兩二五、大洋九十九圓九十錢、米英クロス五十八仙四分の三(卅二分の七安)米支三十弗八分の一(四分の一安)〇米日四十九弗四十一仙(一仙高)

◇定期前場(單位錢)

◇前場

銘柄	當限	先限
新豆 寄	一	一
新豆 引	一	一
錢鈔 寄	一	一
錢鈔 引	一	一
五品 寄	一	一
五品 引	八八	九〇

豆

昨夜來日支交戰の報に一氣上昇した銀高に寄鼻一般に弱氣配であつたが▲アト戰局の推移につれて一時的ながら貨物の輸送は中絶するものと觀られ▲大豆、高粱は引尻高となり結局五錢乃至八錢方の昂騰を演じたが豆粕は區々、豆油は弱保合を示した▲當初衝動を感じた市場も割合に冷靜を保つてゐる殊に華商側の方で平靜のようである▲時恰も端境期にあり相場自體には差したる變化はないが今後の推移如何によつては多大の影響があらう

◇現物前場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	四五〇	四五五	四四五	四五〇五

出來高　期近六百八萬圓

九時　銀對金 四四〇　銀對洋 一二四〇　金對洋 二六九〇

銀

最近滿洲における日支關係は頓に險惡化しつゝあつたが支那側の暴戾に端を發し突如爆發した▲一度報傳はるや久しく沈衰を極めてゐた錢鈔市場に大きなショックを與へ▲海外一齊銀安などはけし飛んでしまひ四十五圓五十五錢まで暴騰して日本人筋有卦に入り更に買煽つた▲然し冷靜に考へると濟南戰争の時とは餘程模樣を異にし大したことなしとみてゐる向きが多いやうだし餘り調子に乘るのは考物だらう

株

突如たる日支開戰で株界は一大センセーションを卷き起してゐる▲北濱の諸株は寄引にていづれも四五圓方の暴落、東新も百二十八圓臺から四五圓安の三四圓臺と新値に崩れた▲日支開戰の結果幾多の對支問題の解決が促進され結局は良い影響を齎すといふ觀測もあるが取り敢へずは株式も一度下げるのが順序であらう▲いづれにせよ目先戰爭相場の特色で上下とも甚だしい變動を示すものとみなければならない

糸

米棉市況は週末統計が弱氣的なると株安の結果賣り物が增加し市況緩んだとあり現物十五ポイント安先十五六安を入れ▲大阪三品は日支開戰の報に寄鼻各限百三四圓方の暴落となり各限百五十錢安と軟調を辿り各限百二圓臺の新安値に辷つた▲日支開戰は無論日本が勝つに定まつてゐるがさて今後財界に對する影響がどうなるか問題だ▲綿糸の如きは却つて對支諸問題の解決が促進されてよい結果を齎らすといふのが地場の觀測であつた

株式

	十時	十一時	十二時
[illegible]	四四〇	四四九五	四四九五
[illegible]	一一三〇	一一三五	一一三五
[illegible]	一一三〇	一一三三五	一二三七

出來高(銀對金 十萬六千圓)(銀對洋 三萬一千圓)

後場(保合)

◇定期

銘柄	當限	先限
新豆 寄	一	一
新豆 引	一	一
錢鈔 寄	一	一
錢鈔 引	一	一
五品 寄	一	一
五品 引	八九	一

◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	八六	八六	八五	八五
新豆	一	一	一	一
錢鈔	一	一	一	一
新大	一	一	一	一
新東	一二四九	一二四九	一二四九	一二四九
新鐘	一	一	一	一

前場

◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	八六	八六	八六	八六
新豆	一二六	一二六	一二六	一二六
錢鈔	一三	一三	一三	一三
新大	六〇	六〇	六〇	六〇
新東	三四三	三四三	三四三	三四三
新鐘	七七	七七	七七	七七

◇爲替及受渡日步

品	爲替	受渡	代引	代渡	日步
五品	八〇	三六〇		一〇	三
新豆	一二三	一三〇		三〇	三
錢鈔	一三	一		二〇	三
新氷	三〇〇	一		一〇	三
新東	三四二	三〇		一〇	三
新鐘	七七	七〇		一	無
大新	六〇	四〇		四〇	三

滿鐵株

東短前場　滿鐵新株　二十三圓四十錢

大阪現物　滿鐵舊株　出來不申

株式出來高(十八日)

定期	五〇枚
延取引	六五〇枚
合計	七〇〇枚
早受渡手形	二、七〇〇枚
金額	二六、五〇〇圓
早受	一〇〇枚
金額	一、〇〇〇圓

商品　麻袋低落

市場電報

銀塊及爲替

倫敦銀塊	十二片八分三
同先物	十二片八分七
紐育銀塊	二十七仙二分一
孟買銀塊	四十三留比十六分七
スチール	七十七弗二分一
アナコンダ	十七弗四分一
英米爲替	四弗八十六仙十六分三
米日爲替	四十九弗四十仙
米支爲替	三十弗八分一

棉花

●米棉

現物	六仙四〇
十月	六仙三四
十二月	六仙五七
一月	六仙六六
三月	六仙八四
五月	七仙〇三
七月	七仙二〇

●印棉

ベンゴール	一三三留比
ブローチ	一四七留比

大阪期米

オムラ　二三七留比

	前場寄	前場引
當限	二〇〇	一九八
中限	二〇六〇	二〇五九
先限	二二七	二〇五

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二〇二一	一九九一
中限	二〇〇〇	二〇四九
先限	二二一	二〇七一

神戸期米

	前場寄	前場引
當限	二〇三七	一九八九
中限	二〇九八	二〇五五
先限	二一三〇	二〇九二

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	一八九〇	一七四〇
大新	六七一	六七〇
鐘紡	一八〇一	一六六〇
鐘新	〇九五	七七〇
日糖	三七六〇	一

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	三一五三	二六一〇
東新	三一八二	三〇九二
五品當	六〇	一
五品中	一	一
五品先	七四〇	七一〇
豆新當	一	一
豆新中	一	一
豆新先	一	一

(短期)

	寄値	引値	高値	安値
東新	三三六一	一	[illegible]	[illegible]
大新	六七〇	六〇	六七〇	六〇〇
東新(短期)	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	二一四	二二三	三三〇	三三〇
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

	前場寄	前場引
[illegible]	一〇三三〇	一〇三一〇

大阪棉花

	寄付	大引
當限	一〇三五	一〇三〇
先限	二二〇	二三〇

限月		
九月	一〇三〇	一〇三一〇
十月	一〇一三〇	一〇一七〇
十一月	一〇一一〇	一〇一八〇
十二月	一〇一三〇	一〇一三〇
一月	一〇一八〇	一〇一〇〇
二月	一〇一三〇	一〇一三〇

横濱生糸

限月	前一節	前二節
九月	六〇〇	六〇〇
十月	六〇〇	六一〇
十一月	五九〇	五九〇
十二月	五九〇	五九〇
一月	六〇〇	六〇〇
二月	六〇四〇	六〇七〇

印度麻袋

鐵筋直積	三五留比八分一
青筋直積	三七留比十六分一
爲替相場	一三六留比四分一

日支開戰で　諸株暴落

日支開戰の報を入れて北濱定期の前場寄は大株一圓九十錢安大新三圓二十錢安鐘紡三圓四十錢安鐘新二圓十錢安と暴落し東京短期の東新は二圓七十錢安に寄りアト更に二圓安の百二十四圓臺と崩落し當市は五品保合なれど東新は四圓二十錢安に寄り鐘新は四圓八十錢安に引け大新東新共前時計算となつた

綿糸も急落

●麻袋● 産地青筋十六分の三安鐵筋八分の一安と低落を入れたると當市は時局懸念にて華商側の買物絶え賣物一方にて氣配は二三厘方下唱へであつた

●綿糸● 米棉十五六安銀塊八分の一安スチール株三弗八分の三安と海外材料不良と日支衝突に大阪三品は人氣惡化し各限三四圓摺みの急落を入れたが當市は輸入屋の利喰ひと華商筋の買進みで市場頓に活況を呈した

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十月限	一〇二〇	一〇〇
同	十一月限	一〇二一	二〇〇
同	同	一〇二一	三〇〇
同	同	一〇一八	一〇〇
同	十二月限	一〇二一	五〇〇
同	同	一〇二二	一〇〇
同	同	一〇二三	六〇〇
同	一月限	一〇二三	一〇〇
同	二月限	一〇二〇	一一〇〇
同	同	一〇二一	七〇〇
同	同	一〇一七	三〇〇
同	同	一〇二一	一〇〇

出來高　五百十梱

爲替相場

正金(銀勘定)

日本向參着賣(銀百圓)	四四圓一〇
同　十五日買(同)	四四圓〇〇
上海向參着買(銀百圓)	七三兩〇〇

正金(金勘定)

倫敦向電信賣(一圓)	二志〇片八分三
米國向電信賣(百圓)	四九弗八分三
信用付三月買(同)	二志〇片十六分十五
同六十日拂買(同)	四九弗十六分一

鮮銀(金勘定)

倫敦向電信買(一圓)	二志〇片八分三
同　二ケ月買(同)	二志〇片十六分十一
紐育向電信買(金百圓)	四九弗八分三
上海向電信買(同)	一六〇兩八分七
同　賣(銀百圓)	四四圓八〇
日本向電信賣(同)	四四圓七〇
同十五日拂買(同)	四四圓〇〇

各地特産發送高

▲開原		▲四平街	
大豆	一	大豆	一〇車
高粱	一	高粱	四車
豆粕	一	豆粕	一
雜穀	一	雜穀	一五車
▲公主嶺		▲長春	
大豆	一	大豆	一三六車
高粱	一	高粱	一
豆粕	一	豆粕	一
雜穀	一	雜穀	二三車

大連埠頭到着高

大豆	一一五車
高粱	二車
豆粕	一
雜穀	八車

埠頭在庫貨物

9月14日　(單位噸)

品目		本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆	混保	134.164.9	
	非混保		
	白眉豆	1.188.6	
	青豆	393.3	
	合計	135.746.8	26.882.4
小豆		3.214.6	317.0
吉豆		573.3	339.0
高粱		13.597.4	4.368.1
包米		1.527.9	1.156.4
大米		715.5	13.1
小米		121.7	159.1
麥子		0.2	42.3
蕎麥		0.8	426.8
芝麻		0.5	57.2
大麻子		23.0	133.0
小麻子		57.0	186.9
蘇子		518.9	14.4
落花生			485.4
雜穀		425.5	163.5
豆粕		14.552.4	481.5
雜粕		348.8	527.5
獸骨		141.5	12.4
豆油		2.002.9	1.313.2
其他ノ油類			
麥粉		3.608.1	4.179.5
燐酎		6.6	77.9
セメント		1.156.8	1.748.3
粧干		476.1	279.5

滿洲日報
(明治卅八年十月二十五日 第三種郵便物認可)
昭和六年九月二十日 (日曜日) 第九千百二十二號 (一)

長春附近の激戰で一千餘名を捕虜す

わが負傷兵五十滿鐵醫院に收容

皇軍の活動目覺まし

長春駐劄第四聯隊は十九日午後九時五十分大隊長引率の一個中隊を以て城内市政籌備處前機關銃隊の武裝解除に出動、銃器彈藥全部を鹵獲して同十時卅分引揚げたが一方城内無線電信局の占領に出動した第四聯隊の一個小隊は同九時卅分より十一時卅分の間に完全に之を占領した、これより先午後五時卅分頃我軍の爲め爆破された南嶺の吉林火藥支廠は同十一時頃四棟を燒き鎭火した、なほ午後十一時卅分吉林滿鐵公所よりの入電に依れば、熙參謀長及張作相氏の親戚に當る吳團長は日鮮人保護に就いて萬全を期すると稱してゐるも果して部下の動搖を抑へ得るや否やは頗る疑問で、廿日は相當避難民が長春に向ふであらうと、また長春に於ける日支交戰の結果我軍は寛城子、南嶺、城内等を合して一千名餘の捕虜を得たがこの收容は廿日午前一時頃まで完全に終つた、吉海線盤石以北の鐵路局員は吉林に避難、爲に吉海線列車運行中止の已むなき狀態に陷つてゐる、因に我軍の負傷者意外に多數だつたため五十名を廿日より滿鐵醫院に移す筈である【長春電話】

小河原大隊長傷き倉本中隊長戰死す

物凄かつた南嶺の一戰

長春における南嶺の武裝解除は支那兵の頑强なる抵抗のため我軍の死傷頗る多く南嶺のみにおける死傷者全部で百二十名内戰死者三十名であるが、そのうち公主嶺獨立守備隊第一大隊長步兵中佐小河原浦治氏は大腿部貫通銃創、同第三中隊長倉本茂大尉戰死、同第三中隊第一小隊長(姓名不詳)重傷した、尙支那側の損害は不明であるが屍山血河をなし物凄い樣を呈してゐる【長春電話】

重要訓令を携へ

守島亞細亞局第一課長

ゆふべ奉天に向ふ

【東京十九日發】外務省では今夜發守島亞細亞局第一課長を奉天に派遣し林總領事に左の訓令を授け守島課長の歸朝報告後對支外交々涉を開始さ見らる

一、日本の軍事行動は自衛權發動
一、日本軍の占領は事態終了後卽刻撤退すべきもの
一、事件の責任支那側に在り
一、飽まで地方問題として擴大を防ぎ遼寧省政府と關東軍司令部と協力して善後處置を講ずべし
一、在滿邦人の安全は日本が在留支那人保護と同樣文明國の義務故遼寧省政府に戒告すべし

森島領事、三島憲兵分隊長、立川奉天警察署長、三宅參謀長會合警備會議を開いたが、十九日正午奉天驛にあつた第二師團司令部は兵工廠に移された【奉天電話】

關東軍、陸軍省に請訓を仰ぐ

回訓に兵力を更に要求

十九日午前十一時關東軍は陸軍省に對し左の如き報告をなし併せて請訓を仰いだ

軍は主力を以て奉天を占領し一部を以て鳳凰城の敵の武裝を解除中にして尙全力を盡して沿線の保護を全うしつゝあり

これに對し陸軍省より左の訓令があつた

事は支那側にあることを確認し處置す、尙關東軍としても善後策及要求を調べよ

とあり、關東軍は午後五時陸軍省に左の返電を發した

徹底的にやりたし、更に兵力を要求する

政府の訓令につき協議

十九日午後三時半林總領事代理として森島領事は本庄軍司令官を訪問、政府の訓令につき協議を重ねた【奉天電話】

奉天城内の秩序

我軍で全く維持

日支衝突事件によつて時ならぬ騷亂の巷と化した奉天城内外はわが軍の占領によつて完全に秩序は維持され市中全く平穩に歸した模樣である、十九日午後八時奉天着急行列車の車掌に質すと「驛構は頗る嚴重で緊張した氣分が漲りきつてゐるが市中は平穩に歸した模樣で支那乘客も從來奉天で下車させなかつたがこの列車から下車して差支ないこととなつた」と語つてゐた

奉天警備會議

十九日午後四時東拓樓上において

大砲廿數門 爆破

一門を鹵獲

南嶺戰鬪で敵の砲兵を攻擊し大砲二十數門を爆破した我軍は大砲一門を鹵獲品として長春へ後送して來た【長春電話】

日支衝突事件に對する政府の方針奏上

若槻首相參内して

【東京十九日發】若槻首相は十九日午後一時半宮中に參内、天皇陛下に賜謁、日支衝突事件に關する政府の方針につき奏上した

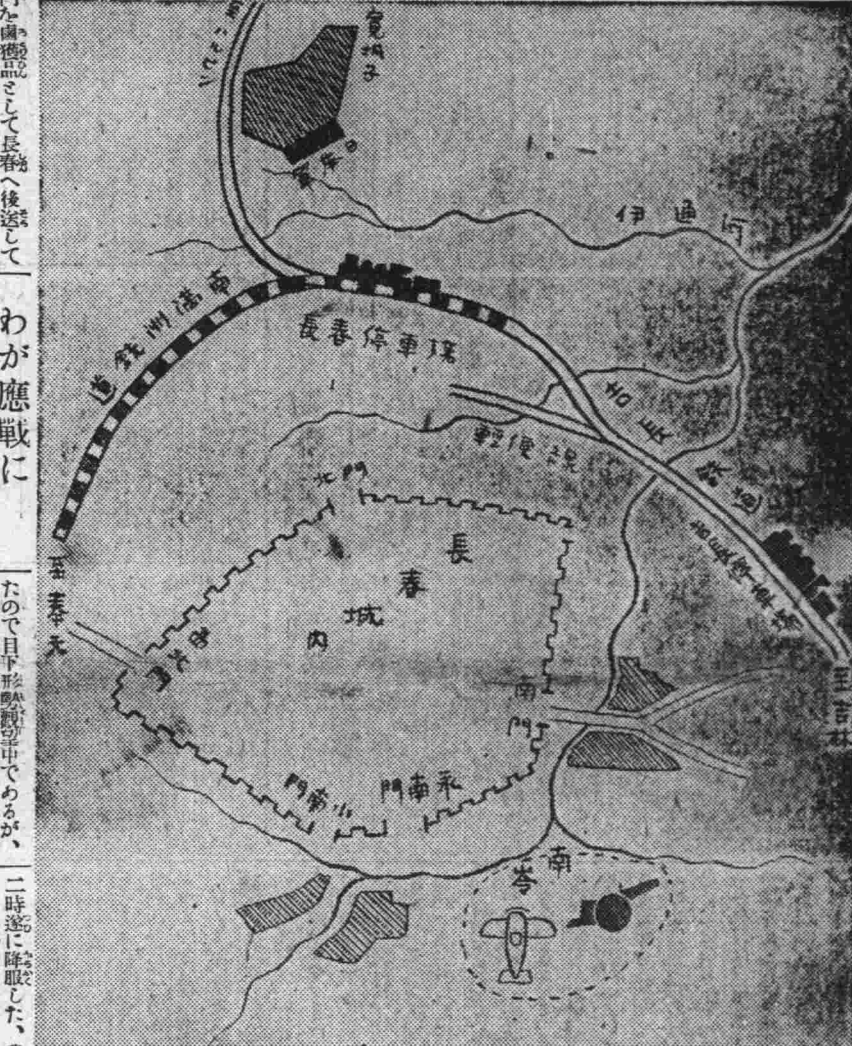
わが應戰に支那兵沈默

十九日午後九時十分頃寛城子に於ける支那兵逆襲との報に接し日本軍俄然緊張し出動準備を整へてゐたが同地駐在の一個中隊の日本軍より一發の砲擊を轟かして應戰したところ、支那兵の發砲は沈默したので目下形勢觀望中であるが、何時逆襲に移るやも知れず依然として我軍は監視を怠らない【長春電話】

彼我の死傷者

旅順に達した情報によると南嶺にて頑强に抵抗して居た敵軍は午後二時遂に降服した、我が軍の死者十名、負傷者廿四名、支那側の死傷者は五百六十餘名である

東支線列車を逃亡兵阻止

十九日午後二時三十分米沙子を發車した東支線列車は縦門に於て寛城子からの逃亡兵のため前進を阻止され米沙市へ引返した【長春電話】

滿蒙懸案解決迄は保障占領を繼續か

日支衝突と我陸軍の肚

【東京十九日發】陸軍では奉天事件の解決策を鋭意研究中であるが大體責任が支那に在ることについては列國も異議を差し挾む筋合はないとの見解の下に一意邁進する意向である、而して戰局の如何に進展するを問はず今回占領の要地は飽くまで持續し滿蒙諸懸案の解決を期するものゝ如く、かゝる場合支那は勿論列國の干涉を喚起すべく策動し或は日本が舊位置に復せぬ限り交涉に應ぜぬとする態度に出ることは當然豫想されるが陸軍としては支那の出方がどうあらうと滿蒙懸案解決までは現在の保障占領を飽まで繼續する模樣である

朝鮮部隊續々奉天へ向ふ

【平壤特電十九日發】第三十九旅團步兵第七十七聯隊一個大隊は十九日午後二時三十八分中島聯隊長引率奉天に向け出發した、龍山七十八聯隊は午後六時十四分平壤通過これと同時に嘉村第三十九旅團長同上奉天に向け出發、尙龍山特科隊も同日午後七時五十三分及び十時四十分平壤を通過した

朝鮮軍增派の提議見合せ

【東京十九日發】十九日の臨時閣議に於て南陸相より朝鮮軍の混成旅團一個旅團を滿洲に增派する事を提議したが、若槻首相、幣原外相、井上藏相らより關東軍のみでは危險であるといふなら格別未だそれ程の情勢ではないのであるから此の際增兵を控へ出來る限り問題を小局部にとどめたいとの反對意見出で結局南陸相提議は一時見合せる事となつた、よつて南陸相は三長官會議に報告すると共に本庄關東軍司令官に其の旨を通じ更に朝鮮軍司令官に對し閣議の結果增兵は一先づ見合せとなつたから自由裁量により朝鮮軍を出動せしむる事は控へられたいと通電した

日支兵衝突事件畫報(山口特派員撮影)

(上)警備についた警察機關銃隊(中)要路に警戒の步哨兵(下)在鄉軍人の出動——いづれも奉天にて

本溪湖公安局員の武裝を解除

金融機關は一齊休業

奉天における日支交戰の報一度當地に傳はるや朝來各方面に異常のショックを與へて居るが、警察署の處置宜しきを得た結果市内は些の動搖もなく、午後三時頃平壤より飛來せる飛行機三臺當地上空を北方へ飛び去つた、支那街は概して平穩に見ゆれども支那公安局には不穩の形勢あり橋頭、南坟の二ケ所にては支那公安局の武裝を解除せりとの報あり、守備隊では交戰の報をうくるや直に夜を徹して戰時武裝をなし又時局柄本溪湖金融機關は十九日午前十時より一齊に休業した、午後三時十分に至るや本溪湖守備隊は一個中隊の全員出動して騷公安局に赴り武裝を解除した【本溪湖電話】

銃火を交へずして東大營を占領

敵兵に戰意全くなく

北大營を占領した獨立守備隊第二大隊は潰走する敵兵を追擊しつゝ東大營攻略に轉戰したが、敗殘兵は全く戰意なく白旗を飜して我軍門に降る者四百七十名に及んだ大隊は全く銃火を交へず、午後零時四十五分完全に東大營を占領した、なほ營内には機銃なる機關銃步兵砲等の押收武器山積してゐる、殊に機關銃の如きは某國より購入されたものらしく我陸軍にも見る能はざる進步した性能を有する新式のものが多數あると【電通奉天電話】

ハルビン不穩で在留邦人既に引揚準備

十九日午後十一時奉天におけるわが軍司令部に入つた情報によればハルビンは追々不穩の形勢に向ひつゝあり、支那民衆が集團的行動をさり不穩の形勢に出でんとし支那軍隊も動きつゝあり、在留邦人は引揚準備をなし目下總領事館において手配中である【奉天電話】

多門第二師團長の諭告

第二師團長多門中將は十九日附を以て左の諭告を附屬地内各所に出した

一、我軍の規律は嚴正にして無辜の人民に對し極力これを保護し、寸毫もこれを犯すことなく若し我軍の行動を、また我軍の機密を洩すが如き者ある時は一律に重罰假借せず

二、城内外商埠地各所に居住せる日本居留民は等しく完全なる保護をなす、いやしくも日本居留民の生命財產に危害を加へるが如き事あらば何人たるを問はずこれを銃殺す

三、凡そ示威運動、集合其の他いやしくも人心を激昂せしめ又は擾亂を企圖する行爲は一律に嚴重禁止し、違反者は重くこれを處罰す【奉天電話】

我死傷者の收容

南嶺の戰鬪に於ける我軍の死傷者は目下全力を擧げて收容中だが日本里數二里以上あり、しかも道路の關係上收容自動車の運轉不可能から全死傷者の收容を終るのは十九日夜の十二時過ぎにならうと觀られてゐる【長春電話】

平壤飛行聯隊飛機着奉

既報の如く平壤第六飛行聯隊の先發機一臺到着し引續き單葉偵察機一臺及び日本空輸旅客機で同じく機械技師四名が到着した【奉天電話】

既得權益擁護と帝國の威信確保

わが軍部の行動開始に關して本庄軍司令官の布告

本庄關東軍司令官は民心鎭撫のため十九日夜大要左の如き布告を發した

昭和六年九月十八日午後十時三十分北大營の支那軍は滿鐵線を爆破し我軍に向つて襲擊せり、抑も滿鐵線の權益は我國が條約に依つて正當に之れを獲得せるものなるが、支那軍の此の行動は明かに我帝國に對し挑戰し來れるもので國際道義を無視し侮日的行爲に馴れたる支那軍の計畫的行動なるは明かなり、之を看過するに於ては我國の在滿蒙利權は覆へさるべく本職は南滿鐵道保護の重責に鑑み既得權益擁護と帝國軍の威信確保のため斷乎たる處置を執るに至れり、然れども我軍の膺懲せんとするは東北軍憲にして一般民は業に安んじ危惧の念を持つべからず玆に聲明す

南陸相談

關東軍のみで善處させる

【東京十九日發】南陸相は語る奉天事件は大體落着いたので著しい變化なき限り關東軍のみで善處させる事に政府の方針が決定した、然し奉天附近の支那軍は二、三萬に過ぎぬといふものゝ吉林その他に十八、九萬、關内に十二萬ばかり居るから之れらが起つやうな事になると由々しい大事になると思ふ、さうなると問題は別であつて其の際に處す軍部の決心はついて居る、朝鮮軍が出動したといふ報告はないが事實ならば途中やめるよう軍司令官に通牒した

我軍の處置正當防衛

若槻首相談

【東京十九日發】若槻首相は語る奉天に於て日支兵の衝突を起した事は眞に遺憾であるが我軍の執つた處置は正當防衛と思ふ、事件の善後處置は當然政府がやる事で事態はなるべくこれ以上擴大せぬ樣希望して居る

事件の擴大を極力防止

幣原外相談

【東京十九日發】幣原外相の談

日支衝突事件は遺憾に堪へぬ現地は混亂狀態で眞相判明せず解決方法も決定してゐない、政府としては事件の擴大を極力防止するに決し此旨林總領事にも訓令し且つ居留邦人の保護も萬遺憾なきを期してゐる

日本の擧措當然

久原氏の談

【東京十九日發】久原政友會幹事長の談

關東軍の執つた行動は支那側の暴戾なる態度に對する當然の擧措であつて之れは全く軟弱外交の齎らした禍ひといはねばならぬ、我黨は斯る事態の發生を豫想し屢々聲明を發して警告すると共に我特殊權益の確保を强調し置いた次第であるが、今回の不祥事發生を見るに至つたのは遺憾に堪へぬ、此の上は成るべく事端を繁からしめぬ樣注意すると共に此際根本的に滿蒙問題の解決を期せねばならぬ、然し恐らく現内閣の手では其の目的は達せられないのではないかと思ふが之れを政爭の具に供する考へは全然無い

奉天城内に軍政を布く

【奉天十九日發】古來要塞堅固を以て誇りとし曾ては東三省の覇權を制して君臨してゐた滿洲王の居城奉天城も正義の刃先には一溜りもなく遂に我軍の占領するところとなり今や全く孤立無援の窮地に置かれることゝなつたが、既に城の内外は我勇敢なる關東軍の手によつて固められ治安の維持に努められるに至つてゐる、玆において我關東軍司令部は多門第二師團長を衛戍司令官に任じ奉天城内外の治安に當らしめると共に軍政施行の肚を決め三谷奉天憲兵分隊長をその衝に當らしむるに決したが三谷分隊長は十九日午後三時城内に入城し奉天城守備の我軍憲と萬端の打合せをなし別項の布告を發すると共に直に軍政施行を宣布した

第十六驅逐隊

朝顏、芙蓉出動

第十六驅逐隊の「朝顏」は今日午後三時卅分出發命令で龍口、「芙蓉」は芝罘に向つた尙他の一艦は命令一下出動すべく目下旅順にあつて準備中である

第卅聯隊の一部四平街移動

十九日午後七時四十分着臨時列車で長春に到着した第三十聯隊はラッパ吹奏裡に步武堂々と第四聯隊兵營に入つたが同十時發臨時列車で其一部は四平街に向け移動した【長春電話】

戰死者の荼毘

三十日に行ふ

戰死者の死體は第四聯隊に收容されてゐるが五十餘名に達してゐるので三十日荼毘に附される筈【長春電話】

吉林の支那側動搖

吉林在留邦人は領事館に收容保護中なるも、吉林支那側は長春より日本軍隊の進擊あるものとして頗る動搖を來してゐる【長春電話】

奉天衛戍病院收容者

奉天衛戍病院に收容されてゐる現在まで判明の負傷者は獨立守備隊の下士四名、兵卒十三名、第廿九聯隊の兵卒一名全員十八名である【奉天電話】

警官奉天到着

酒井警部に引率された警官練習生及び大連四署の四十六名の警官は十九日午後八時奉天に着いた【奉天電話】

安東の治安維持

連山關大隊

滿洲に出動の朝鮮部隊の一部は既に出發し先發隊は新義州に到着したが參謀本部の命令により朝鮮部隊の渡滿は一時見合せとなり到着中の軍隊は新義州に駐屯何時にても出發し得る狀態をとり滿洲における戰況の進展に備へつゝある、或は奉天の保障占領完了したるをもつて朝鮮部隊の滿洲出兵はこのまゝその必要なきに至る模樣である、安東支那街公安局を始め各官衙に日章旗を揭げ連山關第四大隊の一部は治安維持の部署についた(安東電話)

拓務省存續要請理由

大連商議提出

拓務省存續に就いて大連商議より更に聯合會決議として中央要路に要請するが聯合會に提出する理由は左の如くである

我國對外發展の步武漸く進み外地の時事將に多端ならんとするや昭和四年六月拓務省の創設を見、一般の之に期待する所頗る大なりき然るに今や政府の行財政整理に際し創始僅に二年にして其廢止說傳はる想ふに我國發展の途一に繫りて外地の開發拓殖に存するや敢て贅言を要せず今や拓務行政の改善充實に待つ益々切なるものあるの秋、却つて拓務省を廢止して僅々十數萬圓を節約せんとするが如き當に行財政整理の趣旨に添はざるのみならず直接責任ある當局大臣が閣議に列して拓殖上重要なる主張貫徹し其時務を統制する機會を失はしむるは國勢の進展上洵に寒心に堪へず依て政府をして姑息なる拓務省の廢止を斷念せしむると共に拓務省は須らく高所に坐して拓務行政上の大綱を示し專ら國策遂行統制上の最高機關たらしめ些末の事務は之を外地當路に委せしむるの甚だ利便たるを認むるを以て聯合會の決議に依り之を政府當局に要請せんとす

撫順守備隊出動部隊歸還

奉天に出動したる撫順獨立守備隊の主力部隊は川上守備隊長、角田村上兩中尉、後藤少尉に引率せられ定刻より約一時間遲れ十九日午後九時二十五分撫順に歸還した、これより先撫順市民は夜中にも拘らず男女老幼約三千名驛前廣場に各提灯を振りかざし心から出迎へた、日章旗を先頭に守備隊は一名の負傷者もなく、下車後直にホームに整列、人員點呼をなし終れば富澤庶務課長は官民を代表して一場の挨拶をなし川上大尉之に答へ全市に轟く萬歲の聲に送られ、電車二輛に分乘、なつかしき兵舍に歸つた、それより一眠りする暇もなく再び鐵道警備その他の部署についた【撫順電話】

占領の奉天中國銀行平定後引繼ぐ

十九日後日本軍が奉天中國銀行を占領せりとの報傳へられてより中國銀行關係者及び預金者はその成行について案じ不審の念を抱く者あるも日本軍が中國銀行を占領せるは銀行保護の目的によるもので時局平定を俟つて直に引繼ぐものであるから銀行關係者は憂慮することなく安心してよいものである

人事

▲津上善七氏(日滿通信社長)十九日午前九時發列車で奉天へ
▲塚本清治氏(關東長官)室田秘書官同伴、十九日午前八時入港のうらる丸にて歸連
▲高崎弓彥氏(貴族院議員)同上
▲西澤勝平氏(實業家)同上來連
▲加藤與三郎氏(三共株式會社員)同上
▲五泉賢三氏(辯護士)同上歸連
▲梅若鶴之氏(謠曲梅若流宗家)弟武之氏等一行六名同上來連、遼東ホテル宿泊
▲照井詠三氏(聲樂家)同上ヤマトホテル宿泊
▲高橋清氏(三共株式會社員)同上
▲林萬代氏(正金銀行ハルビン支店)同上
▲西一雄氏(正金銀行大連支店長)同上
▲永雄策郎氏(經濟學博士)同上來連ヤマトホテル宿泊
▲相賀孝一氏(滿洲輸入組合員)東京大阪見本市出席中のところ同上歸連

激戰だつた南嶺附近の略圖

社說　日支兩軍の衝突

十八日午後十時半、支那兵が滿鐵線を爆破して我守備兵を襲撃したるにより、日支兩國兵の衝突となつた。關東軍司令部は軍の出動を命じて對應策を講じ各地を占領する等、其後の状況は逐次本紙又は號外によつて報道する通りである。思ふに先日來頻々たる日支兩國間の不祥事續出し、此れに關する支那官憲の態度は誠意を缺き、全國新聞紙は事實を無視した虚構記事を根據として反日的論評を縱にし、しかも各地反日會は非法的行動により、日貨を掠奪して憚らず、斯くの如き對日態度を變更せざる限りは、其結果の甚だ憂慮す可きものある可きは、吾等の早くより心配した所であつた

◇

最近に至つて、支那側の首腦部に於ては、稍々省する所ありたる如く、中村事件に對しても漸く眞面目に調査を進め解決にも一歩進めた觀があつた。然るに如何なる理由か不明であるが、官兵が突如我鐵道を破壞し、守備軍を襲撃したるにより、遂に交戰状態を發現するの已むなきに至つたのは、實に殘念である。元來、日本側の輿論が硬化したのは、支那側に於て何等の事件の交渉にも眞面目な態度を採らず、事件其物を玩弄し、日本の國家を侮弄する傾向があつたからである。即ち徒らに日を遷延するにより解決を困難ならしめ、有耶無耶の間に事件其物を葬り、我國の外交を暖簾に腕押の嘆あらしむるを常例とする。現に中村事件に關しても、新聞機關により極力逆宣傳をなし、之れを前提と爲す所の議論である。故に後に支那側の調査が、中村大尉の被害及び加害者が官兵である事實を認めた上は、支那新聞の議論はすべて覆へさねばならぬ。しかも斯くの如き無稽の議論により輿論を煽動し、反日熱を鼓吹した事が兩國民の感情に龜裂を與へた事の甚大なるを思はねばならぬ。此れが中村事件のみでなく、從來の殆んどすべての日支交渉に對する支那側の態度である。從來支那の内外の事情を諒承して日本政府及び國民は寛容の態度を取り、時に好意的警告をさへも與へたのであつたが、遂に其反省を見るに至らなかつた。之れが日本各界の對支感情硬化の原因である。

◇

中村大尉事件に關しては、支那側に於て最近に至りて稍反省した形跡があつた。張副司令は事件を南京に移さずして、奉天にて解決すると云ひ奉天在住當局の意見を排して、嚴正な事實の調査を命じた。陳興亞憲兵司令の調査では、官兵が加害者たるを認め、關團長代理を奉天に押送して、軍法會議に附した。殊に陳氏の如きは調査出發に際して、新聞記者に語つた談話中に「我中國民族は禮讓和平を以て立國の本と爲す、數千年一日の如し、人の我れに加ふるを欲せざる處は、我も人に加ふるを欲せず、中日關係は唇齒相依る者も能く相互諒解提携せば、自ら兩民族永久の光榮を維持す可し、中村事件の如きは問題の小なる者である、公正の調査を經たる後、自ら雲を撥して日を見る可し」ともある。吾等は其言辭の公明正大なるに欽佩するものであるが、支那の官憲の態度がもつと早く、之れを事實に於て證明しなかつたのを遺憾とする。此心事があるならば、以前の如き種々の虚構的宣傳はなく、虚構的宣傳なき時は、支那各地の新聞の毒筆的反日鼓吹もなく、隨つて日本側の硬化もない筈である。實際に於て支那の態度が斯くの如くでなかつたのみならず、言論機關の排日記事及び反日會の排貨を誠意を以て取締らずして、其勢ひの赴くに任せ、暗に之れを以て外交の後援と爲さんとした事が、支那人の感情を昂奮せしめて、遂に鐵道を破壞するが如き、對日直接行動を起さしめる原因を作つたのである。

◇

今回の事件が今後如何なる程度に發展するかは不明であるが、もともと日支兩國は兩立せざる敵國ではない。相依るものである事はいふまでもない。殊に滿洲人と日本人との間には、此關係が最も深い。故に事件の進行中と、其後とに拘はらず、如何なる場合でも、兩國當局は此關係を忘れてはならぬ。徒らに昂奮して兩國人の親交と利益とを損じてはならぬ。前に引用した陳司令の言が、一時の方便語でなく、其信念である事を望む。吾等は張副司令の信念が斯くの如くである事を望みたい。奉天官憲により解決を謀るの念ありて陳氏の言の如く「諒解」「公正」によりて以前の如く日本を揶揄するが如く玩弄するが如き態度がないならば、日本當局も亦同樣の心事を以つて、圓滿な解決に歩を進むるであらう。己れの欲せざる所を人に施すを好まざるは、敢て支那の人達の獨占道德ではない。

衝突事件と支那側の態度
飽く迄冷靜な態度を維持する用意がある
北平で張學良氏語る

【北平特電十九日發】張學良氏は本日午後二時半協和醫院に於て日本新聞記者に左の如く語つた

昨夜奉天からの報告に依つて日支の衝突を知つたがこれに抵抗の力無く又戰ふべき理由もないので絶對抵抗せず日本軍の爲すが儘に委せよと嚴命しておいた越えて今朝八時奉天から城内各機關が日軍の爲め占領され榮參謀長以下捕虜となつた旨報告して來た余は昨夜來一睡もせず刻々入る情報を認め今朝學銘、于學忠、萬福麟、戢翼翹等各幕僚を集めて應急對策を協議したが、この際飽く迄冷靜な態度を維持する用意あり特に關内外各機關に對し日軍及び日本在留民に對しては飽く迄事端を起さざる樣軍規を嚴にして妄動せざる樣訓令して置いた、一方中央には事件經過實情を逐次報告してゐるが將來これが解決に就いては中村事件等とは性質が違ふし奉天獨自の立場で解決する事が出來るや否やに就いては今の處明言し難い

南京政府の態度
蔣氏に善後策請訓

【南京特電十九日發】滿洲の日支兩軍衝突の報は國民政府には現在[illegible]る重大事件の對策を決する人なき爲め事件を蔣介石氏に速報し中央の執るべき態度を請訓した、從つて國民政府としての對策は蔣介石氏の回訓を待つて決せられるので尚相當の時日を要する見込みだ、事態が事態だけに政府部内では取敢ず蔣介石氏の歸京を希望してゐるから數日中に蔣介石氏の歸京を見ることにならん。

取り敢へず日本に即時停戰撤兵要求
外交部の應急策決定

【南京特電十九日發】滿洲事件に關し國民政府の對策決定は既報の如く相當の時日を要するが外交部としては日本に向つて即時停戰並に撤兵を要求する質問的抗議を發することゝなつた

支那側の發表

【北平特電十九日發】副司令部の責任當局は本日支那側新聞記者に奉天事件の經過を發表し是が對策として東北は先づ經過一切を中央に報告し中央の意志に基いて合法的解決方法を講ずる意嚮だが差當り支那各地にある日本人に對しては充分保護に努め事件そのものは國際間の公正なる輿論を俟つて具體的解決法を考究する筈だと語つた

我政府に抗議

【南京特電十九日發至急報】南京政府は本日午後六時我政府に對し閉戰並に占領地域よりの撤退要求の抗議書を日本領事館に送達した

臨時政治會議

【南京特電十九日發】滿洲事件に關し今朝臨時政治會議を開き于右任主席となり對策を協議したが何分眞相不明の爲め張學良氏等の詳細なる報告を待ち蔣介石氏からの指示を待つて改めて協議し政府として態度を決する事になつた

王氏は語らず

【南京十九日發】日支軍衝突の報を齎して王正廷氏を訪へば王正廷氏は緊張せる面持で當方にも日支衝突の報あるが實に遺憾に堪へぬといふ外何も云へぬ、九時半に臨時中央政治會議を開き對策を協議することゝなつてゐると語つた

聯盟理事會に事件を提出
我代表は延期要求か

【ジエネーヴ十九日發】目下聯盟總會出席中の支那代表駐英公使施肇基氏は新理事國代表として本日午後の聯盟理事會の席上に於て滿洲に於ける今回の日支衝突事件を持出すことになつた、日本代表は理事會がこの事件の議論を二十一日月曜日まで延期するやう要求するものと觀られてゐる

張氏から命令

【北平十九日發】張學良は昨夜十二時遼寧省政府主席臧式毅に宛て奉天軍は日本軍に對し絶對に無抵抗主義を取り成行を觀望すべしと電命した

日支衝突事件勃發以來の我軍の行動

寛城子　長春　公主嶺　奉天　大石橋　鳳凰城　安東

支那紙一齊に臆說を報道

【北平特電十九日發】本日當地の新聞は一齊に號外を出し邦國の危機迫る國人よ起つて抗爭せよの表題下に種々の臆說を書いて奉天事件の慘狀を報じてゐるが東北側幹部は絶對に冷靜な態度を持し特に「この事件は全く日本側の妄動的にやつた事で支那側は絶對無抵抗にて事態の成行きに委せてゐるものである」と云ふ事を高調する爲め愼重な態度を以てゐるもの如くだ因に北平支那新聞記者團は奉天事件に調査隊を組織し今朝離平赴奉する筈

支那職員決議

【長春十九日發】吉長線の支那職員は萬事日本に依頼せんとする氣味があつて吉林は比較的平穩なるも省政府は左の如き決議をなした吉林居住日本人の保護は出來ざる場合がある

天津治安維持

【天津特電十九日發】王樹常氏が管下の各部隊に對し訓令を發した事は既報の如くであるが目下大城の部隊に對し至急歸津を命じ當地の治安維持に當らしめる事となつた

バ、ハ兩氏に對し横斷飛行を許可
外務省より指令を發す

【東京特電十九日發】パングボーン、ハーンドンの太平洋横斷飛行は十九日遞信省と關係者と協議の結果許可するに決定し外務省を通じ兩氏に許可の指令を發した

リ大佐機着滬

【上海十九日發】リンドバーク大佐機は午後二時三十五分揚子江上に一旦着水南京に向つた

信濃町市場組合定時總會

信濃町市場組合秋季定時總會は十八日午後六時より扶桑仙館にて開催、終了後旧支組合員の懇親會を開いたが、役員改選の結果は岩佐義一氏滿場一致を以て組合長に重任し副組合長には黄輪臣氏重任、金十郎氏が新任した、同會席上で市場廊下增築完成並に恵比須祉祭典を兼ね大賣出施行の件につき協議したが來月十九日より二十八日まで十日間景品付で大々的に行ふに決した、なほかねてから問題視されてゐる支那人側の組合長選擧權問題も今回は時局に鑑み論議せず極めて平穩裡に閉會を告げた

教員思想對策協議會

【東京十九日發】小學校教員の思想對策に關する協議會は十八日午前九時半より文部會議室にて開會從來の思想事件の實狀並に原因動機等につき夫々報告する處ありたるが其の原因は大體
一、何年間も昇給のない事
一、校長其の他に不平のある事
等のごときもので其の連絡等は全協系新興教育研究會系と別れて居るが其の實一の本部より出て居る模樣なので十九日も更に協議其の對策を練る筈である

市長詮衡委員

大連市會における後任市長の詮衡委員は十九日左の如く決定大内議長より夫々指名決定した
▲議長大内成美
▲副議長田中宇一郎
▲革新倶樂部今村貫一、岡野勇
▲中正倶樂部若月太郎
▲滿鐵側三宅亮三郎
▲支那側閻傳紱

金州孔子廟祭

金州孔子廟の仲秋の祭典は目下日支關係險惡の空氣を餘所に十九日午前十時半より増田金州民政署長並に旅大各地の日支人數百名參列の上嚴修されたが會屯各地よりの參列者も廟域を埋め非常な盛會であつた、時恰も奉天に於ける日支關係險惡にありながら空氣は至つて平靜であつた【金州電話】

中旬對外貿易

【東京十九日發】大藏省發表九月中旬對外貿易は(單位千圓)

輸出	二八、二〇四
輸入	二九、三八四
入超	一、一八〇

で昨年同期に比し輸出千三百五十萬四千圓を減じたが、輸入は八十六萬六千圓を增した、一月以降の入超額は七百七十一萬七千圓で昨年に比し七千三百九十六萬一千圓の入超減である、入超の主な原因は生糸の輸出減と棉花の輸入激增に因るものである

軍司令部の假本部を置いた奉天中央廣場の東拓支店

滿電兩課長

滿鐵地方部庶務課長から奉天事務所地方課長に轉じた岡田卓雄氏は大森竹中兩理事其他の盛大な見送りを受けて十九日午前九時發列車で赴任した尚新任の有賀地方部庶務課長は同日午後八時着列車で着任する

學術集談會

滿鐵衞生研究所學術集談會は二十二日午後一時より同所圖書室に於て左の如く開催する
一、滿洲產漢藥の資源調査(後藤良輔)
二、支那食研究(第二報)(紫藤貞一郎)
三、母畜產褥熱と溶連保菌の關係考察並に溶連菌の常化箇所に關する私見(黒井忠一)

宴會中止

滿洲藥學研究會では二十日敷島町青年會館に於て總會及び講演會をなしその後晨芳亭に於て宴會をなす筈であつたが時節柄宴會は中止することになつた

第二の反抗 (35)
三宅やす子
阿部金剛畫

戀ごゝろ(一)

三十分許り後。
伯父の前を辭して、佐枝子の部屋に對座した察一は、まだ興奮のおさまらない紅い頰をしてゐる。
それよりも、もつと、興奮して潤むほどに、緊張してゐるのは佐枝子であつた。

「ありがたう。ほんとに、嬉しかつたわ。お禮なんて、とても、云ひきれないわ」
彼女は感謝の眼をあげて、まさしげく察一の顏を、しげしげと見ながら
「あたし、今夜は、察一さんが、とても素晴らしい英雄に見えちやつたわ」
「英雄なんぞ、眞平だ」
「いゝ意味の英雄よ。あたし、自分の云ひ度いことを、そつくり、もつとつよくはつきりした言葉でピシピシ云つて貰へたんですもの溜飲が下つたつたらないの」
「きいてたの?」
「勿論。すつかり息もつかずにきいて居たの」
「これや驚いた。そんなこともちつとも知らなかつた」
察一は微笑した。
「あれだけ云つてもいて下されば、きつと父樣、考へなほすことよ」
「さあ、さうだといゝけれど——とても僕なんかの云ふことを、取り上げては貰へまいさ、悲觀してるんだが」
「口では強い事を云ふのよ、父樣のくせなのよ——あとで、いろいろ考へなほすのよ、それで、大抵折れてしまふの。頑固なやうで、どこかやさしいところがあるの」
「さうかなあ」
察一は腕を組む。
「あのやさしいところが、事業に失敗した原因だとおもふわ——ホヽ、少し難しくなつてきたわね、とも角安心しちやつたわ。もう大丈夫だわ」
「そんなに樂觀して、佐枝子さんどうしたの」
「大丈夫樂觀してもいゝのよ」
「でも伯父さんには、いろいろ都合があるらしい。悪しいことは仰しやらなかつたけれど、何か財政上の——」
「そのことなら私も察してゐることがあるけど」
「さつき、最後にそれを云つてらした。これを斷つたときの俺の立場は、結局佐枝を不幸にするからつて潤んでらしたのを見たら、伯父さんも年取られたなあ、とつくづく頰のやつれが氣になつたよ」
「そんなこと」
佐枝子は何でもないわ、といふ風に輕くまぎらせ乍ら、彼女も一寸淋しい顏を見せたが、すぐ快活になり
「いろいろ御心配かけてやつたわね。もう二度とこんなこと繰返しないわ。これから、せいぜい面白く遊びませう。」
と、念を押し乍ら佐枝子は、嬉しい顏を、電燈に映らせて
「ほんとに——今日のこと忘れたいわ」
察一の手を強く握つて思はず振るやうにゆすぶり
「萬歲」と云つて、嬉しさうに微笑する。
こんな興奮した彼女を、まだ察一は、一度も見たことがなかつた

市況(十九日)

株式
內地變らず　當市閑散

特產
依然冷靜　一般平調

錢鈔
人氣強く　當市晩り

商品
麻袋見送り　綿糸も閑散

中旬對外貿易(續)　入超　一、一八〇

市場電報
神戸特產　東京株式　東京短期　大阪株式　大阪綿糸　大阪米　神戸米　東京米

家庭

小學校の 讀本や修身書

童謠やら色刷挿繪を入れた モダンなのに文部省で改訂

時代的話は避けて

文部省の教科書調査會では去る十七日午後一時牛官邸に開催、多年の懸案である小學國語讀本、修身書改正につき童謠、色刷挿繪等を入れたモダンなものに改訂に決定しました、現在使用の讀本は十二、三年前編輯したもので大人本位の文章が多く且つ都會用、農村用の區別あり非常に面倒でしたが、今度出來るのはラヂオ、飛行機等最新科學知識も多分に取入れ古い時代の話は極力避け野口英世博士、名和昆蟲王、天龍川治水の功勞者金原明善翁等近代人の實話を採用、博愛平等の引例にも關東大震災に對する世界的同情等を記載又努めて階級觀念を起さないやうにし挿畫も髮、洋裝、スポーツ等三色乃至五色刷に印刷するさいふ文部省さしては實に破天荒の改正を斷行しようとするものです、なほ同調査會で決定した編輯方針は次の如くです

▲國語編輯方針

新讀本は一種とす、分量は低學年に於て五、六割、後學年で一二割、教材は修身、歴史、地理理科等各方面にわたり時世に適切な材料を採用する材料の選擇並びにこれが記述は兒童本位とする卷一から四までの挿畫に彩色を施す、書方手本には硬筆手本も加へる

▲修身編輯方針

小學修身教科書改訂に際し調査會決定事項全部を採用する教材は兒童の生活經驗に卽し兒童の心情に觸れる事に意を用ゆ教師用書の文語體を口語文に直す

なほ近く開催の文政審議會には國語國字問題が附議される筈で、同審議會通過の上は平安朝以來の假名使ひに一大變改を加へ全部臨時國語調査會發表の假名使ひ改訂案に依る事となつてゐます

障子張替の 剝ぎ方…張り方

斯んな心得が必要です

障子の張替へは虫干と共に秋の大一切な行事ですが、毎年春に、秋に張替へる障子張りさへする分限暴な不體裁さを繰返してゐる方が尠くないやうです、次に障子の剝ぎ方、張り方についての注意を擧げませう

◆…紙を剝ぐには細骨の障子ならそのまゝ、骨の太い障子なら霧じめぬらして置いて下から剝ぎます、元來障子は下の方から張るのが當り前ですから、下から剝ぐと一ぺんに上まで剝ぐ事が出來ます、紙がよれてゐる場合は障子の幅より稍廣い板を下の方に當てこれに紙を卷きつけて上に卷き上げますときれいに一度に剝げます、剝いだら細骨のものは洗ふと狂ひの出るおそれがありますから雜巾で充分よく拭いて紙片や

◆…糊を落しつや布巾で木のつやを出します、勝手元などの煤けたのは石鹸水か灰汁洗でつてあとの水分を拭きとり乾かします、糊は生麩はよく煮て平たい皿か盆に移し適度に水を加へて塊のないやうにします、これに布海苔を少し加へて用ゐると鼠の害を受けることがないといひます、紙は良質のものを選び適當の廣さに切り霧吹きに水を入れて準備して置きます

◆…紙を張るには是非下から張らればなりません、もし上から張りますと紙の繼目繼目に塵埃がたまつて汚くもあれば剝げ易くもあります、紙につぎ目が出る時には工夫して繼目々々を揃へるやうにすると體裁がよくなります、紙張がすんだら直霧を充分吹かけて乾くまで靜かにして置きますと小皺がのびてピンと氣持よく張れます、もし切張りをする場合には丁寧にその區劃だけ切取つてなるべく色の同じやうな紙で張ります

◆…あの古い障子に眞白な紙を張つたり、花形や丸形の紙をはつたりしたのは大變醜いものです

今冬の婦人服

アメリカのモード

奥さま連 餘り無關心(下)

住宅および家具類の塗裝と保存法に就て

滿鐵職業教育部 福岡庄一郎

分類法は多少人によつて違ひますが普樣に判りよい分け方は次のやうであります

一、天然ワニス　これは日本特有の漆

一、油性ワニス　コーパル、ゴールドサイズ、ボデイーワニス、ダリマルワニス等

一、揮發性ワニス　樹脂を「テレピン」油に溶解した早乾性ワニス及樹脂をアルコールに溶解したアルコール性ワニス卽ち普通「ラック」と稱するもの

一、水性ワニス　樹脂を「アムモニア」硼砂等溶劑を以て水に溶解したもので地圖の表面等に塗られて居るもの

以上ワニスの内には樹脂中の色素を脫色した透明ワニス(白ワニス白ラック)があります

一、特殊ワニス　この中には油性揮發性何れも含有されて居りますが揮發性の内には「セルロイドワニス」として「セルロイド」を「アミールアセテート」で溶解し「アセトン」で薄めたものがあります「アセトン」が揮發して「セルロイド」の皮膜が出來るのであります、最近のラッカー類は此れの高級塗料であります(自動車塗用)この外は「スパーワニス」「コーケン」「ウルトラック」「タンガワニス」等油性及び人造樹脂塗料であります

色着け塗り方

「ワニス」「ラック」の塗方は

一、素地ペーパー當て掃除

二、目留、普通砥の粉を水煉りにしてそれに少量の糊を加へ木箆にて木の目に詰め込み餘分を拭ひ取る

三、色着け、色着けには水色着け藥品を以て燒付け色着け、顏料を油煉りにして刷毛塗して木部に吸込まれた時拭取る油色着け市場既製品の「オイルステイン」色着け等の方法がありますが普通「ラック」塗には水色着け藥品色着け「オイルステイン」を用ひ「ワニス」塗には以上の何れをも採用する事が出來ます

杢目が地色と異り白、青、黄色等で現はれて居る机、鏡臺等を船簞、岩倉或は一般家具店で御覽になるだらうと思ひますがあれはこの目留と色着けの順序をひつくりかへし色着けを先にしその色着けの落ちぬ樣に透明ラック一、二回刷毛引後白目留ならば不齊、白土、の類を色物は顏料で着色したものを油、水目留等自由にするものであります、以上目留色着けの終はつた後にワニス或は「ラック」を塗るのです「ワニス」なら「ターペンタイン」を以て稀薄にしたもの「ラック」なら一、二回刷毛引

一、「ワニス」「ラック」四塗

一、「サンドペーパ」零號位を以て刷毛斑を取り去り平滑にす

一、上塗

以上は普通の仕上げでありましてこれ以上の上等仕上げになりますと「ワニス」塗は其面を砥の粉を水練りにしたものをボロ、海綿、鹿皮等に附して研磨するか砥石を以て水研ぎして塗料も吉野紙、金巾等で漉したものを使用するのです「ワニス」塗の艶消し仕上げも現在は艶消しワニスの如き塗料もありますが砥の粉で「フラット」するか石研ぎして其の面を艶消し仕上げにするものです「ラック」塗の方も上等仕上げになりますと刷毛の塗り放しでなくして青梅綿を金巾に包み所謂「タンポ」を以て此れに「ラック」を浸み込ませ(含ませ)塗面へ擦り附け乍ら仕上げる擦上げ水研き水ペーパー當胴擦り等の仕上げ方があります、從つて「ワニス塗」ラック塗と申しましても其の色着け法塗方に依りまして塗單價は一樣でありません、

次に塗り上げ後塗面に小孔を生ずる、光澤に斑を生ずる、何時迄も「ネバリ」が取れぬ、膨れを生ずる等の現象の起る事があります、此等に付いて一々說明を加へたいのですが餘りに學究的になりますので、この點については御質問に應じたいと思ひます、大體以上の原因には塗料に原因する場合と塗り方に原因する場合と二つの場合がある事だけは申上げて置きます、

滿日各地版

共産系を壓倒して國民府の勢力增大

朴等の取調べ一段落で判明した不逞鮮人團の現勢

【撫順】既報不逞鮮人の巨頭朴元鐵（二■）外一名は檢擧以來連日撫順署で取調中の處漸く一段落十九日一件書類と共に身柄を奉天總領事館に送致した彼等の自供に依り所謂不逞鮮人諸團體最近の動きが如實に判明した、彼等の自供に依ると撫順背後地に跳梁する不逞鮮人を大別して獨立の美名にかくれて良鮮人を

迫害 搾取する「國民府」なるものと共產主義を奉ずる不逞團とに二分されてゐる、この共產主義系下に蠢動する主なるものは朴元鐵等に屬する東方革命軍がその代表者のものである東革軍は中國共產系と連絡し鮮農等より單に賦課金を徵收するばかりでなく現在の經濟組織の根本をなす私有財產制に反對し財產の共有を主張し社會上には個人的特權に反對すの根本と相容れぬ思想を宣傳する危險分子である、換言すればソウエートの走狗であり中國共產黨の犬である、この東方革命軍の出生は極めて最近に屬する、昨年七月末新濱縣興京に

本部 を有する「國民府」幹部級に軋轢を生じ共產主義に共鳴する幹部級の内約十名が各部下を率ゐて反國民府合委員會なるを組織し國民府倒壞を企てた、處が遂に果さずこの合同委員會なるものは解散のやむなきに至つた、茲で滿洲各所に散在する反國民府系のものが大同團結して昨年十月頃朝鮮革命軍なるものを組織し其本部を柳河縣孤山子に置いたが國民府との反目勢力爭ひから第二次的共產系合同を決行本年二月東方革命軍と改稱その總本部を吉林に移し各縣下に第一軍から第十九軍の本部を置き共產主義の宣傳をなすと共に良鮮農を獨占的搾取する手段として「國民府」を

手段 として所謂不逞鮮人の滿洲統一を企て黨勢擴張に狂奔しつゝあつたものである、但し現在の狀態では東革軍等の共產主義者は到る所日支兩官憲に追はれ且巨頭連亦檢擧され結黨式を擧げた當時の勢力がない是に反し獨立を標榜する國民府なるものゝ存在は中國側にとつては格別毒にもならぬので共產系に比し是を援助する傾向あり往時共產系各種不逞鮮人に壓倒されかけた國民府は最近頓に黨勢を回復し現在では共產系不逞鮮人團の勢力を優に凌駕する

現狀 にある事實が判明した結局彼等不逞の輩も人類界の纖即歷史的興亡の跡を辿つてゐる譯されてゐない無權威のものであるといふことが一般に徹底したのと一面累年打ち續く不況に愈々騰して金のかゝることなら一切御免を蒙ると邀巡する時代思潮に因はれてゐる結果であらうと觀測されて此の儘推移せんか現在の三四人が疑任する位が關の山と悲觀されてゐる、今年は滿鐵側の幹部が孰れも新任の人ばかりであるため資格者と見るべき人もなく、支那側より二名選出するとしても邦人側から八名は選出しなければならぬが今の處進んで名乘りを擧ぐる人はなく結局は市民協會あたりで然るべく有資格者を拔擢して三拜九拜出馬を乞はなければ到底ものになりそうにない

地方委員の選擧

日和見的情勢から漸く動き出した鐵嶺

【鐵嶺】當地に於ける地方委員選擧は史上空前の沈滯氣分を漂はせてゐたが十八日に至り漸く現議長小野健治氏及び機關區より全員一致を以て吉浦豐氏を推すこととなり名乘りが擧がつた、これに

刺戟 されて今まで日和見だつた各候補者も當然運動を開始すべく觀られてゐるが右二氏の外出馬說有力なるは末廣榮二（市中現委員）田中鶴太郞（同）橋本隆藏（同）山下熊五（滿鐵新）久志助用又は小森澄一（滿鐵驛員）下山恭次郞（市中新）右の外驛から現委員であり鐵嶺驛務方の飛田健市氏は單身立候補し運動中の模樣あるも驛としては全員一致して久志助役又は小森助役の何れかを推すべく內定せる模樣あれば此推薦候補を相手として飛田氏が單身鬪ひ得るや否や疑問であり驛員一致して公認候補を定むるとあれば飛田氏の辭退を見るに至るやも知れず、其他選說あるも現委員山田根藏、河村常次郞氏等

形勢 如何によつては出馬するやも知れず運動は幾時日の間ながら相當猛烈となるやうである尙立候補すれば當選確實の電燈局長神所在吉氏が大連に榮轉と決定したので有力な地盤を持たぬ市中

續く不況に一般に沈默

【四平街】來る十月一日改選さるべき地方委員選擧期日は愈々目睫に迫りながら往年の如く旗幟を鮮明にして堂々逐鹿界に驅馬を驅る者一名もなく極めて沈默裡に流れてゐる、此の奇怪の現象は何に原因したかといへば地方委員は公費查定に關し單に地方事務所長の諮問に應答するだけで何等決議權を附與

スポーツ

全滿都市對抗の戰跡リレー競走

旅順側の陣容決定

【旅順】來る十月十七日擧行さる都市對抗戰跡リレーレースに關し十八日午後一時から旅順市役所に於て市會議員町總代及び各方面のもの參集協議會を開催せるが陸山助役より從來の經過報告あり次で選手として

河野萬治、眞砂勝喜、岡澤巨、上倉藤一、上倉仲一、山縣貫、柳澤忠次郞

の五名を承認したる上種々希望又將來に對する意見の陳述を行ひ結局戰跡リレー選手後援會を設け一般より各任意の寄附金を募集する事とし之がため更に幹事五名は市役所に於て詮衡依囑する事と決定午後二時四十分散會した

スポンチ野球

【四平街】スポンチ大會第一回第三次戰機關A區對機關の試合は夜來の驟雨に氣遣はれた天候もカラリと晴れた十八日午後四時より川崎、越前屋、牛澤三審の許に機關區先攻にて試合開始されたが同志打の形にて觀る者の氣をして一種憂鬱の氣を起さしめしも如何ともする能はず遂に機關區軍十對五にて勝つた

第二次戰 スポンチ大會第一回第二次戰警察對驛A軍の試合は十七日午後四時北村、牛澤、森坂三審の許に警察先攻にて試合開始せしが警察軍の快打に亞ぐ快打を以て遂に十四對六にて警察快捷した

婦人公論主催の文藝講演會中止

婦人公論社の讀者訪問記念文藝思想講演會は本社後援の下に過般來安東、奉天、撫順、大連において擧行して來ましたが奉天における日支衝突事件突發のため旅順における催しを中止することになりました、從つて講演會と共に催す筈であつた名士の原稿展覽會、映畫會及び座談會も同時に中止することになりました

泥棒に入つて就寢中御用

これは呑氣な盜賊

【撫順】盜賊に這入り是は亦暢氣にもグッスリ寢込んでゐた處を御用になつた男――本籍靜岡縣小笠郡堀内村現住所不定五島五郞（二七）は郷里で中學三年修了大正十二年五月渡滿鐵嶺驛務方に就職和三年一月故あつて首となり爾來四平街、鐵嶺、奉天等を轉々本年七月撫順に流れ込み永安大街瀨田新聞店の外交員となつたが茲も一ケ月で首次で東四條能文堂新聞店に雇はれたが成績不良亦追はれたる後も能文堂店員を裝ひ市内西九條加藤重太郞方等から新聞代を詐取してゐたが今度は本ものゝ盜賊に變り本月十七日午後十一時東鄉第一寮小林實の室に忍び入り茶色オーバー一枚をまんまと窃取それに味を占めその足で十八日午前一時頃東鄉第二寮撫順野球部現第一投手小寺伊六氏の室に忍び時價二十六圓のセーの椅を窃取大膽にも小寺君の布團を引張り出し高鼾で寢込んでゐる處へ午前六時頃小寺君が所用より歸宅發見されるや言葉巧にも「私は天野田運動具店の店員ですがバットかグローブの御注文はありませんか」と誤魔化し永安臺方面へ逃走せんとするのをごつこいさうはさせじと巨漢小寺君にとつつかまり即時警察に引渡されたが餘罪その他に就き目下取調中

やめられぬ馬賊

身代金を云ひなりに與へられ北叟笑みつゝ逃走

【撫順】世辛い昨今うまく大洋一萬五千元をせしめた馬賊――本月初旬奉天城南門外五里河子部落豪農王玉衡（五六）方にモーゼル拳銃所持の十名の匪賊現はれ王玉衡を人質として孤家子南方二支里數廳部落方面に逃走て、後王の息子宛現大洋一萬五千元を撫順縣某處に持參せよ身柄と交換すべしとの脅迫狀をよこしたが地名不詳のためそのまゝになつてゐた處人質とされた王玉衡自身が家に歸してくれゝば文句なしに要求の金額を提供すると云ふので兩日前南門外の自宅に賊を同行一萬五千元を與へたので「匪賊連は馬賊は生涯やめられぬ」と北叟笑みつゝ折柄の闇に消え失せた

支那人の心中死體

【安東】十六日午後五時頃江岸通二丁目附近の鴨綠江岸に若い男女の心中死體が漂着し居るを發見された、男は原籍山東省萊洲府掖縣生れ現在安東縣新安街鐵家胡衕殿國（二■）女は原籍不詳現在鎭市街三柳巷妓寶相（二〇）といひ兩人共手首を手拭の如き布にて堅く縛り男は伏し女は仰向のまゝ漂着せるものであつて何等他殺の疑ひなく二人は馴染中のもので多分合意の上入水自殺したものらしく醫師の檢視によれば入水後四五日を經過したもので死體は直に支那官憲に引渡した

小林氏の救出を總領事館に請願

海城自主同盟起つ

【奉天】海城における小林善人氏の人質拉去事件で奮起した同地自主同盟海城支部では十六日市民大會を開催し小林氏を一週間內に責任を以て無事救出すべき事等を林總領事を通じ省政府に交涉すること決議したが海城支部長藤田善助、實兄小林克爾氏は十七日此請願書を奉天總領事館に提出し十八日朝上田本部長と共に總領事館を訪問し林總領事に口頭を以て說明し懇願する處あつたが林總領事は語る

當局としては地方人であらうが軍人であらうが邦人を保護する事は勿論であるが今後は一層嚴重に交涉する積りであるこの問題は地方的であるから營口領事に對し之が解決方を督勵する考へである

三人組の匪賊

【遼陽】遼陽附屬地西方徐王子附近の道路上に三人組の匪賊現はれ城內南街居住金鴻亮外三名を脅迫し金品を掠奪したと

足の早い馬賊

【撫順】逃足の早い馬賊――十七日午前九時頃渾河堡公安局分局長以下七名が白塔堡附近巡邏中同所の墓地附近に濡衣を乾かしつゝある六名の匪賊を發見射擊するや賊は拳銃五挺拳銃三挺彈丸百三十發衣類その他を遺棄したまゝ雲霞と附近の高粱畑に半裸體のまゝ逃走し目下行先不明

主人の名前で留守宅を荒す

【撫順】永安臺始め各社宅奧さん連の正に警戒すべき事件――北臺町三丁目古城子採炭所庶務主任角田一雄さんの留守宅に十七日午前九時三十分頃身長五尺三寸三十歲位の炭礦傭人服に滿鐵制帽を冠つた日本人が來て御主人の使ひだと稱し修繕に出すからと時價三十圓のレインコート一枚と時價六十圓の駱駝毛皮付二重マント一を渡してくれと云つて來たので留守居の者が一應斷つた處そのまゝ歸り今度は電話で角田氏が電話をかけたる如く裝ひ同十時頃前記のものを持逃走同手段のものが頻發する故各家庭とも御用心が肝要

島中氏一行

【ハルピン】中央公論社長島中雄作氏作家下村千秋氏婦人公論全日本讀者訪問鮮滿特派員福島昌夫氏一行は十七日午前八時哈爾濱驛着直に北滿ホテルに入り市中見物の後午後四時より公會堂に於ける座談會に出席婦人公論編輯に關する忌憚なき意見を交換し十八日午前九時離哈した

兩氏の慰靈祭

【鐵嶺】鐵嶺在郷軍人分會主催の故中村大尉井杉曹長慰靈祭は十七日午後七時より演藝館に於て執行され各宗僧侶の讀經に次いで河村分會長、小野地方委員議長、西尾鐵嶺時報社長の祭詞あり列席者は五百名に近く非常に盛大な慰靈祭で參列者一同未知の人ながら故中村大尉や井杉氏の面影を胸に描き兇暴飽くなき支那正規兵の爲めに慘殺されたる當時のことなど想像し故人の冥福を祈りつゝしめやかな燒香をした

夫も滿足

定めし

井杉氏未亡人談

【奉天】故中村大尉、井杉曹長兩氏の陸軍葬參列のため上京することになつた井杉未亡人は十七日夜過奉安奉線で東上したが未亡人は語る

私も軍人の妻としてこの位のことは覺悟してゐました夫も一曹長の身 陸軍葬とは軍人としてこの上もない本懷で嘸滿足してゐることでせう、今更云ふ程のこともありませんが無智蒙昧なる屯墾軍 毒刃に倒れた事は返す返すも殘念でなりません今後は只管亡夫 冥福と子供の養育につくす覺悟であります

特產初出廻

品質は不良

【奉天】沿線の特產初出廻りが十五日に包米五斗、開原城南趙として乾燥はよいが粒不揃ひで品質不良、相場は一斗（三十四斤）が現大洋八十五元で又粳の初出廻りは十六日三千斤西豐で乾燥不良であるが品質稍良好相場は百斤現大洋の四元五角である

無氣味な親切

【奉天】十七日午後五時半ごろ熱河省生れ鄭玉良（■■）が長春より

沿線往來

▲石射吉林總領事　十七日吉林へ
▲伍堂滿鐵理事　十七日大連へ
▲川村海城野砲聯隊長　十八日奉天へ
▲增田金州民政署長　十八日公主嶺より奉天へ
▲青木鐵嶺署長　十七日遼陽へ
▲フズネツオフ氏（東支鐵副理事長一行五名）　十八日過奉長春へ
▲古川奉事鐵道課長　十七日歸奉
▲金丸宮八氏（奉取信興務）　十七日大連より歸奉
▲富田商工省事務官　十七日長春へ
▲森田奉事鐵道課營業長　十七日鐵嶺へ
▲內田滿鐵總裁夫人　太平洋會議出席の米國代表スレード氏夫人來奉するので同窓生として出迎へのため十八日來奉
▲井杉曹長未亡人　十七日釜山へ
▲關屋悌藏氏（遼陽地方事務所長）　十八日有賀前所長と共に各所歷訪交任挨拶
▲家鼎次郞氏（赤十字支部主任）　十八日前主事と共に遼陽各所歷訪交任挨拶
▲岸田囑託（滿鐵交涉部）　十八日急行で遼陽へ
▲郎井大佐（旅順歩兵第卅聯隊長）　十八日夜行で離旅
▲平山大佐（奉天歩兵第廿九聯隊長）　十七日午後五時十二分發

漫画 三ちゃん漫遊記

桂ゑ助案 伴九郎画

三チヤンハ、オトヒメサマカラ、タマテバコヲモラツテ、カメノセニノリ、モトノウミヘ、カヘリマシタ。

三チヤンハ、オトヒメサマノコトバヲワスレ、タマテバコヲアケマスト、パツトケムリガデテ、タチマチオヂイサンニナリマシタ。

三チヤンガ、コエヲアゲテナクノヲミテ、ポチガ、錠劑わかもとヲノンデゴランナサイ、トイヒマシタ。

ソコデ、サツソク錠劑わかもとヲノンデミマシタラ、マタモトノ三チヤンニ、ワカガヘリマシタ。

ワシ―わかもとヲノミナサイ

わかもとバンザイ

バンザイワン

わかもと

初秋の御用心

食事の進み過ぎから招き易い胃腸病.

下痢が止る許りでなく

急に肥り出す面しろい…の實驗

秋風が吹き初めると不味かつた御飯が急に美味くなり、食慾もずんずんと進んで參ります。これは今まで暑さのために疲憊してゐた身體の諸機關が急に活氣を呈して來るからです。從つて

病氣

を癒すにも、より健康な身體に鍛えるにもこの期節が最も適切ですが、又一面病氣に罹り易いのもこの期節ですから、身體の榮養を司る胃腸を壯健にして、夏の衰弱を回復すると同時に、惡疫や感冒等に冒されない丈夫な體質を養ふ事が肝要です。

秋の胃腸障害は、多くは食べ過ぎから起ります。殊に秋口に於ては、暑さで疲憊した胃腸の機能が充分恢復してゐないのに、食慾の進むにつれて

過食

しがちですから、注意を要します。それには攝取した食物をよく消化吸收せしめるやう、適當な消化劑を用ひるのも一つの方法でせう。

胃腸病で最も多い胃腸カタルの症狀は、痛みに續いて嘔吐又は下痢が起るのですが、あわてゝ下痢止を用ひるのはごく惡いので、寧ろヒマシ油で胃腸内の食物を下してしまつて、丸一日位は絶食して胃腸に休養を與へた上、最初は重湯、次には粥といふ風に漸次胃腸の恢復をまつて、普通食にして行くのがよろしいのですが、こんな時に澤村博士の『錠劑わかもと』を用ひると、下痢も止り、速かに胃腸の機能が恢復して、消化もよくなり大事に至らず癒ります。

この『わかもと』が諸種の

胃腸

病に卓効あることは專門醫家に認められて各公私の大病院にも用ひられてゐることですから、既に御承知の事でせうが、最近これが養雞に用ひられて奏效した興味ある實驗が、雜誌『雞の研究』八月號上に、千葉の養雞家川村洋二郎氏によつて發表せられてゐます。それは氏が

育雛

されてゐた五十羽ばかりの雛が胃腸を害して糞が詰まつたり、白色の下痢便を出したりして、僅か四五日に三十羽斃れてしまひました。それで氏は全滅の覺悟をされたが、ふと隣家の獸醫が犬の病氣に『わかもと』を用ひてよく効く話を思ひ出して『わかもと』の粉末を與へた處、二三日で急に雛の斃死が止まつて元氣が出、五六日の後には下痢もすつかり癒り、あれ程弱つてゐた雛が二十日目頃には早くも標準體重を

突破

して、平均四十匁弱の體重となり、六十日後の現在では二十三羽の平均體重が百八十匁となつたといふのです。これを以て見ても『錠劑わかもと』が從來の化學藥劑などゝ違ひ、生物の生活機能に直接働きかけてその異常な缺陷を健全に引戻し、衰弱を回復する作用の強いことが首肯されます。

朝夕の急な冷氣に風邪を引かぬ工夫

一年中で夏から秋への變り目程變化の迅速な時はありません。昨日まではシャツ一枚でも暑かつたものが、もう今夜は單衣ではうすら寒いなどゝいふ例は、毎年體驗するところであります。それにこの秋口は晝間と朝夕とでは

……溫

度の高低が非常に違ふものですから、油斷をすると寢冷して風を引いたり、お腹を壞したりします。

風邪をひかない方法としては、やたらに厚着をしたり、冷い風を避けたりしないで、むしろ身體を冷氣に馴れさせ、皮膚を鍛錬するのがよいので、近頃流行の裸體運動や日光浴は、この點からも推奬される譯ですが、それはいはゞ健者のやる方法で

……虛

弱な體質や病氣のある人には望めません。ところが『錠劑わかもと』をのみますと、裸體運動や日光浴で皮膚を鍛錬すると同樣の效果が得られ、不思議に風邪をひかなくなります。

これはこの藥の中に日光中の紫外線によつて體内に生ずるヴイタミンDを含んでゐるばかりでなく身體中の細胞に力を與へ、全身の抵抗力を著しく昂める成分を含んでゐますから、胃腸の働きが強まると同樣に、皮膚の働きも丈夫になつて寒熱を調節する作用が充分に行はれ、自然に風邪を引かなくなるのです。しかもこれがこの藥としては廣い效果の中の一つの枝葉に過ぎないのですから、風邪をひき易い病弱者がこれによつて受ける恩惠は測り知られぬものがあります。

米國賓府の赤ん坊審査會で一等のカップを得たマリー・カアパーさん（滿一年）

下痢と便秘

下痢と便秘とは反對の症候で、從つてその藥も反對の作用あるものでなくてはならない……とは今までの化學藥劑の範圍では當然の事でありましたが、根本的に考へてみますと下痢も便秘もいづれも腸の機能が正常の軌道から、一つは右にそれ、一つは左にそれた爲に起つた病症で、もし腸の働きを正しい道にひき戻す藥があつたならそれは下痢にも便秘にも利かなければならない譯です。

ところが近頃さういふ藥が發見されて、胃腸病專門醫の興味をあつめて居ります。それは澤村博士の『わかもと』で、胃腸カタルに用ひれば下痢がとまり、便秘に用ひれば毎日軟便があるやうになる。つまり腸が根本から丈夫になるので、胃腸病者に喜ばれて居ります。

……右

の榮養酵素劑『錠劑わかもと』は發明者たる榮養學者東大名譽教授澤村眞博士の篤志により、我國民の健康増進の爲め諸種の社會事業を行はんとする榮養と育兒の會より二三〇錠入一圓六十錢、八〇〇錠入五圓といふ犧牲的廉價で頒布されて居ります。希望者は東京市芝公園大門際四四、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）へ藥價だけ送付すれば、送料は會で負擔して急送されます。

『わかもと』＝粉末＝新藥 九十瓦入卅日量一圓六十錢 「錠劑わかもと」同樣各藥店に販賣

母の手記

綠便、粘便、日に十五六回 二ケ月に及んだ乳兒が「一週間で健康便

（十勝）大島たけ子

五月中頃のことです、今まで丈夫であつた次女の昭子が、急に大便が水の樣になり、一日に十五六回も下りました。

―★―

おどろいて早速醫者の診察を受けましたところが、急性腸カタルとの診斷で、藥をのませましたがよくならず、綠便、粘便が絶え間なしに出ます。お乳をのみますとすぐに腹が鳴つて、水の樣な便がでるのです。二ケ月も醫者に通ひましたが、よい方に向はず、結局洗腸しなければとお醫者にいはれました。

―・―

家にかへつて主人に相談いたしますと

『わかもとといふ藥は、たしかにいゝかも知れないから、ためしに呑ませて見よう』といひますので、早速求めてきて乳でといてのませました。すると、呑んだ翌る日、今までの綠便が黄色になりました。これに力を得て、缺かさず服用させましたら、一週間目には健康時の樣な便となりましたので、今更ながら『わかもと』の效力のすぐれてゐるのに感心いたしました。それからは家中皆わかもと黨となり、三ケ月の大瓶を求め、皆でのむ事に致しました。

―★―

丁度知人の子供も腸がわるくなりましたので、早速『わかもと』を知らせて上げましたら、すぐになほりましたさうで、大變よろこんでゐられました。厚くお禮申上げます。

天皇陛下萬歲を絶叫して 壯烈な金子上等兵の戰死

一旦白旗を揭げて騙討ちした頑强な寛城子支那兵

寛城子第六百六十三團第三營長の總指揮で十九日午前四時半より交戰頑强に抵抗した支那兵も我が山砲の威力に全く沈默し同十一時白旗を揭げて遂に我が軍門に降つた、わが駐劄第一大隊は直に兵舍に突入して支那兵の武裝を解除し機關銃、小銃、拳銃及彈丸、馬具、馬匹等の軍用品全部を馬車、トラックに山積して第四聯隊に輸送すると共に捕虜五百餘名を軍隊警護の下に徒歩第四聯隊に引上げた、この戰ひによつて兩軍の損失は未だ的確なる數は判明しないが**我軍は戰死者二十二名 負傷者三十餘名支那軍は戰死二十餘名、負傷者二十餘名（輕傷、逃走せる者多數の見込）で支那軍に比し我軍の死傷者が多かつた**のは支那軍が一度白旗を揭げて降伏したので我軍は武裝を解除すべく安心して兵舍に入つた際支那兵は突如騙討をやつたことが原因である、金子上等兵の如きは彼等のこの手によつて戰死したものであるが**死の直前天皇陛下萬歲を絶叫し**更に紙片に「措樣によろしく」その絶筆を殘して悲壯な死に就いたのである【長春電話】

寛城子の中央廣場に 慘！我戰死者を收容

激戰直後の修羅の巷を視察

本社記者 南里順生

寛城子を占領した我第一大隊は南嶺攻擊の友軍を應援するため息つく暇もなく急行したが、戰後の修羅場を視察のために記者は寛城子に急行した、途中護送中の支那捕虜兵一團及び捕虜憲兵團に路上で逢ひ二里餘を徒歩で兵營內に入る先づ左手に寛城子軍總指揮官傅冠軍が負傷後官舍に逃込まんとしたが**出血甚だしく官舍の玄關先で仰向けに戰死してゐる**右手は下士以下の兵舍で兵舍の內外に戰死者の死體及び負傷者が算を亂して倒れてゐる物凄い光景、兵舍は彈痕でむしろ凄慘を極めてゐる、中央廣場にはわが勇敢なる戰死者が收容されて並べてある、わが軍の南嶺陣地をみれば眼下に展開してゐて攻擊軍の苦戰が思はれる、衣服寢具等血に染まつて散亂してゐる兵舍內に負傷者が呻くのも戰時氣分とはいへあまりにもむごい光景である、午後二時長春に歸つたが南嶺の戰況は未だはつきりしないしかしこれもただ時間の問題で日暮れまでには總攻擊を開始するにあらざるかとみられてゐる【長春電話】

各地在留邦人狀況 大體において無事

日支軍衝突の結果＝支郵便局の連絡杜絶し、吉林、哈爾濱、鄭家屯チチハル等にゐる邦人の安否が氣づかはれてゐたが十九日滿鐵ハルビン事務所長守佐美氏よりの電報が辛うじて滿鐵本社に到着したそれに依ると「目下無事、適宜善處する」とあつたので滿鐵ではやゝ愁眉を開いた、又吉林の狀況については十九日午前までは邦人の生命財產は無事であることが判明した、彼の地在留邦人は引揚を見合せたらしく吉長沿線業員もそのまゝ殘留するが吉長沿線在住者は續々引揚げつゝある模樣である、滿鐵は萬一を慮り吉敦線主要驛に駐派の滿鐵社員に引揚を命じた、チチハル、鄭家屯、洮南方面に於ける邦人の消息は不明であるがわが軍部では洮南、敦化方面の在留邦人の少い地點は我が軍の警備が手薄のためその方面についても警戒員を當ててゐることゝなつた

（前略）つて居るが頗るヒツソリ閑として居る、長春驛には軍の要求によりいつ何時でも應じ得られるだけの機關車、客車、貨車が準備されてゐる、なほ市內要所々々の夜間警…

遼陽城內婦女子避難の命令

楊縣長に嚴重警告

遼陽附屬地は從來の自警團以外に在鄕軍人中からさしあたり三十名を召集武裝せしめて十九日午後五時から變電所水源地郵便局銀行その他の要所に配置警備し遼陽城內居留民の保護に就ては十九日午前三時山崎領事と長山署長は縣政府に楊縣長を訪問絶對保護を聲明せしめたるもなほ不安なるを以て同領事は婦女子に附屬地に避難するやう居留民會を通じて命じた【遼陽電話】

十七歲以上の男子を總動員

鞍山で自警團を組織

守備隊出動中の手薄に乘じて暴民の蜂起を警戒するため鞍山、栗…年團は自警團九班を組織し每夜六時より午前五時まで市中警戒の任に該り、尙滿鐵附屬地市中の十七歲以上の男子は總動員して警戒することゝなつた【鞍山電話】

長春城內靜穩

長春城內は武器を携へて逃走する兵士…

城內の占領成つて奉天に安らかな夜

しかし遊び場なども戶を閉して自ら町に漲る緊張味

日支開戰の呪はしき夜は明けてホツとしたやうに不安の胸を撫で下ろした奉天市民、奉天城內は見事占領したもの、未だ曾て斯うなつた例がないので、これがどう落ちつくかと路會ふ每に話題の種となつてゐる、十九日は城內の各戶は門をかたく閉め心配氣な顏をして樣子何かと見守つてゐる、併し我軍隊の活動は勿論警察官、在鄕軍人に至るまでの獻身的な努力は居留民保護に安らかな夜を迎へた、支那側の逆襲說も頻りにあるが午後十二時までには何等變つたことも無い、要所々々に在鄕軍人の嚴重な警戒が續けられカフエーなどの遊び場も早くから門を閉して緊張の氣分を自ら町にみなぎらしてゐる、城內では占領した地域に我軍の前哨線を張り嚴重警戒を續けてゐる、斯して戰時狀態にある奉天市民は忠勇な我軍、警官等の力により安らけき夢を結ぶことだらう（午後十二時奉天電話）

山海關以北邦人保護 營口で手配中

北寧線の山海關以北の各地居留邦人の保護に就いては營口守備隊において手配中である

邦人家族の避難を阻止

【長春十九日發】吉長線下九臺滿鐵派遣員の家族が避難の際支那軍隊に阻止されしもその後交涉の結果無事避難するを得た

撫順背後地鮮農避難

撫順背後地鮮農は十九日夜來續々附屬地に避難しつゝあるが同日午後八時小柳河子の鮮農約五百名は…

偶然の一致 寛城子事件と同じ十九日

第一寛城子事件は大正八年一月十九日で第二寛城子事件たる本日の交戰が九月十九日でやはり十九日であることは頗る奇緣とされてゐる、この十九日は第一寛城子事件の祭典が西公園の誠忠碑前で執行されることになつてゐたが戰鬪の爲無期延期となつた【長春電話】

鄕軍將校團

來滿中の前參謀總長鈴木莊六大將に引率された在鄕軍人將校團の一行は十九日午後五時二十五分着列車で來奉した、直に鈴木大將は軍部關係者と會見してヤマトホテルに投宿したが往訪の記者に對して…

旅順警備打合

十九日午後一時旅順驛貴賓室に於て開催された警備會議の結果、旅順市としては軍隊の出動に依り萬一の場合は警察、在鄕軍人分會協力の上萬全の策を爲す事に決定し尙現在に處する打合せを了し二時過ぎ散會した

邦人醫院保護

長春城內にて支那病人を收容中である田中善平氏經營の病院は收容病人の關係上附屬地引揚げ不可能で同病院だけ居殘り居るため長春警察署では四名の武裝警官を派し保護中である【長春電話】

西大連市民大會 けふ午後七時から大正校で

西部大連有志は今回の支那側の暴戾に對し、輿論を喚起して支那を膺懲すべく、二十日午後七時より大正小學校講堂に於て時局對策西部大連市民大會を開催することゝなつた

自警團で警備

公主嶺守備隊及び聯隊は逸早く支那公安局員の武裝解除をなした上長春及び奉天に赴いたので同地の守備は自警團の手で行はれてゐる

兵工廠の邦人四氏とも無事

奉天兵工廠の支那側委託設理事林、平本、藤田、榎本の四氏は兵工廠が日本軍のため破壞されたが生命安全である【奉天電話】

小學校休校

奉天公學校、同文商業學校、城內敷島小學校は時局の爲め十九日から臨時休校した【奉天電話】

金州も緊張

日支交戰が報道さるゝや俄然金州居住民は一齊に緊張し刻々の情報を俟ちつゝあるが民政署兵事係では九名の充員召集係に禁足を命じ命令一下何時にても出動出來得る樣準備を整へる一方警察署では應援の爲之亦何時にても現地に向ふべく十名の警官は用意怠りなく今や緊張の氣分は全市に漲つてゐる尙一般支人側の情勢は今の處何等變化を見ない【金州電話】

留守司令部緊張多忙 激電頻々

軍司令部の奉天移駐により旅順軍司令部內はガランとしてゐるが中央軍部よりの命令、內地及び臺灣等よりの激勵電報、奉天における戰況情報等頻々として來たり、これを一々奉天の軍司令官に報告するので留守隊員は多忙を極めてゐる

北行旅客の輸送開始 安全保證で

滿鐵線の下り旅客は蘇家屯驛に於て引返すか途中下車をさしてゐたが、我軍の奉天城を完全に占領したことによつて鐵道安全の保證を得たので蘇家屯發十二時四十分（但し鳳凰城より…め四十分停車してゐた）の列車から一般旅客を北に向けて輸送を開始した【奉天電話】

中止された催し物

二十日大連に於て舉行する筈であつた市民射擊會主催の全滿射擊大會及び旅順工大對大連商業並に大連倶樂部對旅順醫大の兩ラグビー戰撫順における全滿柔道大會等は日支時局重大化に鑑み中止することゝなつた

馬賊と提携し范家屯襲擊說

馬賊討伐のため六百名の部下を張…

兩氏の略歷

南嶺の激戰に重傷を負つた小河原大隊長及び名譽の戰死を遂げた倉本中隊長の略歷左の如し

小河原大隊長 本年四十六歲にして千葉步兵學校教官より去る八月の異動の際守備隊附となつたもので氏は陸軍切つての射擊の名人である

倉本中隊長 本年三十六歲で第一師團麻布第三聯隊より工科學校教官を經て去る八月の異動の際中尉より大尉に昇進して守備隊附となつたものである

慰安車等停止

滿鐵地方部の慰安車は公主嶺で第四十三回の巡回映畫は…街で何れも時局の爲め巡回を停止することゝなつた

滿鐵列車遲着

十九日午後四時五十分大連驛着豫定の長春發列車は奉天驛にて混雜の爲め一時間半遲着した

太田課長赴奉

太田滿鐵學務課長は奉天時局事務所の連絡員として十九日午後九時半發列車で赴奉した

埠頭貨物方救援を準備

奉天驛其の他各驛に於ける軍需品輸送が俄に頻繁となり驛貨物方は大多忙を極めてゐるが大連埠頭事務所では貨物方救援依賴あつた場合直に出動出來るやう十九日正午準備したが若し必要上驛より派遣方依賴あつた場合は六十名は派遣すべく準備を整へてゐる

火藥補充中に爆發六名重傷

【京城特電十九日發】第二十師團兵器部では今十九日早朝から鮮人男女五十名を臨時に雇入れ手榴彈に火藥補充作業中午後二時半一名の婦人が過つてこれを取落した爲め大音響と共に二回に亙つて爆發し六名瀕死の重傷を負ふた

理由さへあらば堂々とやるべし

奉天から來連した島中氏一行語る

中央公論社主催の婦人公論全日本讀者訪問は本邦雜誌界の一大快擧として斯界にセンセイションを捲き起してゐるが、十九日午後六時より大連、滿日兩社後援の下に彌生高女講堂に於て開かれる文藝思想講演會出席の爲同社々長島中雄作氏はルンペン物作家中の第一人者下村千秋氏並に同社編輯員福島昌夫氏、大川秘書同伴十九日午前八時着列車で來連、各書籍商關係者並に栗本大連新聞營業局長、佐賀本社營業局長、鶴木本社廣告部長等多數の出迎へをうけ、ヤマトホテルに入つた、卽ち同氏一行は昨夜奉天に於ける日本交戰直前午後九時四十五分奉天發列車で大連へ向つたものであるが、ホテルに島中社長を訪へば

奉天通過の際、驛頭に武裝した支那兵が非常にたくさん來てゐたので、隨分物々しいなとは思つたが、今度のやうな大事變が起らうとは全く考へも及ばなかつた、正當な理由さへあれば大いにやるべしだ、唯滿洲在留邦人が、一時の感情に驅られて輕擧妄動することは國家百年の大計よりして必ず愼しまねばならぬ、今回の事變が日支外交の上に非常な問題となることは明かなことだが、それに對する私などの考へを述べることは遠慮しやう

中央公論社員

中央公論社婦人公論編輯部員として滿鮮講演行脚中の福島昌夫氏は日支時局の急轉直下的の變化に旅順における講演を中止したるを機會に十九日午後九時半の急行にて奉天における邦人婦女子の狀況調査のため出發した

支那問題に對し內地輿論は硬化

永雄策郎博士來連談

元東亞經濟調査局に在つて植民地鐵道問題の研究によつて經濟學博士となつた拓殖大學教授永雄策郎氏は十九日入港のうらる丸にて來連したが船中にて語る

滿洲を一年見なかつたから今度並行線と鮮人問題調査に來ました、今日支が衝突した事を聞いて驚いたが支那側がよくも挑戰したものだれ、驚いた、私は內地の各都市で對支外交問題の講演して廻つたが支那時局に對しては輿論は非常に硬化してゐる金澤では立川少將が講演した翌日私が講演しましたが當日は一千五百人定員の公會堂に二千人も詰めかけ硝子が破れる等大騷ぎをしました、金澤師團が飛行機でビラを撒いたのは立川少將講演の前ですが內地到る處目下我が國々防といふことが喧しく論じられてゐます、私はこれからハルビンまで行きますが大連には五六日滯在します

金州丸出港

海務局所屬の金州丸は西中島航路標識施設の爲め十九日午前七時三十分大連埠頭出發現地に向つた

文藝思想講演會

昨夜彌生高女で擧行

婦人公論讀者訪問班主催の文藝講演會は大連、滿日兩社後援の下に十九日午後六時より彌生高等女學校講堂に於いて開催されたが知識に燃ゆる婦人、青年等定刻前より多數詰めかけた、會場は公論社寄稿家たる多數文藝名士の**原稿**を揭げ陳列したものは珍しいものだけに來場者の人氣を呼んだ、午後六時半より公論社宣傳映畫「かくて第一線へ」の映寫あり同七時より「文化の指標」は愛されることを知つて愛することを知らぬと島崎藤村氏の說をひいて婦人の覺醒を促し三十分餘の講演をなし次いで下村千秋氏の「インテリゲンチヤは何處へ行く」の講演において我國知識階級の現狀及び將來につき文氏獨壇場たるルンペンを論じ**聽衆**を感動せしめて同九時半盛會裡に散會した、なほ會後行ふ筈の座談會は時局多端につき延期し二十日午後三時よりヤマトホテルにおいて開催することゝなつた

六大學リーグ 四A對二で立教快勝 慶大敗る

【東京十九日發】慶立第一回野球戰は正午戶塚村（球）野村圓城寺伊丹（壘）審判の下に慶應先攻にて開始四A對二にて立教勝ち二時十分閉戰

バツテリー（慶應）水原、上野、小川（立教）辻、百瀨

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
慶應	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2
立教	0	0	1	0	0	0	0	2	1A	4A

	打數	安打	失策
慶應	二七	四	二
立教	二九	九	一

早大大勝 對明大一回戰

【東京十九日發】六大リーグ早明第一回戰は午後二時四十五分宮武（球）片田、田村、藤田（壘）四審判の下に明大先攻にて開始バツテリーは明大鬼塚、井野川、早大伊達富永であつたが結局一〇A對一で早大大勝閉戰同四時四十七分明大三回田部五回八十川何れも投手となる

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
明大	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
早大	1	0	0	2	3	0	0	0	4A	10A

	◇明大	◇早大
打數	三〇	三八
安打	五	一五
三振	四	四

將棋上達の秘訣

大崎八段が初心者の爲めに又と得難き將棋必勝秘訣を講談倶樂部十月號に發表、到る處大好評

梅若後嗣來る

謠曲梅若流の宗家梅若龜之、貞之の兩兄弟及び門下一行六名は十九日入港のうらる丸にて來連した、船中に訪へば龜之氏は語る

大連を終つて奉天、青島の演奏に巡り三十日青島出帆歸京する筈ですが時局によつては豫定の如く行けますかどうか【寫眞は梅若後嗣兄弟】

歡迎會盛況

遙かに梅若一行が來遊せる際不圖時局急迫するにいたつたので折角の歡迎會の成否を懸念されてゐた昨十九日夜協和會館に於ける同歡迎會は意外の大盛會にて來會者約八百名に上つた、本日もまた同所にて午後一時より開會の筈

フレード氏夫妻來連 總裁夫人と同伴

太平洋會議に出席する米國代表フレード夫妻は奉天に滯在中の處十九日午後八時着列車で來連した、フレード夫人の學友で舊知の間柄である內田總裁夫人は夫妻を奉天まで出迎へ同伴して歸連したが驛頭には內田、江口正副總裁及び副總裁夫人が出迎へ星ヶ浦の總裁邸に於て小憩の後星ヶ浦ホテルに投じた

沙市東京間の無着飛行計畫

【ニューヨーク十八日發】米海軍豫備大尉ハリー・ピー・コンノアン氏は近くジエー・エス・マクドネル氏と共にベランカ機を以てシヤトル、東京間太平洋無着陸飛行をなす計畫なる旨今日發表した

リ機南京へ

【長崎十九日發】リンデイ機は今朝八時五十四分福岡名島飛行場離水秋空を一氣に南京に向つた

國際文藝協會

【東京十九日發】國際文學藝術協會長ジョルジュ・マイヤール氏より我政府に同協會の萬國大會を明年九月頃我國で開催し度きにつき斡旋方を依賴して來たので內務省では十八日午後二時より同省內にて民間關係團體を加へたる大會準備協議會を開催協議の結果開催を引受けることに決定しその援助方針を附議し直にパリーの同協會長宛その旨回答を發することゝなつた

曙の鐘 (54)

倉田潮
浅枝次朗畫

淺草の夜(一)

春木正雄は今夜も淺草行きのタキシイに身を置いてゐた。

晴れてさはやかな秋の夜だつた街の灯は橙や蜜柑を吊るしたやうに奢闘に飾つて、電車や自動車の響きが夜の底に亂れてゐた。

先日あけみの訪れて來た日のことを考へると、惡夢のやうな氣がするのだつた。あけみは初めからあゝいふ意圖をもつて春木を訪れて來たのだらうか。それとも話しの行きがかりで戀を打ちあけ最後にあゝ云ふきようたいを演じて了つたのだらうか。それは解らないにしても春木が殆どあけみの手中に陷つて了はうとしたのは事實だつた。あれほどたえ子を戀し、あれほどあけみを憎んでゐたのに、誘惑にあふと一たまりもなくあけみの魅力に壓倒されて了つたことはなかつた。それは彼の男の意地からしても許し得ないことだつた。あの日あけみに云つた通り彼が次日から社に出ないのもやはり其の男の意地からだつた。一度口から外したことを、彼はさに引くことは出來ない。

淺草は土曜の晩なので、非常な混雑だつた。夜もこゝでは紅く明るい。その紅い夜の中に人がぎつしりとつまつて、うごめきながら流れて行く。兩側からは哀愁をおびた樂隊がその流れにマーチを合はせてゐた。

春木は急ぎ足で人の流れを横ぎつてOKチヤリネの裏口を這入つた。階段のところから見物席を覗いて見ると、今夜もマリアが出ない爲か客が殆ど半分しか這入つてゐなかつた。たえ子のことでマリアが小舍を休んでゐると思ふと、

が、つくりないゝかげんで切りあげて、ベルをならして火の番を呼び、例の通りの夜食や茶をたのんでから春木の前に來て坐つた。春木は毎晩のことなので氣の毒で仕方がなかつた。が、それをいふとよしきは笑ひながら、

「毎晩來る人が來ないと、寂しいものよ、この間なんか、來てくれないので、一晩中足りないやうな氣がしてたわよ」

さう云つて、少しも變らない好意の笑を浮べたが、島渡あらたまつて、

「それに、こん夜はあんたに逢ひ度いと云つてる人があるから、ゆつくりしてつて下さいな」

と、出幕のベルに呼ばれて部屋を出て行つた。

(以下前段より)

ことを考へると、不思議のやうでもありまたふがいないことでもあつた。もしあの時マリアが部屋に這入つて來なければ、春木は今はあけみと戀におちてゐたかもしれなかつた。しかも、今なほ彼はあけみを思ふと、心に不思議な動搖を感じるのだつた。たえ子の様子をきぐると云つて剛太郎のもとへ行つたマリアは、この頃は病氣なのか毎日小舍を休んでゐる。たえ子の消息は今もつて少しも解らない。今まであの屋敷にとぢこめられて毎日壯三に迫られ續けてゐることを思へば、たえ子が壯三の心に從つて了つたと云ふ想像もいちがいに邪推であるとばかり云ひ切れない氣もする。では、思ひ切つて過去のことを一さい無いことゝあきらめて、あけみの心に從はうか。あちためてあけみの戀をいれてやらうか。

さにかくあけみは長い間變らず戀をかけ續けてゐてくれた。今までの一さいの邪躍もその戀から出發して來た行爲であると思へば、憫んでばかりもゐられなくなるのだつた。

しかし、今になつてあけみの戀をいれるのは負けたやうな氣がし

春木は氣の毒な氣がしたが、しひて元氣に騎後の部屋に這入つた。

「ようこそ、春木」

と京極よしきは例のやうににこやかな笑顔を鏡臺の前から見せた彼女はマリアのおなうめに、次幕の出のしたくをしてゐるのだつた

滿日臨時碁戰

先番 三段 増淵辰子孃
三段 大巖義勇氏

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

● 一四一チ十六 ● 一四五カ十八 ● 一四九チ十三 ● 一五三チ十一 ● 一五七ヘ三
○ 一四二ル十七 ○ 一四六チ十九 ○ 一五〇チ十 ○ 一五四ト十 ○ 一五八リ二
● 一四三ヨ十三 ● 一四七カ十三 ● 一五一リ十一 ● 一五五ヘ十一 ● 一五九ヘ四
○ 一四四タ十八 ○ 一四八ワ十九 ○ 一五二チ九 ○ 一五六ヌ二 ○ 一六〇ヘ五

—【1】—

滿日俳壇

鷄頭

島田靑峰選

大連 高木春陸

鷄頭や西日まぶしき倉の壁

さりげくの色美しき鷄頭かな

窓下に鷄頭燃ゆる夕日かな

鷄頭の色の赤さや夕日照る

澄み渡る空の靑さや鷄頭燃ゆ

鷄頭や仰げば空の高々さ

鷄遊ぶ荒れたる園や鷄頭花

けふの放送

大連 JQAK

九月廿日午後六時五十分

▲ニユース
▲謠曲「鉢の木」(觀世左近師レコード」說明泉泰一郎
▲尺八「都山流本曲寒砧」一部沖野靜山、二部小笠原米山
▲新日本音樂「虫の聲」「鈴虫」箏福森勾當、尺八小笠原米山
▲義太夫「新版歌祭文、野崎村の段」淨瑠璃稲田二龍、三味線竹本佐太夫
▲ラヂオ體操
▲天氣豫報
▲中國劇「上天臺」連東俱樂部々員

東京 JOAK

九月廿日午後六時卅分

(映畫の夕)▲放送映畫劇「沖戰河古原城」冬島泰三作、十時左馬之助(尾上榮五郎)中兄右馬之助(正宗新九郎)弟來馬(寶川正三郎)叔母よし枝(環歌子)娘道枝(浦濱須磨子)田々羅庄左衛門(坪井哲)兵堂伴作(志賀靖郎)其の他大勢、解說早稲田旭濤、伴奏歌舞伎座管絃樂團▲映畫小唄「レビユーの踊」「パリーの屋根の下」「一太郎ヤーイ」「ラモナ」「さむらひ日本」「リリオム」「野に叫ぶもの」田谷力三、伴奏コロナコンサートオーケストラ▲ラヂオコメディ「風船玉とパジヤマと戀」北村小松作(場景)或る文化住宅内の應接間、父「武田春朗」母「飯田蝶子」長女藤子「村瀬幸子」其の大幸太郎「石山龍嗣」次女靜子「川崎弘子」其の戀人牧「一守新二」放送指揮「清水宏」

衞生相談

療病顧問

「痔瘻の初期」

昨年の二月痔核を手術して全治しましたが最近肛門の奧にシコリの様なものがあつて痛みを覺ます、疣痔とは違ふやうに感ぜられますが何でしようか(小石川・天野)

(答)痔瘻の初期であらうと思ひます、瘻孔が外部に開口せずに居るのです、放任して置くとやがて孔が開き膿汁を分泌します。體質との問題もありますから、よく醫師とご相談の上早く治療なさる方がよろしいでしよう。

「出血と貧血」

妊娠の時から痔が惡くなり時々紙に血がつく程度したが、最近ひどく出血しますので、顏色が惡くなり、困つて居ります、よい療法を(大阪 さよ子)

(答)痔出血は甚だしく貧血を招くものです、餘病等の問題もありますから用心に如くはありません、適當な痔疾藥を挿入して出血を止めなければなりません、自宅で用ひるには小松ちの藥などが一番よろしいでしよう。

「疣痔と鎭痛藥」

最近肛門の內側に小さな疣が二つ三つ出來て、激しく痛みます、痛みを止める藥をお敎へ下さい。(埼玉 松本生)

(答)凡ての痔疾藥は鎭痛收斂作用があります、しかし痛みを止めるだけでなく、痔核そのものを治すのが本當です、小松ちの藥など用ひてごらんなさい。

「ガツチヤキと大蒜」

裂痔(ガツチヤキ)で三月ほど前から、歩行困難、出血、痛みが止みません、痔疾にニンニクがよく効くと聽きましたがほんとうでしようか(北海道 M生)

(答)ニンニクが果して痔疾に効くかどうか……は醫學的には未定ですからハツキリ申上げられませんそれよりは優秀な醫師なり藥なりの方が安全でしよう、家庭療法ならば小松ちの藥などがあります。

痔疾の療法に就て御照會下さい。叮嚀に御說明いたします。(宛先は東日本橋瀨戶物町玉置合名會社保健係宛のこと)

醫療新說
一旦治つた痔疾が何故?再發するか
新しく發見された重大な痔疾の原因

人は 病の器であるといふ四百四病は昔の話で現代には果して幾百の病氣があるか…思ふだに肌に粟立つてはないか……しかもそのなかで最も現代生活と關係深く亡國病の名を擅にしつつあるものに結核と痔疾のがある、結核のことはさて置いて痔疾の多いことは專門病院すら舌を捲いてゐるといふ話である。

*

何故 現代人にかく迄に痔疾が多いかといふことについて最近學界多數の權威者によつて驚くべき新發見が齎らされた。それに據れば從來本病の原因は單に常習性の便祕、硬糞の停滯によ、壓迫暴飮暴食、內臟諸疾患、花柳病、妊娠、椅子久座、長時間の乘馬自轉車乘等によつて起る痔靜脈の鬱血と認められてゐたのであるが、果然この他に今一つ重大なる素因が困却されてゐることが發見されて肛門病學的に一大衝動を捲起したのである。

*

この 新しき發見によれば元來人體の各部に於ける靜脈管には其要所々々に血液還流に必要なる特有の瓣を有して鬱血停滯せざる樣造化の妙を盡してゐるのであるが、何故か肛門周圍の痔靜脈に限つてこの瓣を缺除するものなることが明白となり、靜血還流の圓滑を缺ぎ、解剖學的に怖るべき痔疾の重大なる原因を成しつつあるといふことが斷定されたのである

*

痔疾 が血を流し肉を裂くの痛苦を忍びて治療するも尙且次から次へと再發の浮目を見、患者をして痔疾不治の痛ましき幻想を抱かしめる、その大原因が何處にあるかは、この新發見によつて極めて明確に說明されることとなつた即ち痔疾の原因が在來稱へられて居たるが如く、生理的及び生活的原因にありとすれば、その原因は患者の攝生によつてこれを排除し又患部は之を切除することによつて治療の目的は完全に達せらる

べきであるが、前記の如く解剖學的主因ありとせば、この鬱血素因を排除せざる限り、痔疾の再發は或る程度迄避くべからざることになる譯である。

*

茲に 於て目下治療界に於て熱心な研究の焦點となつてゐるものは痔疾を治すといふことも勿論重要であるが、同時に次の發生を豫防するといふことがより重大な必要事ではあるまいかといふことである。具體的に言へば瓣の缺如による鬱血をいかにして防ぐかその新しい方法こそ治療界に課せられた大きな宿題でなければならぬ。

*

とこ ろで現在行はれてゐる治療法の裡で豫防的意義をも兼ねてゐる家庭療法は藥物による療法であるが、藥物の選擇とその使用法は最も愼重であられればならない使用法を簡單に述べるならば、治療效果としては主として挿入藥或は塗布藥が有效であり、豫防的效果としては內服藥が適當であらう內服藥は主として痔毒を下すことと便通を整へることによつて鬱血を尠くすることに焦點が置かれてあるからである、故にこの三種或は二種の交互應用こそ痔疾を治す秘訣といはればならない。

この際最も信頼すべく實際的效果のすぐれてゐるものとしては「小松ちの藥」等が第一に數へられてゐる。この藥の效果は既に定評あるものであるが痔の運用によつて痛みを除き、出血を防ぎ、患部を消毒し、肉芽の新生を助ける外、怖るべき鬱血の機會を尠くする様深甚なる考慮がその配劑の上に加へられてゐると言はれてゐる。同病者の爲に紹介して置く、小松ちの藥は全國藥店デパートに販賣されて居ります)

滿洲日報
夕刊
九月十九日

事態を擴大せぬやう出來る限り努力
けさ臨時閣議決定
政府聲明書を發表

【東京特電十九日發】政府は奉天における事態急迫につき十九日午前十時より官邸に臨時閣議を開き若槻首相以下各大臣出席劈頭若槻首相より「緊急閣議を開きたるは昨夜奉天附近に起つた日支兩軍衝突事件が極めて重大なるを以て之が處置につき協議したい」と述べ陸軍省より「奉天北大營で支那兵が鐵道を破壞し同時に日本警戒兵を驅逐したとの報に急遽應援に赴き引揚げる際衝突するに至つたものである、而して我兵が非常に不足のため奉天の一大隊中より若干を急派し支那兵五、六百名と會戰したがその後の狀況は判明せず奉天大隊は右救援と同時に領事館商埠地居留民防備の配備を爲した」と報告、幣原外相より外務省に達した情報を報告更に安保海相より「海軍は必要あれば十二時間以内に佐世保より出動し得る準備整つてゐる」と報告意見交換の後本件については政府は事態を擴大せしめざるやう極力努むる方針に決し午後零時十五分散會、大臣より直ちに同一主旨を以つて關東軍司令官に訓令したとの聲明書を發した

奉天總領事に訓電

【東京特電十九日發】外務省は滿洲の日支衝突事件を飽迄地方的問題として解決し事件を之以上擴大する事を防止するやう方針決定其旨林奉天總領事に訓令を發した

我海軍の出動準備

【東京十九日發】滿洲における日支兩軍衝突事件に關し海軍當局は十九日午前八時三十分大臣室に安保海相、小林次官、堀軍務局長等軍部首腦部緊急會議を開き海軍側の態度につき意見交換を行つた結果事件が擴大され滿洲各地に延長を見る最惡なる事態に備へるため目下青島に在る巡洋艦多摩を旗艦とする第二遣外艦隊を特別警備任務に就かしめ更に事態急變の際は目下佐世保に在る第二十四驅逐隊を長江に急派せしめ警備に遺憾なきを期すこととなつた

根本的に支那を膺懲
我軍部の空氣は益々硬化

【東京十九日發】日支兩軍衝突事件に關し當初の處置として朝鮮軍の一部の出動その他大體内定してゐるが軍部の空氣は支那官兵が集團的に滿鐵線を破壞するに至つては最早容赦の餘地なく殊に兩軍の間に火蓋が切られたのであるから根本的に支那の侮日的態度を膺懲して一氣に滿蒙諸懸案を解決せねばならぬといふにあり而も奉天、長春その他各地で兩軍の衝突あり結局大部隊が内地から出動するの已むなきに至らんと見らる

陸相首相協議

【東京特電十九日發】支那軍の滿

旅順部隊の出動

（上）旅順重砲隊出發（中）重砲列車内積込み（下）旅順憲兵隊の出發

東北第九聯隊を占領

十九日午前四時半我軍は東北第九聯隊を占領した【奉天電話】

皇姑屯支那兵我軍を攻擊

十九日午前四時皇姑屯にまた支那兵二個中隊現はれ我軍に對し攻擊して來たので目下應戰中である【奉天電話】

……鐵線爆破により突如日支軍衝突となり交戰中の報に接し南陸相は幕僚と協議のうへ應急處置を取敢ず電命し今朝八時十五分若槻首相を訪問衝突事件の經過を報告事議するところあつた

天津の日本駐屯軍出動準備整ふ
列國側居留民保護を申合はす

【天津特電十九日發】奉天の日支衝突事件に鑑み當地日本駐屯軍では直に緊急會議を開き當地での不祥事發生を懸念し萬一のため何時でも出動し得る準備を完了すると共に列國側に諒解を求めた、列國側は若し支那軍が日本租界に侵入の場合は一致して日本軍を援助し居留民保護を申合せた

王樹常氏管下の軍隊を訓戒
輕擧妄動する勿れと

【天津特電十九日發】日支衝突に關し王樹常氏は本日直に管下の軍隊に對し輕擧妄動を戒める訓戒をなした

江代理公使我外務省を訪問
日本の態度を聽取

【東京十九日發】江支那代理公使は十九日朝十時外務省に谷亞細亞局長を訪ひ奉天事件並に外務當局の態度につき詳細聽取した

寬城子占領の詳報

寬城子支那軍隊の武裝解除は大島聯隊長指揮の下に十九日午前四時半より行動を開始したが敵は頑强に抗するため交戰永引き九時半までには兵舍の一部分を占領したのみで完全なる武裝解除までに至らずこの間我軍は戰死軍曹以下四名負傷特務曹長以下十四五名を出し戰線における負傷者はどんどん聯隊醫務室に收容される有樣で支那側は第二連營長傳冠軍ほか多數の死傷者あつた模樣である、かくて北方の寬城子、南方の南嶺に敵を

軍部と連絡をとり治安維持に努力
塚本長官の歸任談

去る八月十二日上京した塚本關東長官は所轄内政務報告及び對支外交問題について中央政府と打合せその他要務を果して室田秘書官帶同十九日午前八時半入港のうらる丸にて歸連したが折柄十八日夜より奉天における日支衝突あり對支時局重大化したので三浦内務局長西山財務部長、河相外事課長、田邊秘書課長等關東廳高官、滿鐵村上、竹中兩理事等ランチにて港外まで出迎へ、一方市内警察四署總出動にて物々しく長官身邊を警戒した、沖合まで出迎へた三浦内務局長は直に塚本長官に對し衝突事件勃發の成行について報告するところあり、記者の呈した本紙十九日朝刊及び號外を見て

今、船の無電の飜譯が出來上つたのと滿日の號外を貰つたのが同時で之を見て實に驚いた、支那兵が滿鐵線を破壞せるのが原因とは實に支那は怪しからん、意だと憤慨し乍ら語る

私は船中にあつてこの成行については全然知らないから何とも言へないが事態が玆に到つた以上行政長官として軍部と聯絡をとり在留邦人の保護及び治安維持に全力を盡す、今聞いたが旅大から既に警官隊が行つたさうだね、當然の處置だ

「政府當局の肚は」と記者の問に對して長官は

愈よ斯うなれば積極的に行くところまでやらればなるまい

と答へなほ語を續け

今回の中華民國の要人の言動に對しても内地國民は非常に人心を刺戟され、今や輿論沸騰してゐる、滿蒙に對して内地國民は從來にない强い意思と大いなる關心を持つてゐることは事實だ、又國民は目下の支那時局に對して出先官憲の主張を强く支持してゐる

次いで話頭を轉じ

今回の上京は北白川宮、閑院宮の兩宮樣の御渡滿に際し御警衛の報告、過日私が北滿及び州内視察せる結果の管内狀況報告を兼ねての用事だつたな、歸つてから行財政整理は是非やらればならないが私は未だ何等の報告を聞いてゐないから具體案については分らない、税制整理は行財政整理とは別個にやるのだが二十六日に特別委員會が開かれると云ふから私も出席してなほ私の持つてゐる意見もあるから其處において愈々具體案を作りあげやう、要は税の公平なる負擔を主要とするのだから個人所得税の問題もその意味において具體化するかも知れない、私は直ぐ旅順に歸るが其の前に滿鐵正副總裁に會ふつもりだ

出迎へ人と共に午前九時四十五分上陸した塚本長官は自動車にて滿鐵本社に内田、江口正副總裁を訪ひ重要會見した

國境方面も嚴重警備
朝鮮軍司令官談

【京城十九日發】林朝鮮軍司令官は語る

暴戾なる支那軍隊は遂に我滿鐵線を破壞し守備隊を攻擊する無謀なる行動に出たが朝鮮軍では形勢に應じて自發的にも應援を出すべく準備中であつたもので關東軍方面からも情勢の大要を入手し動員の請求を受けた、依つて直に朝鮮軍第〇〇師團附屬の一部は今曉出動準備を整へ目下一部出發他の部隊も續いて出發の筈である、滿洲に向つた增援隊の兵力その他は朝鮮警備の關係上發表出來ない、なほ國境守備隊は嚴重なる警備に當つてゐる、今後の軍の行動については主として中央の指令を仰ぐことゝなる、中央も目下奉天を中心に交戰狀態に在るので早晩何等かの發動を見るものと考へる

林長春間も同時に不通となつた

重砲兵殘留部隊
けふ午後奉天へ急派

旅順重砲兵大隊では一個中隊を臨時編成し清水大尉引率の下に十五珊砲四門、野砲六門、迫擊砲十六門、狙擊砲七門その他彈藥兵器等を六輛の貨車に積み込み午後一時二十五分發列車で赴奉した

軍司令部首腦奉天着

本庄關東軍司令官は石原參謀以下幕僚十名と第三十聯隊の一個大隊を引率して十九日正午着奉し直に驛貴賓室において板垣高級參謀より一般報告を受けた、關東軍司令部は附屬地大廣場の東拓支店の二階に置かれた

旅順部隊送迎

十九日午前十時半臨時列車にて本庄軍司令官並に旅順駐劄聯隊將校下士卒八百名當驛を通過驛にて辨當茶菓を青年團の手により配布し官民多數見送り萬歲聲裡に奉天へ向つた【鞍山電話】

旅順部隊一部長春に出動

旅順から來着した第三十聯隊は長春方面手薄なので長春に出動するに決した【奉天電話】

南嶺砲兵隊の武裝解除

長春城内における第六十六團（兵數三百名）は戰闘準備をとゝのへ出動したが南嶺の砲兵隊は大體武裝解除された【長春電話】

平壤から飛行隊
けさ北行

【平壤特電十九日發】飛行選拔隊十四名今朝新義州へ向つた、龍山步兵混成一旅團今日午前六時當地を通過北上した平壤步兵隊も參加

露人驛員逃走
貨車立往生

寬城子驛勤務露人從業員は日本軍の行動を開始すると早くも日本軍の東支占領だと早合點し悉く逃げ出して未だ歸つて來ない、之が爲めに旅客列車は平常通り到着するが貨物列車は書類の交換不可能に陷り寬城子驛に到着したまゝ立往生してゐる

周水子飛行場緊張

日本航空會社大連出張所では奉天事件に關し軍部よりの要求あれば何時にても飛行機を出發させる事とし周水子飛行場では準備萬端整へ頗る緊張してゐる

小西邊門一番乘の勇士

奉天城占領にあたりわが三浦一等卒は小西邊門破壞に際して一番乘りの功名をあげた【奉天電話】

我軍死傷者

長春附近における我軍の死傷者は寬城子において死者四名、負傷者十五六名、南嶺において負傷五名【長春電話】

瓦房店公安隊の武裝を解除
暴民等は一時抵抗

瓦房店守備隊に出動命令下り隊長以下百名は十九日午前三時臨時列車で營口に向つて出發した、殘留部隊は支那公安隊に對し武裝解除を命じたので暴民反抗し竹槍、スコップその他の兇器をもち數百の群衆は附屬地に向つて襲擊せんとしたので在留官民は危險を慮り關東長官、軍司令官、滿鐵總裁に軍隊及び警察官の應援を要求すると共に義勇警備團を組織し市街の警備に任じた、然るに公安部幹部は穩便なる態度に出で武裝解除を承認したので公安隊全員百五十名の武裝解除を實行した、在留官民は極度の緊張を以て不眠不休あらゆる警備に任ずる覺悟である、普蘭店より應援巡査十五名來着を得て目下管内の警備に任じてゐる【瓦房店電話】

鳳凰城支那兵の武裝解除

鳳凰城の我守備隊は城内の支那兵に武裝解除をなさしめた【鳳凰城電話】

奉天城内の治安はわが憲兵隊が維持
滿鐵公所に本部設置

十九日午前六時半に至りわが軍は奉天城内を完全に占領した、この際入城せるは奉天獨立守備隊、鐵嶺守備隊、遼陽第十六旅團であるが奉天憲兵隊は城内における治安維持を命ぜられ十九日午後城内に入城するに決し本部は滿鐵公所内に置く事となつた【奉天電話】

安東保障占領と押收品

安東保障占領により支那兵武器の押收せる數は小銃八十四挺、不良銃二十挺、短銃十五挺、彈藥二十八個、銃劍二十挺その他藥盒である【安東電話】

支那兵及び巡警三百七十名捕虜
奉天憲兵隊に護送

我軍の攻擊による支那側の損害程度は判明せぬが午前十一時半捕虜三百五十名は憲兵のトラックに分乘せしめ奉天憲兵隊本部裏手に假設せる收容所に收容した又巡警二十名は支那軍某旅長息子一名と共に十一時十分憲兵隊に護送されて來た【奉天電話】

城内支那兵は約三千

我軍の猛擊により支那軍の敗殘兵で附近の山中に逃走せる者數知れず城内に集結せる殘兵は東大營に約三千、講武堂及び各兵科訓練所々屬の若干部隊のみである【奉天電話】

將校團は無事

今朝七時長春着の東支第十一旅客列車には哈市領事に赴いた新發田聯隊將校十三名が乘つてゐたので氣遣はれたが該列車は平常通り到着し將校團は無事公主嶺に向つた

監獄役人逃走

奉天城内小南門の支那監獄には約二千名の囚人があるが典獄始め獄卒が全部逃走し危險なので東北法學研究會長趙欣伯は、憲兵隊に之が保護を請願した【奉天電話】

吉長、長哈間通信全く不通

日支事件突發と共に支那官憲は早くも日本人の長哈間電報の受付を禁じたらしく哈市よりの通信は全く不通に陷り彼地の狀況は一切不明である、滿鐵へは公務電報（事務電報）に限り他は之亦全く通信を絕ち無電も不通となつたなほ吉

滿鐵に時局事務所
各係主任で組織、奉天と聯絡し
鐵道輸送計畫に當る

滿鐵本社では刻々變化する時局に善處するために村上鐵道部長、山崎羽田兩次長を始め、託將校、鐵道部庶務、工務、車務、運轉その他關係各課長、主任を以て時局事務所を新設し鐵道部會議室に置き奉天事務所内にも同樣の機關を設け電話を以て連絡し輸送計畫に當ることゝなつた、佐藤鐵道部次長は連絡の爲め十九日午前九時發列車で奉天に向つた

ついた火は消せ
頭山滿翁沈痛に語る

【東京特電十九日發】支那軍の挑戰により遂にわが軍の憤起を見たことにつき頭山滿翁は極めて沈痛なる態度にて語る

支那と日本とは元來離れてならん關係にある、曾て孫中山君が神戶に來たとき互ひに語つたことであるが支那と日本とは常に相協力してアジアの平和に盡し萬一の時には提携して外敵に當らねばならぬ、更に注意すべき點は支那及び日本に共產黨の跋扈せんとする形勢のあることでこれは容易ならんことであるから共に協力して、これが剿滅に努めなければならぬと申し合せた、今日共產黨の討伐は蔣介石軍がやつてゐるが、日本との關係は孫文の意志に反するやうな結果となり遂ひに滿洲において正面衝突するに至つたことは遺憾千萬である、本來なら兩國の爲政者が事態玆に至るまへに考慮すべきであつた、しかも燐寸の火でも大火災をひき起すのであるから既に火がついた以上斷乎としてこれを消さなければならぬ

滿鐵東京支社の繁忙

【東京特電十九日發】滿鐵東京支社においては今朝七時半より大淵支社長、平山庶務課長、角田秘書等出社、奉天その他各地より來る電報を整理在京社員家族の安否問合せ等應接に多忙を極めてゐるが各新聞通信社員は早朝より殺到し情報の發表をまつなどかくの混雜を呈してゐる、引續き各新聞社の號外發行され人心は刻々に緊張、在滿邦人の安否を氣づかつてゐる

奧地滿鐵社員機宜の處置

滿鐵は支那奧地に在る各公所及び派遣員等に對しては特に避難は命じないがすべて各出先において機宜の處置を取り善處するやう十九日午前それぞれ訓令を發した、なほ十九日出連豫定の木村理事は事變突發の報を得て遼陽より奉天に引返し時局に善處することゝなつた

滿鐵貨物受付

滿鐵々道部では時局柄十九日朝各驛に於て運著承知の貨物だけを受付ける旨發表したがその輸送がやゝ順調に歸したので右通知を取消し通常通り受付けることゝなつた

高崎男來連

十九日入港のうらる丸にて貴族院議員高崎弓彥男が來連したが船中にて語る

貴族院議員の滿蒙視察團一行は十八日東京をたつて朝鮮經由で來る筈だ、僕はその案内役に一足先に歸つたわけだが内地では對支問題はなかなか喧しいよ、僕は公正會で萬寶山事件調査の報告をしたがこの頃は首相當滿蒙實情については聞いて知つてゐる

號外發行

本社は十九日本夕刊發行迄に三回に亘り號外を發行したが全滿讀者に配布せる分は本紙に再錄しませぬ

彈雨を潜り本社記者現地へ

文官屯、虎石臺居留民の無事を知つて狂喜す

闇を衝き今曉二時モーターカーで警官隊と共に急行

本社記者　兼本正一

滿鐵線路が虎石臺方面にて支那兵のため突如爆破され我守備隊撃退中との警報に余（兼本記者）は十九日午前二時モーターカーで現場に向ふ我警官隊一行に隨行、電燈一つなき暗黒の夜を冷風をついて驀進した、泉頭屯を通過したとおぼしき頃右手に**大砲の音小銃の響一齊に湧き起るかと見るまに彈丸はヒユー〳〵と闇をついて飛んで來る**、砲彈は鐵地を揺るがせて炸裂する、それへ犬の遠吠さへ加はつて物凄き事限りがない、文官屯に着けばいま北大營の一角は我軍占領せるが**虎石臺ではなほ兩軍激戰中**にして野田中尉名譽の負傷せりなどの悩報を聞かされ一同武者振ひして虎石臺に着いた時には既に同驛附近の支那部落陷落後で**我居留民は文官屯同様無事なる**を聞き一同狂喜した、然し支那兵の便衣隊等ある模様との事だつたが何分先程まできたへいてゐた影さへ見えず之を見極める術もない、前途柳條溝附近に到れば鐵嶺からのわが應援隊約一箇大隊續々下車北大營方面に進撃中なるを見、然も流彈の飛來頻りにして危險この上なく、我等の任務は我同胞の安否如何にあればこれが安全を確めたる上は聽く歸着すべく再び彈雨の下を潜つて二時間後奉天驛着、一同申合せたやうにホツとする

『日本軍占領』と大書の日章旗飜る奉天城内へ

居住民は滿鐵公所に避難無事

日支衝突の跡を直接みるために十九日午前八時記者は自動車に乗つて先づわが軍によつて占領された奉天城内に入つたが城壁の上にはわが日章旗がへんぽんとして飜へりわが軍の歩哨が立つてゐるのが目につく、城内に足を踏み入れると各店舖は全部門戸を閉ざしてゐるが支那人は城外と何等異るところなく三々伍々街上を通行してゐる、長官公署、交渉署、財政廳、司令部、教育廳等の各官衙を初め各銀行會社の門前には既に「日本軍占領」と大書せる紙が張りつけてある、しかして長官公署前には鹵獲せる小銃機銃等が山の如く積まれわが軍隊によつて守られ同所には約四百名のわが軍が駐屯してゐる、目下のところ城外は約二ケ大隊のわが兵によつて治安が維持されてゐる、かくて滿鐵奉天公所を訪へば總領事の命によつて各自の家から引揚げて來た七十五名のわが避難民が靜粛にしかも不安な面持で避難してゐた、商埠地四經路の榮臻參謀長の邸宅を覗いて見ると窓といふ窓は明けられて居り、室内の家具類は亂雜を極め狼狽して窓から逃げ出した様が窺はれる、續いてこんどの衝突の端緒となつた柳條溝（奉天驛から十キロ）をみるに上り線のつなぎ目が強烈な爆藥によつて破壞され既に滿鐵によつて修理されてゐた、皇姑屯のクロス點に行つてみると瀋陽驛から北平に行く線のクロス地點の線路は取り外してあり電線は全部切斷されてゐる、一方北大營はわが軍の砲彈によつて相當損害を受けてゐる【奉天電話】

沿線主要地の狀勢

各要所を嚴戒し撫順に不安なし

支那側に最後的警告をなし萬一の對策完備す

奉天における日支開戰にあたり撫順も十九日午前一時より各警備機關一齊に動員されまさに戰時狀態になつた、守備隊、防備隊、在鄕軍人、警察隊、中學生、工實青年團など一千名の合同軍組織され、整然たる統制指揮のもとに發電所、製油工場、各採炭所、驛中心事務所その他各要所々々の特別警備任務につき凛々しき奮闘を各々けつゝある、そのため十九日午前五時までには何らの被害なし、なほ附屬地内邦人は萬一の場合に撫順中學、高女の各校舎に避難する準備も出來てゐる、撫順炭礦各採炭所その他は平素の如く各從事員出勤はしてゐるが中央事務所始め人心落着かず仕事は手につかぬ狀態である、撫中、工實二校生は後方勤務のため休校この他各小學校、工場等は平日の如く從業としてゐる、また一方十九日午前三時撫順署杉町警務主任は支那縣公署に到り支那公安隊萬一抵抗するにおいては即時打ち拂ふから鐵觸にせよとの最後的警告を發した、松田附近の支那民衆は十九日午前三時四十分銅鑼を鳴らして集合不穏の形勢あり、この方も村長に警告を發し若し應ぜざれば直に打ち拂ふ用意をなしてゐる【撫順電話】

支那人を保護して日本軍が治安維持

多門中將から布告

奉天城を占領せる我軍は第二師團長多門二郎中將の名に於て

一、日本軍が支那人の保護と治安維持に當る
二、支那人にして若し日本人に危害を加へるものは銃殺す
三、如何なる集會、示威運動もこれを禁止す

旨本日布告を發した【奉天電話】

緊張裡に歸任　塚本關東長官

支那街は完全封鎖

城内を警戒中

十九日午前十一時半に於ける撫順の狀勢左の如し

支那側には公安隊員二百五十名巡警約八十名ありこれ等は今尚武裝を解除して居ないが日本側合同軍のため完全に封鎖され、支那街より附屬地内には蟻のはい出るすきまもなく實質に於ては武裝解除と同一である、ために平素は支那人の人出の最も多い大山坑下國際道路や大官橋なども華人の通過全くなく支那街一帯はあたかも墓の里の如く支那武裝隊や暴民の附屬地に出る餘地は全くない、又一方撫順城方面の敵情視察のため十九日午前六時偵察に赴きたる撫順署山口部長佐々木巡査一行四名は十一時歸署したる報告によると撫順城内には約二百名駐屯兵公安隊三十六名巡警二十二名計二百五十八名の武裝隊あるも大した不穏の形勢もない但し驛路兵二百名の行動は特に警戒すべき必要がある【撫順電話】

なほ時局のため小學校は授業を休止し兒童を歸宅せしめ二十日の校内大運動會も無期延期した【撫順電話】

長春城内の居留民無事避難

交通遮斷し治安維持

長春城内の居留邦人は驛前滿鐵クラブに收容した、支那人避難民が附屬地に流れ込む模様であるが一切入れぬ方針で警戒は巡警の姿も見えず戰時の狀態である、一方長春駐箚長谷部旅團長は一切の命令を下し終り十九日十二時十分から旅團司令部に領事、署長、地方事務所長、鐵道事務所長等關係者を集め緊急會議を開いた、また東支鐵道の午前六時四十九分長春着列車は十九日午前八時十分到着したが同列車は途中三道溝に停車した際に日支交戰の形勢不利とみた列車警乘巡警は直に下車逃走した【長春電話】

するところあつた、支那側もこれに對し充分取締る旨厳命した、而して支那公安隊は市街警備のため目下馬賊討伐中の公安兵を至急城内に召集する模様であり、日本側も附屬地警備のため義勇團の非常召集を行ひ、應召者百餘名を以て二ケ小隊を編成し本部を警察署内に置き、十九日より警察と協力晝夜警戒の任に當ることとなつた、な

鐵嶺

奉天事變の報傳はれる當地における日支間は極めて平穏にて些の動揺も認めず、十九日鐵嶺領事は支那縣政府を訪問、日支官民の感情激發せしめざるやう取締り警戒につき懇談

金州

在鄕軍人會金州分會では時局に鑑み十九日正午全會員に對し何時にても即座に出動出來るやう準備かたを命令した【金州電話】

哈市は平穏

衝突を知らず

【ハルピン特電十九日發】長春、ハルピン間電信不通のためハルビンに於ける邦人の安否が氣遣はれて居るが十九日早朝の長春入電によれば日支衝突事件未だ市中に知れわたらざるため日支とも平穏無事である

大連市内の警戒

大連署では十九日署員の非常召集を行ひ軍部方面と連絡を執つて管内の警戒を嚴重にしてゐるが殊にこのごたくさ紛れに思想分子の策動を恐れて特高特務を激勵し嚴に注意中の某々團體及び大連驛の出入人物に對し嚴重監視を行つてゐるまた管内居住民の過半數が支那人である小崗子署では時局に際し流言蜚語による人心の動揺を考慮し

三浦署長は十九日朝十時本署に小崗子公議會長顧暦堂氏を招致して徒らなる流言蜚語にとらへられず平常通り商業に從事する樣時局に對する訓示を與へこれを居住支那人に傳へるやう依頼した、しかして大連市民の生活機關として主要な機關を管内に持つて居る沙河口署においても昨夜奉天における日支兵衝突の報達するや久下沼署長は直ちに署員の非常召集を行ふと共に滿電發電所、同變電所、水源地淨水池、臺山屯無電受信所、瓦斯タンク、滿鐵工場、沙河口驛に署員を派遣して徹宵警戒せしめたが同署では今後も時局安定するまで引續き警備に當らせると、更に他方大連埠頭では日支衝突重大化の結果、埠頭構内警備の要を認め十九日午後一時より埠頭事務所内埠頭事務所において警備會議を開いたが當分未だ全員出動する程のこともないので取敢ず十九日夜より在鄕軍人會が警備に當ることとなつた

旅順警備協議

二十九日午後一時半旅順驛貴賓室に厚東要塞司令官、鈴木無線電信所長、米内山民政署長、加藤警察署長その他重砲兵大隊歩兵第三十聯隊等各方面の人々參集し警備に關して協議を凝らしてゐる

在滿邦人大會

廿一日夜歌舞伎座で

時局問題に奮起した滿蒙研究會、青年聯盟、北誠會、在鄕軍人分會、自主同盟の五團體は共同主催の下に廿一日午後六時より歌舞伎座に於て在滿邦人大會を開く事になつたが、なほ大連終了後は全滿各主要都市に於て同會を催すと

『實彈の音だ！』と一聲砲火閃き交戰を直覺

日露役の勇士津久居翁のお通夜から飛び出す

本社記者　太原要

十八日夜日露戰役四十七士中の一方の頭目故津久居平吉翁の通夜に林總領事木下在鄕軍人會長始め當時の志士連中集つて今はなき翁の武勲を語りつゝあつたところへ時

十時半とおぼしきころ俄然天を搖がす大鳴動起ると共に殷々たる砲聲は豆を煎る如き音響と交錯して續いた、時を移さず林總領事は急報により席をはづした、列席の木下少佐等は**『アリヤ實彈の音だ』と叫んだ**記者（太原本社記者）初め並居る一同は時節柄さてはと戸外に飛び出した記者は音する方へ車を走らせたが町々の人々は何れも三々伍々軒下や辻角に群がつてたゞ事ならぬ物音に私語を交してゐる、柳町の陸橋の邊に至れば**夜陰にひらめく砲火アリ〳〵と見られ**原因こそ不明だが、**日支交戰は確かと直覺した、間もなく全市は武裝せる警官隊のオートバイ疾驅**、右腕に所屬の腕章をつけた服裝さまざまな在鄕軍人團、カーキ服に長銃をかついだ青年訓練所員等の往來繁みが如くなつた、この時某方面からの急報は支那兵、わが鐵道爆破のうへ守備隊と激戰し來れるため目下激戰中とつげ來つた、銃砲聲は益々急にまた忽ちゆるやかに斷續しつゝある間**日支交戰の詳報は櫛をひくが如くに傳へられて來る**一時間後には警察所、給水塔、附屬地境界線、町の辻々は守備兵、憲兵、警官、在鄕軍人で固められ**商埠地との境は鐵條網が張られ**

柳町陸橋以北並に城内方面は交通遮斷となつた、奉天驛には遼陽、撫順からの急援隊續々臨時列車で送られ來り、將卒いづれも非常なる緊張の面持ちにて城内方面に急行す、**午前四時には多門師團長は幕僚を從へて奉天驛貴賓室を司令部として直ちに活動を開始する、**また東拓樓上

は片づけられ本庄軍司令官一行の來着を待ちつゝありあたかも[illegible]當時そのまゝの光景である、たゞ異なるは支那人のざわめき殆どなく、午前五時平安通りから郊外の方を見廻るに、支那地區家屋の屋上には支那人大工はさし登る朝日を背にうけ、金槌を揃つて悠々たり、農夫高梁刈に餘念なくこゝ奉

天の樂土の感がある、斯る間にも總領事館の命で滿鐵公所、赤十字館に避難せる同胞の安否氣遣はれつゝあつたが、午前五時半、わが兵一個小隊滿鐵公所に到着**同六時完全に保障占領の報に附屬地の同胞一同安堵の胸撫で下したのであつた**【奉天電話十九日午前六時】

管内の治安維持は嚴重な警戒で異狀なし

警務局緊張す

滿洲治安維持の最高部たる關東廳警務局では事件勃發と同時に中谷警務局長、松田高等課長外局内幹部は十九日午前零時半登廳しそれ〴〵部署につき中谷局長指揮の下に軍司令部との連絡及び奉天附屬地の治安維持等につき萬遺憾なき應急措置を協議の結果萬端の準備を整へたが中谷局長は語る

事件は御承知の通りで實に近來にない一大不祥事件である、先般來支那の青年兵は中村大尉事件に刺戟されて排日運動に一層濃厚となつて居た折柄だから恐らく今度の事件も日本何者ぞといつた支那兵の無謀からだらうと思ふが實に許すべからざる重大事である、戰爭は軍部の方でやつて貰つて居るので詳しくは知らぬが奉天附屬地及び管内の治安の維持は軍隊及び警察官の嚴重なる警戒で目下の處は幸に何等の異狀はない、然し斯る重大時期に際しては得て流言蜚語や各地で種々の事件が突發し易いので官民共に輕擧妄動を愼しみ十分善處する心がけで居なくてはならない

列國環視のうち愼重冷靜に

關東長官と重大協議後に内田滿鐵總裁語る

塚本關東長官は歸任匆々滿鐵本社において約四十分間に亘り重要會見をとげた、内田滿鐵總裁は出入記者團を引見して左の如く語る

今各地から集まつて來る情報を見ながら大變なことになつたと思つてゐる、事ここに至つては單に對支關係のみでなく列國環視のうちにあり極めて重大事である諸君と（記者連を指して）はもとより各人は極めて愼重に冷靜にことを考へて國家のため萬全の策を講じなければならぬ關東長官と會つたのはその意ではあり、單に自分の手許に來てゐる情報をお知らせしたに止まる、滿鐵沿線居住の邦人は先づ安心と思はれる吉林、チチハル、ハルビン、鄭家屯等隔遠の地にある人々の身の上については不祥事が起らないことを祈つてゐる、各地の公所等出先機關の引揚げについては現在の所では考へてゐない、今回の事件の勃發により特に上京期を早めやうとは考へてゐない、明年度の豫算會議の如きも豫定の通り進めて行きたい積りである

最後に總裁は「この問題各地を廻つて日支親善のために大に交驩して來たばかりなのにこんな事件が勃發するとは……」と深い憂色を漂はしてゐた

市外通話と電報激増

奉天事件のため大連中央電話局では市外電話の發着交換に多忙を極め宛然戰時狀態を思はせてゐるがその通話數に從つて激増し午前零時より同九時までの間發信八千五百四十通、着信三百二十通に達し平素の一日分を僅か九時間の間に取扱つてゐる、いづれも至急話のみで普通電話は次から次へとつかへ目下のところ時々通話出來るやも知れず一方郵便局における電信も發着平素の三倍に達し全員を擧げ全能力を發揮してこれに當つてゐるが長文のもの多く係員は頗る多忙を極めてゐる

社告

小山島學術調査探検講演會は時局柄延期します追つて期日は發表します

大連市内に高射砲設置

關東軍要塞司令部大連出張所は大連市上空防禦のため十九日午前十一時關東軍倉庫彈藥庫附近に高射砲一門を設置し引續き大廣場を中心として滿鐵本社、陸軍關係建物の警備のため二、三門の高射砲設置の準備を整へた

滿鐵運動會延期さる

硬球大會も

明二十日午前八時より大連運動場に於て開催する豫定の第二十一回滿鐵運動會は日支衝突事件のため延期となり又來る二十四日より擧行する筈の滿洲體育協會主催の全滿硬球選手權大會も時局の安定するまで延期されることゝなつた

天氣豫報

二十日　西の風　晴

各地温度

	十九日午前十一時	十八日最高
大連	二一、九	二三、五
旅順	二三、五	二五、七
奉天	二三、六	二一、六
營口	二〇、二	二〇、八
長春	一八、八	一八、三

滿潮（午前三時五十分　午後三時四十五分）
干潮（午前十時五十五分　午後十時三十分）

けふの小洋相場（正午）金百圓は二五二圓七〇錢

暗流阿修羅館 (190)

生田蝶介　挿畫 藤井耕達

水路(一)

樋ぞひの戸が一枚開けてあつてそこから吹きこむ朝の微風が、釣つてある蚊帳に青く搖れてゐた。

「雨戸をみんな開けませうか」

いくらか元氣をとり直してお絞は云つた。

行燈は、まだ部屋の隅で黄色くともつてゐた。

「開けて貰はうか」

お絞は、蚊帳の周圍を廻つて戸をあけに行つた。

蚊帳は釣手が六ケ所ともついてゐて、一ケ所もはづしてなかつただんだんあかるくなつて蚊帳の中も明かに見えて來た。

お絞の云つたやうに、蚊帳の中には誰も居なかつたが、蒲團は、何事もなかつたやうに亂れも見せずにあつた。

由比は覗き込んで、蒲團に手を入れて見た。

まだ、いくらか温もりはあつた

「うむ」

それから仲居をよんで蚊帳を外させた。

その間に次の部屋、屏風のかげ押入の中を見た。

仲居とお絞は蚊帳を外した。

「よく振つて見てくれ」

「こうでございますか」

二人は振りながら疊んだ。

「それから床は……？」

「それも、よく振るつて疊んでくれ」

「はい」

一枚一枚、振りながら、これも疊みはじめた。

「あ」

「あら」

何か小さいものが、かちりと敷居の上に落ちた。

「櫛だな」

由比は、すぐ近寄つて拾ひあげた。

「や」

「何でございます」

と近寄つてくるお絞の胸を左の手でとめて、その櫛を懷深くしまつた。

お絞も仲居も不思議さうな顔をした。

(あの女の客の櫛といふことはわかるが、なぜこの殺人は拾つてすぐに隱したのだらう、この殺人もあの美しい女の客に思ひをよせてゐたのだらうか)

そんなことを思つた。

男の寢た方の蒲團を振ると、

「また」

こゝに何かある。

「まあ」

「何でせう」

一枚の懷紙に何か赤い字がかいてある。

お絞が拾ひあげた。

「紅筆でかいたものだな。何、御芳勢に存ずる、水路を涼みながら戻る。や、この櫛から逃げ居つたな」

と、由比は、その紙をのぞき込んで讀むと手欄から水の方へ首を出した。

「こゝにも」

赤い扱帶が、手欄から、縮んで水の上へ垂れてゐた。

「確に、こゝから下りて行つたのだ、それにしても……」

何處に舟が隱れてゐたのだらう

「はてな」

水の上も何事も無かつた樣にひつそりと光つてゐた。

「だが、これは容易ならぬことだ」

と云ひながら、由比は懷の櫛に觸つて見た。

「普段こゝへ舟が來るのか」

「いゝえ、滅多にまゐりません」

キネマと演藝

不二映畫好調

松竹蒲田脱退連によつて組織された不二映畫もその後大阪ビル内に創立事務所を置いて專ら新會社發展に邁進してゐるが株募株も好調

も現れて不二映畫では大いに感激してゐる

であつて大半は既に集まつてゐるといふ事である

一方スタヂオも澄戸にある日本俳優學校のスタヂオ、市外吾嬬にある高松スタヂオやプロダクション建設で苦い經驗を味つてゐる阪妻からも谷津の撮影所を使用してはと言ふ好意的申込もあり、その他土地を提供して撮影所を建てゝやらうといふ人等

里見義郎氏の名解説の夕
前衛映畫と名映畫を上映
廿一日夜協和會館で

名解説者として大阪松竹座にあつて松木狂郎氏と並び稱せられてゐた里見義郎氏は「ラテン街の屋根裏」の獨演を最後に松竹座のステーヂから引退してフリーランサーとなり、既報の如く滿鮮巡演の途中であつたが、いよ〳〵來る廿一日午後七時から協和會館にて本社主催、大連滿鐵社員倶樂部後援にて、ワーナー映畫「裏表七人組」フランス前衛映畫「家鴨の慘死」モンタベルの「痴人哀樂」を上映し里見義郎氏の解説を紹介することになつた、會費は一般一圓、倶樂部員及び本紙讀者は五十錢に優待割引し廿一日朝から社員倶樂部事務所にて前賣し座席券と引換へることになつた

▲けふの船で「巴里の屋根下」と發聲映寫機が大日活についた▲名解説者里見義郎氏がいよ〳〵協和會館のステーヂに立つて第一聲をあげる▲そして「家鴨の慘死」でアヴアンガルトが初御目見得する

蜂の話

奉天清元界の元老津久居氏が亡くなつたので昨夜お通夜に總領事をはじめ各方面の人達が集り▲本社の多波羅氏も居合はしてゐたところへ砲聲が轟き出したので啞然緊張しお通夜から飛び出して大活動が開始されたのだつた

痴人哀樂　モンタ・ベル監督作品でジョン・ギルバートコンライト・ネウゲル、ノーマー・シエラー等の錚々たる連中が出演してゐる、來る廿一日夜協和會館で里見義郎氏の解説で上映される

本社特選 新棋戰 (七六)

香落 七段 △宮松關三郎
五段 ▲齋藤銀次郎

【圖は六八歩成迄の局面】

▲齋藤氏 持駒 金歩歩歩
△宮松氏 持駒 飛桂歩

△五二銀成　▲同　金
△五三歩　▲五一金
△四四歩　▲同　歩
△四八歩●　▲二四桂●
△二五歩●　▲一六桂
△同　香　▲五九と

【土居八段講評】△宮松君は攻勢を執りたくも銀を渡すと敵に五八と迫られ危險の惧れあるを以て、一日四八歩と打つて自重したのは安全第一の好手段である▲齋藤君は目下忙がしい局面であれば五筋より悠々攻勢を執る事が出來ないから、二四桂と打つて端を狙ひ非常　段を用ゐたのは局面上、至當の方法である△其時宮松君は敵の二四桂を逆用して強く二五歩と突き出し、催促的の意味で二筋より攻勢を圖つたのは巧妙な一策である。

【萩原六段解説】齋藤氏五二銀成に對し同金は同銀では八二飛と打たれて惡い。又五一金も、四二金では六一飛と打たれて惡いから已むを得ない。宮松氏四四歩と突き捨て、同歩では自玉が安全故、齋藤氏同歩は至當。然して四八歩と、敵より五八と、と攻められる手を消したのは好手であつた宮松氏は敵の右翼よりは仲々攻め難いから多少自玉は危險になるも二五歩と逆用して攻めたのは巧者である。要するに敵に攻めさして反つてそれに乘じる事は却々六ケ敷く、又危險も伴ふが、勝利に導く要諦の一つである。

日支衝突の影響

危機を孕んでゐた日支關係は支那側の暴戻から遂に惡化し日支軍隊の衝突をみるに至りこれがため十九日より奥地取引は全然杜絶の形となり奉天、營口方面においては日本側銀行及取引所は臨時休業を行つたが市內各市場の時局による影響を示せば左の如し

鈔票俄然急騰す
高値四十五圓五十五錢

十九日朝各地銀塊は倫敦、紐育とも八分の一安、孟買四分の一安と一齊に低落を傳へたが昨夜半來の日支交戰の報道は各方面を愕かし當市前氣配も一兩五十錢高を中心とする種々の觀測行はれ、現物は四十五圓四十錢に寄付き同五十錢を見せ頓に

緊張 した、間もなく上海標金は昨止値より一氣に十四兩八ほど落した七六四兩五を入れたので當市一圓丁度高の四十五圓十錢に寄付き、アト標金は六十八兩を中心として小幅浮動を入れたるさ日本人マバラ筋が大いに買付きたるに對し華商側は奥地より大したことなしとの報道を得るもの多く且多少事件內容に不案內なる傾きもあるもの、如く、かくて高値は四十五圓五十五錢まで伸びたが安値は四十四圓八十五錢に落し四十五圓五錢に引け久し振りに商內も八百二十萬圓出來た、これよりさき仕手關係は賣方は福和盛、儲蓄義成信などの上海大手筋を初め二十一店

地場 買方は四十店にしてマバラ筋は總買だつたので相當利乘せし割たがけふ五圓內外まで盛に飛び付いたので目先軟化すれば損徐相殺されるであらう、なほ關係方面ではいづれ支那側は無抵抗主義に終始すべく從つて戰爭らしきものを豫期されずかつ我が軍部方面の銀資金需要も二ケ師團位では大したことないので波瀾含みの商狀ながら大相場の出現は豫想し難いとみてゐる向が多い

となりハルビン方面の治安が如何に維持せらるゝかに多大の關心を

內地株式慘落
諸株五、六圓安

十九日前場北濱定期は諸株共三四圓安に寄つたが引も續落を示し結局大株は前日より三圓三十安天新は三圓二十錢安鐘紡は六圓七十錢安鐘新は五圓十錢安と崩落し、東新は東西兩市場共百二十八圓臺より百二十三四圓臺と一氣に四五圓方の慘落となり諸株共新安値を入れ、當市は地場株保合なれど內地株はいづれも四五圓方の暴落と共に市場は波瀾含みで異狀、緊張を示した

引尻高となり
大豆、高粱昂騰

日支交戰の報は當地特產界に多大の衝動を與へ殊に奉天の保障占領河北の占領等の報を傳へて朝來色めき立つたが時恰も端境期に直面し貨物の出廻り旺盛ならざると一面日本軍隊の敏活なる軍事行動によつて時局も豫期の如く擴大はすまいとの觀測が

有力 となり事件の割には比較的に冷靜なる態度が維持せられた、卽ち十九日前場の特產市場に於ては日支衝突による銀價の上昇を眺めて寄附の氣配は頗る軟調であつたが、アト戰局の推移によつて一時的ながら貨物の輸送は中絕さるゝに至るべしと觀られ、漸次上伸して引尻高となり大豆、高粱は五錢乃至八錢方の昂騰を演じ豆粕は區々、豆油は弱保合を呈した、兎に角現在迄の情勢では戰局の推移は區々の觀察が行はれ殊に華商側では簡單に解決するものとの觀測をなすもの多く、これがため相場自體に及ぼす影響は割合に

微弱 ではあつたが各大手筋方面では奥地の情報蒐集に躍起

綿糸崩落乍ら
地場の買氣旺盛

十九日前場大阪三品市場における綿糸は米棉十五六ポイント安、日支開戰の報に人氣惡化し軟派の追擊賣りと買方の投げ物殺到をみたもの、如く、各限三圓七八十錢乃至四圓四五十錢方の崩落を示し當中先とも百二圓臺の新安値に辷り

當市もこれにつれて崩落したが地場は日支の開戰は結局對支諸問題の解決を促進するものとみる向多く先高見越しの買氣旺盛にて商內活況を呈し一場五百丁梱の手合せをみた

國際運輸取締役北行

國際運輸會社では日支交戰と共に今後の輸送に多大の關係があるので來連中の岡崎取締役を今朝四時半發の列車で北行せしめた、更に夜釘宮運輸課長を北行せしめる

奉天、營口の
わが銀行團
商取引杜絕で臨時休業

奉天及營口における鮮銀、正隆、滿銀等日本側銀行各支店は十九日事件勃發により商取引杜絕せるため臨時休業したが、人氣割合に落着きを示してゐるので二十一日月曜日からは開業の運びになるらしいと

商議聯合會
開催中止

二十一、二兩日奉天において開催される筈の滿洲商工會議所聯合會は日支衝突勃發により中止されることゝなつた、次期開催期日は未定

奥地方面の
果實需要
減少を豫想

大連卸市場今日の市場には未だ何等の反響を見なかつたが、林檎梨等の出盛期を控えて居るし、これが消費地は大半奥地方面である關係上この方の影響は蓋し絕大なものあるだらうと見られてゐる

商工會議所令
制定に關する請願
大連商議、聯合會に提出

大連商議より滿洲商議聯合會へ提出される議案は種々あるが商工會議所令制定に關し請願の件に就いての大連商議の擧げる理由左の如し

滿洲商工會議所法制定方に關しては大正十一年第一回聯合會に於て決議し政府に建議する所あり更に大正十四年第四回聯合會に於ても亦同樣決議し之が促進方を關東廳に交渉せし結果法案の起草を見るに至りしが、偶々領事館內に對する處置に對し外務省と關東廳との間に議の要起り停頓せしも其後內地に於ては商工會議所法議會を通過したるを以て之を機會とし滿洲商工會議所法を制定するの緊急なるものあるを認め、昭和二年第七回聯合會の決議を以て之が實施方を政府當局に要請せり爾來十

大連に於ける
物價と物價指數
(五) 市中小賣物價の比較

市中各方面の小賣物價比較に就て先づ目されるのは滿鐵時代の消費組合値段と一般市中値段との間に著るしい開きがあることである、それは普通二割位違ふといはれて來たが從來消費組合で次のやうな調査を發表した

年	月	組合	市中
昭和二年	四月末	100.0	[illegible]
同	五月末	九九.五	[illegible]
同	六月末	100.四	[illegible]
同	七月末	九九.七	[illegible]
同	八月末	100.二	[illegible]
同	九月末	九九.0	[illegible]
同	十月末	九九.0	[illegible]
同	十一月末	九八.一	[illegible]
同	十二月末	九七.0	[illegible]

滿鐵、滿洲商工界
根本建直し理由

旣報大連商議が大抱負を以て聯合會に提出し全滿の運動として滿鐵及び滿洲商工界根本建直し策を發表し滿鐵の政府配當金の中止、一般株主の配當率引下げ、鐵道運賃の引下、社內の整理の三目を擧げたがその理由として擧げるところのものは左のとほりである

第一 滿鐵會社は過般社員整理、給與を減じたりと雖も一般株主に對し八分、政府持株に對し四分三厘の配當を爲し……

第一 現行貨客運賃は大正九年戰時經濟の反影と銀價騰貴に際し何れも約三割方引上げたるものにして現在の如く經濟的不況に加ふるに銀價の崩落……

市場電報

市況（十九日）

特產

日支紛爭事件に大豆昂騰

日支開戰で諸株暴落

爲替相場

物價調

手形交換高（十九日）

錢鈔
事件勃發で當市暴騰

大連埠頭到着高

貨物在庫頭埠

綿糸も急落

滿洲日報

一旦逃げた支那軍隊突如逆襲し來る
目下日支兩軍激戰中

北大營は目下盛んに燃えつゝあるが一旦逃亡した支那軍隊は十九日午後二時頃より逆襲し來り目下日支兩軍間に激烈な戰鬪を交へつゝあり日本側軍首腦部及土肥原大佐等は驛貴賓室で協議中である（十九日午後三時奉天電話）

飛行機六十臺を鹵獲
奉天城內に軍政を布く

わが軍は大東門外の飛行場を午前七時占領して六十臺の飛行機を鹵獲し目下遼陽隊がこれを守つてゐる、わが軍は同時に兵工廠及び官銀號を占領して奉大洋票一億萬元を發見した二十日邊りから奉天城內には軍政が布かれる筈、なほ遼寧省政府主席臧式毅氏は自宅にゐるが長官公署の中に住つてゐた故張作霖氏夫人は行方不明となつた、民家に隱れてゐるものと見られてゐる【奉天電話】

寫眞說明　（上）日支交戰と同時に眞先に擊破した奉天小西關（中）頑强に支那兵が抵抗を試みた寬城子のステーション（下）通信不能に陷つた東北無電臺

支那兵逆襲し來り南嶺で激戰を交ゆ
我軍死者十、負傷者四十名を出す

寬城子の支那兵を掃蕩した我長春守備隊は南嶺にて再び支那兵と交戰中なるが、この交戰のため支那側は吉林より應援隊を急派したものゝ如く勢力增大し我守備隊もまた公主嶺大隊より應援隊を得て目下激戰我軍の戰死者十名、負傷者四十名を出した、軍司令部は今夜中に約一ヶ大隊の兵を救援に出發せしむる事となり目下手配中である（奉天電話）

平壤機奉天着
けふ更に十二機が着奉す

平壤から十九日午後二時發の小林大尉操縱松本曹長同乘の八八式偵察機は同四時三十分東北飛行場に着陸した、尙廿日拂曉平壤飛行中隊より大石少佐指揮の下に飛行機十二機到着の筈【奉天電話】

臨時飛行場設置
奉天附屬地近くに

當地航空會社出張所の語るところによれば奉天では附屬地隣りに臨時飛行場を設け萬端の準備を終へて飛行機の飛來を待つてゐると

我軍死傷者
昨拂曉までに十三名

十八日夜より十九日拂曉にかけて奉天城攻略に際し我軍の死傷者は計十三名內死者二名負傷者十一名で氏名左の如し

死者
獨立第二大隊第四中隊上等兵　新田六三
同上　增子政夫

負傷者
獨立第二大隊一中隊軍曹　津野文平
同上特務曹長　松本房之助
同第四中隊二等卒　高木富治
同上一等卒　米山政一
同上二等卒　大內行之助
同上二等卒　荒清藏
同上二等卒　竿田義治
同上一中隊一等卒　山田德市
同上三中隊一等卒　草寬榮
同上伍長　鈴木重太郎
步兵第廿九聯隊一等卒　目黑勝良
獨立第一大隊三中隊一等卒　（氏名不明）

日支交戰經過上奏
南陸相きのふ參內して

【東京十九日發】奉天における日支兩國軍交戰經過奏上のため南陸相は十九日午前九時四十五分急遽參內天皇陛下に拜謁仰せ付けられ日支交戰の經過を詳細上奏申し上げ更に今曉參謀總長教育總監と協議した緊急措置を上奏した

全鮮各地に警戒電命
相澤善夫

【京城特電十九日發】奉天日支兵交戰に伴ひ警務當局では再び不祥事發生を恐れ全鮮各道警察部に嚴重警戒を電命した、京城支那總領事館には十九日早朝から正服警官を配置し警戒して物々しい光景を呈してゐる

逃亡した支那兵我偵察隊に發砲
東陵下流對岸にて

奉撫線深井子驛附近の東陵下流渾河對岸に約五、六十の天幕を張り北大營の逃亡兵らしきものあり、我偵察隊に向け盛んに發砲してゐる、尙避難民は渾河を渡り深井子驛方面に殺到しつゝあり、赤吉林軍が瀋海線により撫順方面に來るやも知れずとの說あり、非常に緊張してゐる【撫順電話】

芝罘、龍口を警備
兩驅逐艦旅順發出動

第二遣外艦隊驅逐艦朝顏は芝罘に芙蓉は龍口に向つて十九日午後三時半旅順發出動し兩地の警備につくことになつた刈萱は目下旅順において待機中

球磨山海關へ

當地に達した情報によれば午前二時青島碇泊中の第二遣外艦隊旗艦球磨は山海關に急行した【奉天電話】

我軍田庄臺占領
舊市街邦人は避難

十九日午前五時守備隊四個大隊來營し、營口市街河北驛無電臺其他を占領した、支那練軍營は吾軍に占領せらる、一部隊は田庄臺占領のため同地に急行した、舊市街日本人は新市街に避難した支那側は一體に平靜である【營口電話】

我軍用列車
引續き奉天着

軍用列車第二次着は重砲兵隊の主力を乘せて十九日午後六時三十分頃奉天着の豫定、更に午後九時頃第三次軍用列車が着いた【奉天電話】

平壤飛行隊の一部移動
平田少佐京城へ

平壤飛行聯隊の一部は新義州に移動すべく目下準備中【安東電話】

【東京十九日發】參謀本部附平田少佐は重大使命を帶び二十一日午前七時半羽田飛行場出發空輸會社の旅客機で京城に向ふこととなつた

治安維持の布告を貼附
奉天城內各所に

關東軍司令部は奉天憲兵分隊長の名に於て左の如き支那文の布告を城內各所に貼附し治安維持に任ずる旨宣布した

布告

本省城は近來秩序を失ふ事甚しく茲に我軍は城內を占領し臨時治安維持に任ずる事となつた、但し各會民民に對しては一視同仁絕對に生命財產の安全を保障すべし、余は良民にして舊職に復し安堵樂業の希望ある者は等しく保護を加ふべし若し故意に謠言を傳へ治安に反する者ある時は嚴罰に處し茲に右布告す

九月十九日

駐日各國大使
外務省の情報を聽取

【東京特電十九日發】駐日英大使リンドレー氏駐日伊大使パッソンピエール氏駐日フィンランド公使ウインケルマン氏は相前後して十九日外務省に永井次官を訪問滿洲における日支衝突事件に關する情報を聽取すると共に今後日本政府の執る處置に就いても質問を爲したが永井次官は目下緊急閣議開會中故閣議決定の上報告する旨を答へた

米參事官事情聽取

【東京十九日發】アメリカ大使館參事官ネヴィル氏は今朝九時外務省に永井次官を訪ひ我軍の奉天占領事情を聽取した

衝突の責任は全く支那側に在る
林奉天總領事の回答

【東京十九日發】林奉天總領事發外務省への公電によれば事件直後奉天交涉署日本科長は電話を以て林總領事に對し時局擴大を防止されたき旨申出でありたるに對し林總領事は本事件は支那兵の滿鐵爆破に基因するものにして責任は全く支那側に在るものとす、なほ自分としては協力して事件の擴大を防止し至急解決方を希望する旨答へたと

留日支那學生は今のところ平穩
東京市民は同情す

【東京特電十九日發】東京市における支那學生は約二千六百名であるが目下のところ皆平穩である、市民は留學生に同情し好意を示してゐる

天人ともに怒る
前臺灣總督 石塚英藏氏談

【東京特電十九日發】前臺灣總督石塚英藏氏は語る
支那兵が滿鐵線破壞の暴擧に出でたることは明かに日本に對する挑戰的態度で特殊權益の蹂躙である、今日まで國際信義を無視し日本人に加へたる暴戾なる事實も數々あり天人共に怒るところだ日本は正義のもとに昂然斷乎として自衞手段に出づるべきだ、今や國民は內爭を止め擧國一致外侮を受けた屈辱を雪ぐべき時である、在滿同邦の奮起を希む

騎兵一個中隊長春へ出動

長春駐箚騎兵隊六百名は應援のため奉天に出動する筈であつたが軍司令官の命令で中止した、公主嶺の騎兵一個中隊は午前七時當地に到着した【長春電話】

連山關大隊本部安東に

連山關第四大隊本部を安東ホテルに設置し一個中隊の兵は午後四時三十分着列車にて來安、公會堂及び大和小學校に分宿の筈【安東電話】

我軍の行動は止を得ぬ正當防衞
民政黨聲明書發表

【東京十九日發】民政黨は正午緊急總務會を開き日支衝突事件につき協議の結果一時半左の聲明書を發表した

民政黨及現內閣は國際正義と人類共存共榮の大精神に則り列國との外交を處理して來たことは世界の齊しく認むるところである、故に近時支那の各種の國際信義を無視する態度に對しても反省を求め隱忍自重し國民亦克く自省して今日に至つた、然るに昨日支那兵は滿鐵線路を破壞し守備兵を攻擊したるを以て**我兵がこれに對し正當防衞の擧に出たるは實に已むを得ざること**である、我黨は今回の如き不幸な出來事は擴大せぬやう努むべきであると信ずる而して若槻總裁が屢々聲明せる如く**國際正義と人類共存共榮の外交方針と滿蒙權益擁護とは何等背馳する**ものでないとの信念は何處までも之を確保することを聲明す

金州北方滿鐵線で列車の顚覆を企つ
きのふ午後四時ごろ

十九日午後四時頃巡廻中の金州保線區員が金州を距る北方約六粁の下り線に差かゝつた際ガード・レール（踏切）に數個の石塊を積んで列車の顚覆を圖つた者あるを發見し、右を警察に通報すると共に犯人嚴探中であるが、時節柄とて警戒を嚴重にしてゐる【金州電話】

處置未決定
南陸相語る

【東京十九日發】日支衝突事件上奏のため參內した南陸相は參內に先立ち左の如く語つた
詳報が來ぬので今後の處置を如何にすべきかまだ決定してゐない、今日は今までに達した報告に基いて經過を奏上する事に止める

なほ南陸相と相前後して金谷參謀總長も參內した

林司令官報告

【東京十九日發】十九日朝林朝鮮軍司令官より南陸相、金谷參謀總長に對し朝鮮軍は何時でも滿洲に出動し得るやう準備を終つた旨の報告が到着した

……し野心を起して恥かる暴擧に出たものだから帝國としては飽く迄之に對抗し我權益を擁護するために國を賭してもしなければならない、當局は飽く迄支那の暴戾に對し我權益擁護のため毅然たる處置に出づべきだとこの重大時期に對する政府のこの問題解決策を監視してゐる

金州の警官瓦房店急行

金州警察署員巡査十名は十九日午後一時五十八分發列車にて瓦房店へ應援に向つた【金州電話】

滿鐵重役會議中止

十八日に引續き開會の筈であつた七年度事業豫算査定の重役會議は時局の重大に鑑み中止されたが二十一日から續行される筈

鞍山時局講演大會

十八日夜時局打開講演大會を開き席上左の決議をなす

決議

滿蒙の時局は今や危殆に瀕し帝國の權益は正に蹂躙されんとす支那政府の暴狀は斷じて許すべからず、吾人は斷乎として全滿の輿論を喚起し進んで國論に訴へ擧國一致速かに時局を解決し東洋永遠の平和を確保せんことを期す
右決議す　鞍山七個團體（鞍山電話）

支那視察民政議員

【東京十九日發】衆議院支那派遣議員中民政黨の參加者左の五氏に決定した
由谷義治、神部爲藏、信太儀右衞門、赤塚五郎、小久江美代吉

陸軍首腦會議

【東京十九日發】南陸相は日支衝突事件に對し急遽軍部としての態度を決定すべく十九日午前七時急遽官邸に首腦部を招致して
一、事件が滿洲全部に擴大せる時における兵の增加の手配
二、居留民保護方法
三、どの程度に軍事行動を繼續すべきか
四、日支國交に關する軍部の態度
につき協議し次で參謀本部の重要會議を開始した

鳳凰城支那兵全部捕虜

連山關立守備隊一個大隊の主力は鳳凰城を攻擊の目的で午前二時行動を開始し同八時三十分占領第一團長以下支那兵全部を捕虜にした【鳳凰城電話】

鳳凰城を保障占領

當地支那第一團を武裝解除し我獨立守備隊第四大隊は午前八時三十分保障占領をなした【鳳凰城電話】

蓋平公安隊等武裝解除

蓋平城支那公安隊及巡警に對し我軍は午後三時全部武裝を解除した【蓋平電話】

運送船手配

【東京十九日發】陸軍では十九日午前郵船會社に對し萬一の場合の船舶借入れにつき豫じめ依賴すると共に宇品運輸部に對し萬一內地より增兵する場合遺算なきやう手配すべき旨內命した

外務省公報

【東京十九日發】外務省十八日午後十一時半着電
滿鐵本線柳條溝（北大營附近）の鐵橋を十八日午後十時半爆破したる者あり支那兵の處置と認められ我守備隊の出動を見北大營附近にて日支交戰中との警察報告に接したり

陸軍省公表

【東京十九日發】陸軍省公表（午後一時十分）在滿洲駐屯の我部隊が支那軍隊に比し著るしく劣勢にしてしかも廣大なる地域に散在しあるに鑑み事態の推移に應じ軍本來の任務遂行に遺漏なからんことを期し關東軍は所要の部隊を集結しつゝあり

支那側兵力廿二萬

【東京特電十九日發】滿洲駐箚の我軍と之に對抗し得る支那側兵力は我軍駐箚師團第二師團獨立守備隊一萬四百名に對し支那側東四省の兵力兵員二十二萬、野砲奉天附近四十門、北平出動中の支那兵一萬である

塚本長官登廳

歸任した關東長官は十九日午前十一時半官邸に入るや三浦內務局長中谷警務局長等を招致して今回の日支衝突事件につき詳細なる報告をうけたのち午後二時直に登廳した【旅順電話】

貴院各派の態度强硬

【東京十九日發】奉天附近における日支兵の衝突は貴族院各派に一大衝動を與へ各派とも異常の緊張をなし滿鐵は條約によつて得た我權益であるに拘らず支那官兵が之を破壞したのだから我守備隊としては之に對し充分の手段を執る事は當然である、支那側が斯る蠻行に出たのは日本の軟弱的態度に附け上り次に滿鐵の如き既得權益に對……

人事

▲津上善七氏（日滿通信社長）十九日午前九時發列車で奉天へ
▲塚本清治氏（關東長官）室田秘書官同伴、十九日午前八時半入港のうらる丸にて歸連
▲高崎弓彥氏（貴族院議員）同上
▲西納勝平氏（實業家）同上來連
▲加藤與三郎氏（三共株式會社員）同上
▲五泉督三氏（辯護士）同上歸連
▲梅若龜之氏（謠曲梅若流宗家）弟武之氏等一行六名同上來連、遼東ホテル宿泊
▲林萬代氏（正金銀行ハルピン支店）同上
▲高橋清氏（三共株式會社員）同上
▲照井祿三氏（實業家）同上ヤマトホテル宿泊
▲西一雄氏（正金銀行大連支店長）同上歸連

日支兩軍の衝突

社説

十八日午後十時半、支那兵が滿鐵線を爆破して我守備兵を襲擊したるにより、日支兩國兵の衝突となつた。關東軍司令部は軍の出動を命じて對應策を講じ各地を占領する等、其後の狀況は逐次本紙又は號外によつて報道する通りである。思ふに先日來頻々たる日支兩國間の不祥事續出し、此れに關する支那官憲の態度は誠意を缺き、全國新聞紙は事實を無視した虛構記事を根據として反日的論評を縱にし、しかも各地反日會は非法的行動によりて、日貨を掠奪して憚らず。斯くの如き對日態度を變更せざる限りは、其結果の甚だ憂慮す可きものある可きは、吾等の早くより心配した所であつた。

◇

最近に至つて、支那側の首腦部にては、稍々省する所ありたる如く、中村事件に對しても漸く眞面目に調査を進め解決にも一歩進めた觀があつた。然るに如何なる理由か不明であるが、官兵が突如我鐵道を破壞し、守備軍を襲擊したるによりて、遂に交戰狀態を發現するの已むを得ざるに至つたのは、實に殘念な事である。元來、日本側の輿論が硬化したのは、支那側に於て何時の事件の交涉にも眞面目な態度を採らず、日本の國家を侮弄する傾向があつたからである。卽ち徒らに時日を遷延するによりて解決を困難ならしめ、有耶無耶の裡に事件其物を葬り、我國の外交をして曖昧に腕押の嘆あらしむるを常例とする。現に中村事件に關しても、支那の多くの新聞が甚だ無責任な議論を載せて居る。何れも事實無[illegible]、又は大尉が殺されたとしても加害者が匪賊であると事を論據と爲すものである。これは支那側の（恐らく官邊からの）宣傳を丸呑みに爲し、日本側の云ひ分は全部虛構であるとなし、之れを前提と爲す所の議論である。故に後に支那側の調査が、中村大尉の被害及び加害者が官兵である事實を認めた上は、支那新聞の議論はすべて覆へされればならぬ。しかも斯くの如き無稽の議論によりて輿論を煽動し、反日熱を鼓吹した事が兩國民の感情に龜裂を與へた事の甚大なるを思はねばならぬ。此れが中村事件のみでなく、從來の殆んどすべての日支交涉に對する支那側の態度である。從來支那の內外の事情を諒察して日本政府及び國民は寬容の態度を取り、時に好意的警告をさへも與へたのであつたが、遂に其反省を見るに至らなかつた。之れが日本各界の對支感情硬化の原因である。

◇

中村大尉事件に關しては、支那側に於て最近に至りて稍反省した形跡があつた。張副司令は事件を南京に移さずして、奉天にて解決すると云ひ奉天在住當局の意見を排して、嚴正な事實の調査を命じた。陳興亞憲兵司令の調査では、官兵が加害者たるを認め、關團長代理を奉天に押送して、軍法會議に附した。殊に陳氏の如きは[illegible]發に際して、新聞記者に語つた談話中に「我中國民族は禮讓和平を以て立國の本と爲す、數千年一日の如し、人の我れに加ふるを欲せざる處は、我も人に加ふるを欲せず、中日兩國は唇齒相依る苟も能く互相親善提携せば、自ら兩民族永久の光榮を維護す可し、中村事件の如きは問題の小なる者である、公正の調査を經たる後、自ら雲を撥して日を見る可し」とある。吾等は其言辭の公明正大なるに欽佩するものであるが、支那の官憲の態度がもつと早く、之れを事實に於て證明しなかつたのを遺憾とする。此心事があるならば、以前の如き種々の虛構的宣傳はなく、虛構的宣傳なき時は、支那各地の新聞の毒筆的反日鼓吹もなく、隨つて日本側の硬化もない筈である。實際にかて支那の態度が斯くの如くでなかつたのみならず、言論機關の排日記事及び反日會の排貨を誠意を以て取締らずして、其勢ひの赴くに任せ、暗に之れを以て外交の後援と爲さんとした事が、支那人の感情を昂奮せしめて、遂に鐵道を破壞するが如き、對日直接行動を起さしめる原因を作つたのである。

◇

今回の事件が今後如何なる程度に發展するかは不明であるが、もとく日支兩國は兩立すべからざる敵ではない。所謂唇齒相依るものである事はいふまでもない。殊に滿洲人と日本國民との間には、此關係が最も深い。故に事件の進行中と、其結末とに拘はらず、如何なる場合に於ても、兩國當局は此關係を忘れてはならぬ。徒らに昂奮して兩國人の親交と利益とを損傷してはならぬ。前に一用した陳司令の言が、一時の方便語でなく、其信念である事を望む。吾等は張副司令の信念が斯くの如くである事を望みたい。奉天官憲に陳氏の言の如く「諒解」「公正」によりて解決を謀るの念ありて以前の如く日本を揶揄するが如く玩弄するが如き態度がないならば、日本當局も亦同樣の心事を以つて、圓滿な解決に歩を進むるであらう。己れの欲せざる所を人に施すを好まざるは、敢て支那の人達の獨占道德ではない。

軍の威信のために暴戾は飽く迄膺懲

杉山陸軍次官語る

【東京十九日發】杉山陸軍次官は今回の日支衝突事件に關し十九日正午左のごとく語つた

最近滿鐵沿線に於て頻々として事故發生し滿鐵總裁に對する襲擊乃至は我守備兵の殉職と言ふがごとき事實が現はれて居た矢先昨夜かゝる事件起り大事を起すに至つたのである本事件は支那側の不法な鐵道破壞並に我守備兵に對する攻擊に對し我軍は正當防衛のためやむを得ず支那兵に應戰したもので陸軍としては從來より往々出先の軍隊に對し不遜の態度を取りつゝあつた支那兵に對し殊に今回のごとき暴戾な行爲に對しては軍の威信保持上飽迄も膺懲の要がある

大した事態には發展すまい

宇垣朝鮮總督談

【京城十九日發】日支衝突事件につき宇垣總督は語る

奉天の日支軍隊の衝突で大した事にはなるまい、然し火蓋を切つた以上今後如何に轉換し重大化するか判らぬので朝鮮軍は軍隊を出動したやうだ、總督府としては鮮內治安のため各道警察部に命じ警戒の通牒を發し鮮內在住の支那人保護については十分の手配をなした、未だ國交斷絕といふ處まで行つてゐる譯でなく出先の衝突に過ぎない

たので、隨分物々しいなどは思つたが、今度のやうな大事變が起らうとは全く考へも及ばなかつた、正當な理由さへあれば大いにやるべしだ、唯滿洲在留邦人が、一時の感情に驅られて輕擧妄動することは國家百年の大計よりして必ず謹しまねばならぬ、今回の事變が日支外交の上に非常な問題となることは明かなことだが、それに對する私な[illegible]

理由さへあらば堂々とやるべし

奉天から來連した島中氏一行語る

中央公論社主催の婦人公論全日本讀者訪問は本邦雜誌界の一大快擧として斯界にセンセイションを捲き起してゐるが、十九日午後六時より大連、滿日兩社後援の下に彌生高女講堂に於て開かれる文藝思想講演會出席の爲め同社々長島中雄作氏はルンペン物作家中の第一人者下村千秋氏並に同社編輯局福島昌夫氏、大川秘書同伴十九日午前八時着列車で來連、各書籍商關係者並に栗木大連新聞監査役、松田大連新聞營業局長、佐賀本社營業局長、鵜木本社廣告部長等多數の出迎へをうけ、ヤ・トホテルに入つた、卽ち同氏一行は昨夜奉天に於ける日本交戰直前午後九時四十五分奉天發列車で大連へ向つたものであるが、ホテルに島中社長を訪へば

奉天通過の際、驛頭に武裝した支那兵が非常にたくさんでゐ[illegible]

軍司令部の假本部を置いた奉天中央廣場の東拓支店

目擊した屯墾兵がわが關東軍に投書

「五千元やるから僞馬賊になれと關は人を探してゐた」

屯墾軍第三團長關玉衡が命令して中村大尉一行を銃殺したることに就ては已に日本側では最も有力なる證據の數々を有し若し支那側が飽く迄之を否認するときは正式交涉に於て之等動かすべからざる證據をあげて事實上之を

承認 せしむるであらうが目下支那側が軍法會議にでも附して其事實を究明せんと云ふ矢先左の如き投書がわが關東軍司令部に送致された、卽ちその目擊人は元屯墾軍第三團の兵士で關玉衡氏が中村大尉一行を銃殺したる事實を目擊した者で王[illegible]（[illegible]に秘す）といひ目下滿鐵沿線某地に居り投書は十六日蓋平にて投函されたもので支那[illegible]に墨書支那語で記してある

私は支那人である、當然中國の爲めに謀られねばならぬ、併し一本の手で天下の目を掩ふことは出來ぬ、又中國一個人の野蠻のために全國の

同胞 を害することは出來ぬ、それ故私は中國四億の同胞を救ふため眞實の話をしませう、私は屯墾軍第三團で兵士を勤めて居り親しく見たのである、代理團長の關瑞璣が命令して日本人を打殺したのである目下交涉事件となつては我方は屹度打殺さぬと主張するであらう、第一步に若し日本側が拒絕したなら

第二步の方法としては馬賊が打殺したと承認するだらう、目下關團長は五千元やるから僞馬賊になつてくれと人を探して居た僞馬賊の必要がない時はそれで打切りとか何とか云つてゐた、

私が思ふに彼は餘りに不正當だそこで兵士になつてゐるのがいやになつたから願出て罷めて歸つた、目下は○○○で御飯炊をしてゐる、此の

事件 のために大きな爭を起さば我東北は又兵災を受け背負きれない、一人が良民を殺した爲めに、日本が已に眞情によつて我國に要求するは唯一人の命を取つて一人の命の掛換とするに何の不都合があらう、在鮮の中國人民は十萬死んだといふそれを誰が命の掛換をす、天理良心は研究せねばならぬから之を申上ぐるなり、兵災は恐るべしだ

事件前夜の談

本庄關東軍司令官 巡視から歸って

日支交涉の危機迫る北滿へ、滿洲軍總監として初めての巡視を終へた關東軍司令官本庄中將は、高級參謀以下幕僚、副官を從へ十八日午時大連着列車で歸連、官邸室で少憩の後迎への自動車で一路歸旅したが、本庄將軍は金州に出迎へた記者に對し前後十日に亙る巡旅の疲れも見えず、展望車に收まつて快活に語る

◇初めての巡視に約十日間奧地へ行つて來た、古いもんだ僕が天にゐた頃から數へると七年を經つてゐる、駐屯軍を檢閲して來た感想かい？ 內地の軍隊が一生懸命御奉公してゐるんだから滿洲にゐる軍隊は殊に懸命に働らかなくてはならないぞといふ意氣込みで元氣一杯の處を見せてゐる

◇奧地の對日感情かね、僕はほんの素通りで詳しいことは知らないが、年齡的に見て四十歲以上の支那人は殆んどと云つていゝ程、親日的態度を執つてゐるやうだね、然し若い人達は過去の日支關係を知らないから恐ろしく鼻息が荒く、排日感情はこれらの若い人達が作つてゐるやうだ、然しこれは日本でも同じ[illegible]

經濟界への影響

【東京特電十九】

關東州內稅制の改正案決定

近く全員委員會に提出

關東州稅制調查委員會は十八日午前九時から關東廳第一會議室に於て開會、西山委員長外三浦、中谷、辛島其他日下殖產課長を除く外委員全部出席、當日は過日來の特別委員會で作製された委員會案を全委員に提案し西山委員長源田幹事より種々說明し委員各氏より同案に對する質問あり協議の結果結局特別委員會案通り承認正午閉會したが、之を以て廳內に於ける稅制改正案は決定したわけで廿六日から開催の全委員會には同案を提出し棟居拓務書記官、佐藤法制局參事官（石渡大藏書記官は缺席）等エキスパートの贊成を經て長官に對し答申することゝなるのである

特產紛議 近く判決

大連商議の仲裁

關東廳行財整案 近く實行案決定

發表は十月初旬頃か

關東廳の行財政整理は十九日塚本關東長官の歸任を待つて愈々着手されるが既に西山財務部長の手許には第一、二、三案まで出來上つてゐて、長官中央と折衝の結果中央政府より命ぜられた額によつて愈々實行案が決定する模樣であるが大きな人員整理はない模樣である、卽ち若し人員整理廣汎に亘れば退職手當金が相當額に上り關東廳には目下その準備金もないから公債を發行せねばならずこの結果人員整理は小範圍に止められる模樣である、なほ十九日船中にての長官の口吻にあつて整理の發表は九月中には出來ず十月初旬頃と觀られてゐる

東京株式市場

立會端より混亂

【東京特電十九日發】奉天に於ける日支衝突で十九日の株式市場は立會端より悲觀を示し仕手筋として手は就に迷はしめた短期新東は結局四圓六十錢を落ち其他戰時株非戰時株とも劃然と區別異常な騰落を演じ鐘紡は四圓二十錢安を示した

滿洲商工界振興の重要要請案を可決

十八日大連商議役員會

聯合會への提出議案を協議

民政黨の選舉對策

巡查分限令

不況打開策

教員思想對策協議會

中旬對外貿易

市長詮衡委員

滿鐵兩課長

滿鐵專務披露宴

學術集談會

神明校追悼式

宴會中止

市況

株式 內地變らず 當市閑散

特產 依然冷靜 一般平調

錢鈔 人氣強く 當市昂り

商品 麻袋見送り 綿糸も閑散

家庭

小學校の讀本や修身書

童謠やら色刷挿繪を入れたモダンなのに文部省で改訂

時代的話は避けて

文部省の教科書調査會では去る十七日午後一時半[illegible]に開催、多年の懸案である小學國語讀本、修身書改正につき童謠、色刷挿畫等を入れたモダンなものに改訂に決定しました、現在使用の讀本は十二、三年前編輯したもので大人本位の文章が多く且つ都會用農村用の區別あり非常に面倒でしたが、今度出來るのはラヂオ、飛行機等最新科學知識も多分に取入れ古い時代の話は極力避け野口英世博士、名和昆蟲翁、天龍川治水の功勞者金原明善翁等近代人の實話を採用、博愛平等の引例にも關東大震災に對する世界的同情等を記載又努めて階級觀念を起さないやうにし挿畫も斷髪、洋裝、スポーツ等三色乃至五色刷に印刷するといふ文部省としては實に破天荒の改正を斷行しようとするものです、なほ同調査會で決定した編輯方針は次の如くです

▲國語編輯方針 新讀本は一種とす、分量は低學年に於て五、六割、後學年で一二割、教材は修身、歷史、地理、理科等各方面にわたり時世に適切な材料を採用する材料の選擇並びにこれが記述は兒童本位とする卷一から四までの挿畫に彩色を施す、書方手本には硬筆手本も加へる

▲修身編輯方針 小學修身教科書改訂に際し調査會決定事項全部を採用する教材は兒童の生活經驗に即し兒童の心情に深く觸れる事に意を用ゆ教師用書の文語體を口語文に直す

なほ近く開催の文政審議會には國語國字問題が附議される筈で、同審議會通過の上は平安朝以來の假名使ひに一大變改を加へ全部臨時國語調査會發表の假名使ひ改訂案に依る事となつてゐます

障子張替の剝ぎ方…張り方

斯んな心得が必要です

障子の張替へは虫干と共に秋の大切な行事ですが、毎年春に、秋に張替へる障子張りさへずゐ分亂暴な不體裁な繰返してゐる方が隨分多くないやうです、次に障子の剝ぎ方、張り方についての注意を擧げませう

◆…紙を剝ぐには細骨の障子ならそのまゝ、骨の太い障子なら豫じめぬらして置いて下から剝ぎます、元來障子は下の方から張るのが當り前ですから、下から剝ぐと一ぺんに上まで剝ぐ事が出來ます、紙がれてゐる場合は障子の幅より稍廣い板を下の方に當てこれに紙を巻きつけて上に巻き上げますときれいに一度に剝げます、剝いだら細骨のものは洗ふと狂ひの出るおそれがありますから雑巾で充分よく拭いて紙片や

◆…糊を落しつや布巾で木のつやを出します、勝手元などの煤けたのは石鹸水か灰汁洗でつてあとの水分を拭きとり乾かします、糊は生麩はよく煮て平たい皿か盆に移し適度に水を加へて塊のないやうにします、これに布海苔を少し加へて用ゐると鼠の害を受けることがないといひます、紙は良質のものを選び適當の廣さに切り霧吹きに水を入れて準備して置きます

◆…紙を張るには是非下から張らなければなりません、もし上から張りますと紙の繼目繼目に塵埃がたまつて汚くもあれば剝げ易くもあります、紙につぎ目が出る時には工夫して繼目々々を揃へるやうにすると體裁がよくなります、紙張がすんだら直霧を充分吹かけて乾くまで靜かにして置きますと小皺がのびてピンと氣持よく張れます、もし切張りをする場合には丁寧にその區劃だけ切取つてなるべく色の同じやうな紙で張ります

◆…あの古い障子に眞白な紙を張つたり、花形や丸形の紙をはつたりしたのは大變醜いものです

今冬の婦人服

アメリカのモード

奥さま連 餘り無關心（下）

住宅および家具類の塗裝と保存法に就て

滿鐵職業教育部　福岡庄一郎

分類法は多少人によつて違ひますが諸樣に別りよい分け方は次のやうであります

一、天然ワニス　これは日本特有の漆

一、油性ワニス　コーパル、ゴールドサイズ、ボデイーワニス、ダリマルワニス等

一、揮發性ワニス　樹脂を「テレピン」油に溶解した早乾性ワニス及樹脂をアルコールに溶解したアルコール性ワニス即ち普通「ラック」と稱するもの

一、水性ワニス　樹脂を「アムモニア」硼砂等溶劑を以て水に溶解したもので地圖の表面等に塗られて居るもの

以上ワニスの内には油脂中の色素を脱色した透明ワニス（白ワニス白ラック）があります

一、特殊ワニス　この中には油性揮發性何れも含有されて居りますが揮發性の内には「セルロイドワニス」として「セルロイド」を「アミールアセテート」で溶解し「アセトン」で薄めたものがあります「アセトン」が揮發して「セルロイド」の皮膜が出來るのであります、最近のラッカー類は此れの高級塗料であります（自動車塗用）この外は「スパーワニス」「コーケン」「ウルトラック」「タンガワニス」等油性及び人造樹脂塗料であります

色着け塗り方

「ワニス」「ラック」の塗方は

一、素地ペーパー當て掃除

二、目留、普通砥の粉を水煉りにしてそれに少量の糊を加へ木地にて木の目に詰め込み餘分を拭ひ取る

三、色着け、色着けには水色着け藥品を以て燒付け色着け、顔料を油煉りにして刷毛塗して木部に吸込まれた時拭取る油色着け市場既製品の「オイルステイン」色着け等の方法がありますが普通「ラック」塗には水色着け藥品色着け「オイルステイン」を用ひ「ワニス」塗には以上の何れをも採用する事が出來ます

杢目が地色と異り白、青、黄色等で現はれて居る机、鏡臺等を船簞笥、岩倉或は一般家具店で御覧になるだらうと思ひますがあれはこの目留と色着けの順序をひつくりかへし色着けを先にしてその色着けの落ちぬ樣に透明ラック一、二回刷毛引後白目留ならば石膏、白土、の類を色物は顔料で着色したものを油、水目留等自由にするものであります、以上目留色着けの終はつた後にワニス或は「ラック」を塗るのです「ワニス」なら「ターペンタイン」を以て稀薄にしたもの「ラック」なら一、二回刷毛引

一、「ワニス」「ラック」の塗

一、「サンドペーパ」零號位を以て刷毛斑を取り去り平滑にする

以上は普通の仕上げでありましてこれ以上の上等仕上げになりますと「ワニス」塗は其面を砥の粉を水練りにしたものをボロ、海綿、鹿皮等に附して硏磨するか砥石を以て水研ぎして塗料も吉野紙、金巾等で濾したものを使用するのです「ワニス」塗の艶消し仕上げも現在は艶消しワニスの如き塗料もありますが砥の粉で「フラット」するか不研ぎして其の面を艶消し仕上げにするものです「ラック」塗の方も上等仕上げになりますと刷毛の塗り放しでなくして青梅綿を金巾に包み所謂「タンポ」を以て此れに「ラック」を浸み込ませ（含ませ）塗面へ摺り附け乍ら仕上げる摺上げ水研ぎ水ペーパー當胴摺り等の仕上げ方があります、從つて「ワニス塗」「ラック塗」と申しましても其の色着け法塗方に依りまして塗單價は一樣でありません、

次に塗り上げ後塗面に小孔を生ずる、光澤に斑を生ずる、何時迄も「ネバリ」が取れぬ、膨れを生ずる等の現象の起る事があります、此等に付いて一々説明を加へたいのですが餘りに學究的になりますので、この點については御質問に應じたいと思ひます、大體以上の原因には塗料に原因する場合と塗り方に原因する場合と二つの場合がある事だけは申上げて置きます、

滿日各地版

共産系を壓倒して國民府の勢力增大

朴等の取調べ一段落で判明した不逞鮮人團の現勢

【撫順】既報不逞鮮人の巨頭朴元鎭（三）外一名は檢擧以來連日撫順署で取調中の處漸く一段落十九日一件書類と共に身柄を奉天總領事館に送致した彼等の自供に依り所謂不逞鮮人諸團體最近の動きが如何に判明した、彼等の自供に依ると撫順背後地に跳梁する不逞鮮人を大別して獨立の美名にかくれて鮮人を

迫害

搾取する「國民府なるもの」と産主義を奉ずる不逞團とに二分されてゐる、この共産主義傘下に蠢動する主なるものは朴元鎭等に屬す　東方革命軍がその代表者のものである東革軍は中國共産系と連絡、圖り鮮農等より單に賦課金、徵收するばかりでなく現在の經濟組織の根本をなす私有財産制に反對し財産の共有を主張し社會上には個人的特權に反對する等些も現社會組織乃至國家組織の根本と相容れぬ思想を宣傳する危險分子である、換言すればソウエートの走狗であり中國共産黨の犬である、この東方革命軍の出生は極めて最近に屬する、昨年七月末新濱縣興〻に

本部

を有する「國民府」は幹部級に軋轢を生じ共産主義に共鳴する幹部級の内約十名が各部下を率ゐて反國民府合委員會なるを組織し國民府倒壞を企てた、處が遂に果さずこの合同委員會なるものは解散のやむなきに至つた、茲で滿洲各所に散在する反國民府のものが大同團結して昨年十月頃朝鮮革命軍なるものを組織し其本部を柳河縣三山子に置いたが國民府との反目勢力爭ひから第二次的共産系合同を決行本年二月東方革命軍と改稱その總本部を吉林に移し各縣下に第一軍から第十九軍の本部を置き共産主義の宣傳をなすと共に良鮮農を獨占的搾取する手

手段

として「國民府」を僞して所謂不逞鮮人の滿洲統一を企て黨勢擴張に狂奔しつゝあつたものである、但し現在の狀態では東革軍等の共産主義者は到る所日支兩官憲に迫はれ且巨頭連亦檢擧され結黨式を擧げた當時の勢力がない是に反し獨立を標榜する國民府なるものゝ存在は中國側にとつては格別の毒にもならぬので共産系に比し是を援助する傾向あり往時共産系各種不逞鮮人に壓倒されかけた國民府は最近頓に黨勢を挽回し現在では共産系不逞鮮人團の勢力を優に凌駕する

現狀

にある事業が判明した結局彼等不逞の輩も人類界の鐵則歷史的興亡の跡を辿つてゐる譯だ

地方委員の選擧

日和見的情勢から漸く動き出した鐵嶺

【鐵嶺】當地における地方委員選舉は史上空前の沈滯氣分を漂はせてゐたが十八日に至り漸く正議長小野健治氏及び機關區より全員一致を以て吉浦豐氏を推すことゝなり名乗りが擧がつた、これに

刺戟

されて今まで日和見だつた各候補者も當然運動を開始すべく觀られてゐるが右二氏の外出馬說有力なるは

末廣榮二（市中現委員）田中鶴太郎（同）橋本勝藏（同）山下龍五（滿鐵新）久志助用又は小森澄一（滿鐵驛員）下山恭次郎（市中新）

右、外鐵から現委員であり鐵嶺驛務方の飛田健市氏は單身立候補し運動中の模樣あるも驛として全員一致して久志助役又は小森助役の何れかを推すべく内定せる模樣あれば此推薦候補を相手として飛田氏が單身闘ひ得るや否や疑問であり驛員一致して公認候補を定むるとあれば飛田氏の辭退を見るに至るやも知れず、其他　選說ある現委員山田梯藏、河村常次郎氏等

形勢

如何によつては出馬するやも知れず運動は短時日の間ながら相當猛烈となるやうである尚又候補すれば當選確實の電燈局長神所莊吉氏が大連に榮轉と決定したので有力な地盤を持たぬ市中

續く不況に一般に沈默

【四平街】來る十月一日改選さるべき地方委員選擧期日は愈々目捷に迫りながら往年の如く旗幟を鮮明にして堂々逐鹿界に馳馬を驅る者一名もなく極めて沈默裡に推移してゐる、此の奇怪の現象は何に原因したかといへば地方委員は公費査定に關し單に地方事務所長の諮問に應答するだけで何等決議權を附與

候補者は聊か安心の態である

スポーツ　全滿都市對抗の戰跡リレー競走

旅順側の陣容決定

【旅順】來る十月十七日擧行さる都市對抗戰蹟リレーレースに關し十八日午後一時から旅順市役所に於て市會議員町總代及び各方面のもの參集協議會を開催せるが陰山助役より從來の經過報告あり次で選手として

河野萬治、眞砂勝喜、岡澤巨、上倉義一、上倉仲一、山縣貫、柳澤忠次郎

の五名を承認したる上種々希望又將來に對する意見の開陳を行ひ結局戰蹟リレー選手後援會を設け一般より各任意の寄附金を募集することゝし之がため更に幹事五名は市役所に於て銓衡依囑する事と決定午後二時四十分散會した

泥棒に入つて就寢中御用

これは呑氣な盜賊

【撫順】盜賊に這入り是は亦暢氣にもグッスリ寢込んでゐた處を御用になつた男——本籍靜岡縣小笠郡堀之内村現住所不定五島五郎（三七）は鄕里で中學三年修了大正十二年五月渡滿鐵嶺驛務方に就職、昭和三年一月故あつて首となり爾來四平街、鐵嶺、奉天等を轉々本年七月撫順に流れ込み永安大街瀬田新聞店の外交となつたが茲も一ケ月で首次で東四條能文堂新聞店に雇はれたが成績不良亦追はれたる後も能文堂店員を裝ひ市内西九條加藤重太郎方等から新聞代を詐取してゐたが今度は本ものゝ盜賊に變り本月十七日午後十一時東鄕第一寮小林實の室に忍び入り茶色オーバー一枚をまんまと窃取それに味を占めその足で十八日午前一時頃東鄕第二寮撫順野球部現第一投手小寺伊六氏の室に忍び時價二十六圓のセーの袴を窃取大膽にも小寺君の布團を引張り出し高鼾で寢込んでゐる處へ午前六時頃小寺君が所用より歸宅發見されるや言葉にも「私は、天野田運動具店の御員ですがバットかグローブの御文はありませんかと誤魔化し永率方面へ逃走せんとするのをごこいさうはさせじと巨漢小寺君とつつかまり即時警察に引渡さたが餘罪その他に就き目下取調

婦人公論主催の文藝講演會中止

婦人公論社の讀者訪問記念文藝思想講演會は本社後援の下に過般來安東、奉天、撫順、大連において舉行して來ましたが奉天における日支衝突事件突發のため旅順における催しを中止することになりました、從つて講演會と共に催す筈であつた名士の原稿展覽會、座談會も同時に中止することになりました

やめられぬ馬賊

身代金を云ひなりに與へられ北叟笑みつゝ逃走

【撫順】世知辛い昨今うまくさせた馬賊大洋一萬五千元をせしめた馬賊本月初旬奉天城南門外五里河子落豪農土玉衡（五九）方にモーゼル銃所持の十名の匪賊現はれ王玉衡を人質として孤家子南方二支里の匪賊部落方面に逃走して後王の息宛現大洋一萬五千元を撫順縣某に持參せよ身柄と交換すべしとの追狀をよこしたが地名不詳のそのまゝになつてゐた處人質さ

スポンヂ野球

【四平街】スポンヂ大會第一回第三次戰機關A區對機關の試合は夜來の驟雨に氣遣はれた天候もカラリと晴れる十八日午後四時より川崎、越屋、牛澤三審の許に機關區先攻にて試合開始されたが同志打の形を起さしめ如何ともする能はず遂に機關區軍十對五にて勝つ

第二次戰

スポンヂ大會第一回第二次戰警察對驛A軍の試合は十七日午後四時北村、牛澤、寮坂三審の許に警察先攻にて試合始せしが警察軍の快打に亞ぐ快打を以て遂に十四對六にて警察快勝した

小林氏の救出を總領事館に請願

海城自主同盟起つ

支那人の心中死體

【安東】十六日午後五時頃江岸二丁目附近の鴨綠江岸に若い男の心中死體が漂着し居るを發見された、男は原籍山東省萊洲府掖縣生れ現在安東縣新安街韓家胡同殷國（二〇）女は原籍不詳現在舊市三柳巷妓實桂（二〇）といひ兩人共首を手拭の如き布にて堅く縛り男は伏し女は仰向のまゝ漂着せるのであつて何等他殺の疑ひなく人は馴染中のもので多分合意の入水自殺したものらし　醫師の檢視によれば入水後四五日を經過たもので死體は直に支那官憲に引渡した

三人組の匪賊

足の早い馬賊

主人の名前で留守宅を荒す

島中氏一行

兩氏の慰靈祭

定めし夫も滿足

井杉氏未亡人談

特產初出廻

品質は不良

無氣味な親切

沿線往來

内容目次

ハルビン

頼母子講取締

哈爾濱の頼母子講は監督官廳より再三の警告を受けて稍安定した觀はあるが未だ亂暴な全然採算のとれない落札をするものがあるので今回七割以下の落札は嚴禁することゝし新講は當分許可せざることゝなつた

茂林洋行主

市内琴平町茂林洋行主前野堅一氏は腦溢血のため東京驛河臺雲堂病院に入院し加療中であつたがその甲斐なく十七日午後七時遂に死去せる旨當地に入電があつたと

小袖曾我、熊野、角田川、太皷仕舞、富士太鼓、女郎花、舟辨慶、弱法師、館、嵐山

開催する計畫があり▲居住者の投票氣分が前回と餘程進歩して居る事は間違ひない▲商人は商業の立場から工業は工業發展の立場からと云ふ風に▲黨派は別段ないが吾等の欲する代表と云ふ意味からか▲本庄軍司令官容易に揮毫はしないと聞くのに遼陽では五六枚揮毫を振はれたと思ひ出多き遼陽先生の巷であつた遼陽だもの記念揮毫も御無理ないと察せらる▲期成會役員が旅館に本庄將軍を訪問した後市内の某氏が更に誠意を將軍に表した時誤偶々遼陽の振興發展問題に觸れたと聞く將軍が淋しく遼陽に多大の同情を寄せらるゝ事には在住民等と感激する處である

鐵嶺

鐵、電燈異動

滿鐵電燈局長稅所旺吉氏は着任以來滿一ケ年市民の信望篤く近く地方委員選擧には有志から推されて出場の筈であつたところ今回の滿電大異動により大連本社會計課長に榮轉の旨發表された後任には奉天滿電支店長長谷川收氏來任の筈尙技術部主任吉田榮氏も大連滿電所に轉任し後任は大連から齋藤喜一氏着任すると

今日の案内（二十日）

◇小學校大運動會　午前八時四十分より校庭に於て第十三回校内大運動會開催入場式後五十一回にわり體操遊戲や各種の競技があり父兄達多數が樂しみにしてゐた日で各方面から兒童の爲めに澤山の金品寄贈があつた

◇修養向上會　午後七時から滿鐵クラブに於て奉天三上和志師を聘し向上例會を開く團員は勿論一般の出席隨意

安東

電線切斷犯人

去る十四日老古溝驛附近に於ける電話線切斷事件については當局は極力犯人逮捕に努めて居るが當日安東郵便局電話交換事務當局の話に依ると十三日午後八時迄は通話に故障なく翌十四日午前五時半頃に到り通話が不能になつて居る點から察して切斷時刻は十三日午後八時過ぎから夜明頃迄の間に行はれたものと謂はれて居る尙切斷竊取したる四條の電線は鋼線で重量十三瓩時價約九圓程度のもので跡等を綜合するに犯人は通信妨害の目的ではなく財物竊取の目的からである事が明瞭となつたので或は滿鐵に從事して居た總織ある者か又は支那の電線保線夫の所爲にはあらずやと見られ當局は必死となつて犯人の捜査に努めて居る

平北勤儉週間

平安北道に於ける恒例の勤儉強調週間は十月一日より一週間と既定せるも都合に依り本年に限り十月十日より向ふ一週間と變更したが同週間の必行事項、實踐に關し十六日道內務警察、財務部長の連名を以て管下各官公署長に對し通牒を發する所があつた

地委委員會

安東地方委員會最後の委員例會は十七日午後二時より地事會議室に於て開催され終つて午後六時より料亭スミレにて慰勞宴會を催した

宇垣總督巡視

宇垣朝鮮總督は着任に旣に京畿、黃海、神道方面の巡視を終へたが國境の巡視をして近く來新の模樣である、期日は未だ公表せざるも本月末頃となるであらう

奉天

梅若流素謠會

奉天梅若流宗家後援歡迎會では來る廿四日午後三時半から滿鐵俱樂部に於て素謠會を催すが番組は左の如し

撫順

鄕軍射擊大會

時局頓に緊張せる折柄一朝事あるの秋に備へるべく撫順鄕軍人射擊大會は秋雨漸く霽れた十八日午より守備隊射的場で擧行午後三時終了したが成績次の如し

△一等第十三班警察百八十點△二等第一班庶務課百六十八點△三等第十一班古城子百六十三點△四等第九班老虎臺百五十五點△五等第十五班楊柏堡百五十點△六等第三班工事々務所△七等七班發電所△八等六班大山坑△九等第八班東鄕△十等第二班機械工場△十一等第十四班製油工場△十二等第十班龍鳳△十三等第五班運輸△十四等第十二班市中▲個人成績△一等中村芳喜太四十三點△最所勝三郎△太田三郎

エス語講習會

正に燈火親しむべき讀書の好シーズン九月下旬より約一ケ月每週火木土（午後三時半より一時間）撫中に於て國際語「エスペラント語講習會」を開催す講師は撫中教頭關教希望者は電三八六五か三〇八三に卽時申込むべしと

貴族院視察團

滿鮮、支那視察旅行團第一班貴族院の一行は大久保子爵を團長とし舟橋清賢子、土方寧法博、眞野文二工博、小松謙次郎、井上淸純男、伊江朝助男、南弘氏等打揃ひ十八日東京發朝鮮經由廿三日十五時五分撫順着、天掘製油工場等視察の上十八時四十分離撫、北行哈爾濱敦化等を視察十月二日午後八時大連五日午前發天津に向ふ豫定

鄕軍を慰藉

東三條松工務所松尾駒太郎氏の美擧第十二班市中在鄕軍人が市街特別警備の任に連夜奔勞してゐるのを慰藉すべく十八日午前金三十圓を警察を通じて寄贈したが一般に非常に感謝されてゐる

遼陽

神殿上棟式

遼陽神社の神殿建築は着々進行中であるが十八日午後一時から氏子總代會開催の結果廿一日午後四時から上棟式を擧行し遷座式は十一月二日神輿渡御は翌三日午前十時から執行することに決定したと

警務處改稱

遼陽警務處と云ふ名稱は中央の規定に合致せざるので十月一日を期し遼陽省公安管理處と改稱のことに決定したと

送別圍碁會

遼陽赤十字支部高橋主事の送別碁會は十七日午後四時から遼陽神社々務所で開催參會者廿餘名の多きに達したが當日入賞の碁客は一等堀川、二等大串、三等入江四等秋山、五等前田以下略

白塔便り

地委選擧は委員八名に今の處立候補十名だから二名だけ落選すれば頗る無難而も一年後には熟柿が落ちる事は旣定事實なのに▲宣言から發表斥候戰が開始され日一日と猛烈になり擧て僞裝戰に移りつゝあるが▲遼陽毎日は當選推擬投票を嚴密附で發表し▲奉天毎日、大連、滿日三支局は立候補者の意見發表會を

旅順

特許侵害事件

旅順白玉町東金堂加藤傳吉氏より大連沙河口霞町富田菓子店鬼山宅男に對する高粱汁粉及びその容器の新案特許權侵害告訴事件は旣報十七日夜井關檢察官來旅の上旅順刑務所に於て藤原作業部長及び鬼山と懇意である江藤看守に就て取調べを行ひ檢察官一行は同夜直に歸連せるが刑務所としては何等本事件には不正の點無く全く注文に依り製作した事が判明し刑務所當局も意外の事で一驚を喫し將來は大に愼重なる考慮の下に注文品の作業を引受ける方針であると

殺人事件檢證

十八日午前十一時大連地方法院川審判官、池內檢察官、書記一行來旅々順署より吉川司法主任、吉田巡査其他を帶同昨年十月二十五日安鐵屯に於ける殺人事件に關する實地檢證を行ひ午後は刑務所に於て關係者及び證人の取調べを行つた

小學校遠足會

旅順第一、二兩小學校では十八日早朝から各學年夫々左の如く遠足會を行つたが午前中の晴天に引きかへ午後一時頃の冷氣降雨で相當父兄の心配を釀したるも歸校を急いだ爲め五六年以上の者は多少の降雨に出會せるのみで一同無事豫定の地に於て解散した

一學年生　將軍山又は水師營
二學年生　水田松ヶ山方面
三學年生　三里橋水師營
四學年生　老虎尾方面
五學年生　双島灣方面
六學年生　老鐵山鳩嵐子
高等科生　双島灣鹽田

黃金臺

◇來る二十四日秋季皇靈祭當日をトし旅順驛主催の下に淸遊會を開催し松崎勇士の閉塞隊實話、戰跡說明等あり米內山署長も當日歡迎辭を述べ市役所では一行に對し湯茶の接待を爲す由で一行は約二百餘名の豫定

◇川端町三三趙存心方娼妓劉金桂（二一）は數日前婦人病院に收容されたが昨今の不景氣と病氣を悲しみ阿片少量を嚥下した處朋輩に發見され命を取止めた

◇十七日午前八時頃營城子會小磨子屯門富新三男大（一七）が營城子驛東北方を通行中隣村の李成俊二女李補哥（二〇）と出會し情交を迫つたので李補哥は大聲を上げ附近にゐた父兄を呼んだため大勢の百姓が馳付け突出されたので遂に了つた

御めでた

▲佐倉町三　丸山往香氏二女和惠子孃十□出生
▲同　岡田重次郎氏三男滿君同上
▲一戸町九　橫田愼太郎氏六女直子孃六日同上

漫画 三ちやん漫遊記

桂三助案 伴九郎画

1 三チヤンハ、オトヒメサマカラ、タマテバコヲモラツテ、カメノセニノリ、モトノウミベヘ、カヘリマシタ。

2 三チヤンハ、オトヒメサマノコトバヲワスレ、タマテバコヲアケマスト、パツトケムリガデテ、タチマチオヂイサンニナリマシタ。

3 三チヤンガ、コエヲアゲテナクノヲミテ、ポチガ、錠劑わかもとヲサシテ、ノンデ ゴランナサイ、トイヒマシタ。

4 ソコデ、サツソク錠劑わかもとヲノンデミマシタラ、マタモトノ三チヤンニ、ワカガヘリマシタ。

初秋の御用心

食事の進み過ぎから招き易い胃腸病

下痢が止る許りでなく
急に肥り出す面しろい雛の實驗

秋風が吹き初めると不味かつた御飯が急に美味くなり、食慾もずつと進んで參ります。これは今まで暑さのために疲憊してゐた身體の諸機關が急に活氣を呈して來るからです。從つて

病氣を癒すにも、より健康な身體に鍛えるにもこの期節が最も適切ですが、又一面から、病氣に罹り易いのもこの期節ですから、身體の榮養を司る胃腸を壯健にして、夏の衰弱を回復すると同時に、惡疫や感冒等に冒されない丈夫な體質を養ふ事が肝要です。

胃腸障害は、多くは食べ過ぎから起ります。殊に秋口に於ては、暑さで疲憊した胃腸の機能が充分恢復してゐないのに、食慾の進むにつれて**過食**しがちですから、注意を要します。それには攝取した食物をよく消化吸收せしめるやう、適當な消化劑を用ひるのも一つの方法でせう。

胃腸病で最も多い胃腸カタルの症狀は、痛みに續いて嘔吐又は下痢が起るのですが、あわてゝ下痢止を用ひるのはごく惡いので、寧ろヒマシ油で胃腸内の食物を下してしまつて、丸一日位は絶食して胃腸に休養を與へた上、最初は重湯、次には粥といふ風に漸次胃腸の恢復をまつて、普通食にして行くのがよろしいのですが、こんな時に澤村博士の『錠劑わかもと』を用ひると、下痢も止り、速かに胃腸の機能が恢復して、消化もよくなり大事に至らずに癒ります。

この『わかもと』が諸種の**胃腸**病に卓効あることは斯界専門醫家に認められて各公私の大病院にも用ひられてゐることですから、既に御承知の事でせうが、最近これが養鷄に用ひられて奏効した興味ある實驗が、雜誌『鷄の研究』八月號上に、千葉の養鷄家川村洋二郎氏によつて發表せられてゐます。それは氏が**育雛**されてゐた五十羽ばかりの雛が胃腸を害して食慾が詰まつたり、白色の下痢便を出したりして、僅か四五日に三十羽斃れてしまひました。それで氏は全滅の覺悟をされたが、ふと隣家の獸醫が犬の病氣に『わかもと』を用ひてよく効く話を思ひ出して『わかもと』の粉末を與へた處、二三日で急に斃死雛が止んで元氣が出、五六日の後には下痢もすつかり癒り、あれ程弱つてゐた雛が二十日目頃には早くも標準體重を**突破**して、平均四十匁弱の體重となり、六十日後の現在では二十三羽の平均體重が百八十匁となつたといふのです。これを以て見ても『錠劑わかもと』が從來の化學製劑などゝ違ひ、生物の生活機能に直接働きかけてその異常な健全に引戻し、衰弱を回復する作用の強いことが首肯されます。

朝夕の急な冷氣に風邪を引かぬ工夫

一年中で夏から秋への變り目程變化の迅速な時はありません。昨日まではシャツ一枚でも暑かつたものが、もう今夜は單衣ではうすら寒いなどゝいふ例は、毎年體驗するところであります。それにこの秋口は晝間と朝夕とでは

……**温**度の高低が非常に違ふものですから、油斷をすると寢冷して風を引いたり、お腹を壞したりします。

風邪をひかない方法としては、やたらに厚着をしたり、冷い風を避けたりしないで、むしろ身體を冷氣に觸れさせ、皮膚を鍛錬するのがよいので、近頃流行の裸體運動や日光浴は、この點からも推奨される譯ですが、それはいはゞ强健者のやる方法で

……**虚**弱な體質や病氣のある人には望めません。ところが『錠劑わかもと』をのみますと、裸體運動や日光浴で皮膚を鍛錬すると同樣の効果が得られ、不思議に風邪をひかなくなります。

これはこの藥の中に日光中の紫外線によつて體内に生ずるヴイタミンDを含んでゐるばかりでなく身體中の細胞に力を與へ、全身の抵抗力を著しく昂める成分を含んでゐますから、胃腸の働きが強まると同樣に、皮膚の働きも丈夫になつて寒熱を調節する作用が充分に行はれ、自然に風邪を引かなくなるのです。しかもこれがこの藥としては廣い効果の中の一つの枝葉に過ぎないのですから、風邪をひき易い病弱者がこれによつて受ける恩惠は計り知られぬものがあります。

下痢と便秘

下痢と便秘とは反對の症候で、從つてその藥も反對の作用あるものでなくてはならない……とは今までの化學藥劑の範圍では當然の事でありましたが、根本的に考へてみますと下痢も便秘もいづれも腸の機能が正常の軌道から、一つは右にそれ、一つは左にそれた爲に起つた病症で、もし腸の働きを正しい道にひき戻す藥があつたならそれは下痢にも便秘にも利かなければならない譯です。

ところが近頃さういふ藥が發見されて、胃腸病専門醫の興味をあつめて居ります。それは澤村博士の『わかもと』で、胃腸カタルに用ひれば下痢がとまり、便秘に用ひれば毎日軟便があるやうになる。つまり腸が根本から丈夫になるので、胃腸病者に喜ばれて居ります。

……**右**の榮養酵素劑『錠劑わかもと』は發明者たる榮養學者東大名譽教授澤村眞博士の篤志により、我國民の健康増進の爲め諸種の社會事業を行はんとする榮養と育兒の會より二三〇錠入一圓六十錢、八〇〇錠入五圓といふ犠牲的廉價で頒布されて居ります。希望者は東京市芝公園大門際四四、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）へ藥價だけ送付すれば、送料は會で負擔して急送されます。

米國費府の赤ん坊審査會で一等のカップを得たマリー・カーペアーさん（滿一年）

『わかもと』＝粉末＝新藥　九十瓦入卅日量一圓六十錢　「錠劑わかもと」同樣各藥店に販賣

母の手記

綠便、粘便、日に十五六回 二ケ月に及んだ乳兒が「一週間で健康便」

（千葉）大島たけ子

五月中頃のことです、今まで丈夫であつた次女の昭子が、急に大便が水の樣になり、一日に十五六回も下りました。

★

おどろいて早速醫者の診察を受けましたところが、急性腸カタルとの診斷で、藥をのませましたがよくならず、綠便、粘便が絶え間なしに出ます。お乳をのみますとすぐに腹が鳴つて、水の樣な便がでるのです。二ケ月も醫者に通ひましたが、よい方に向はず、結局洗腸しなければとお醫者にいはれました。

★

家にかへつて主人に相談いたしますと『わかもとといふ藥は、たしかに可いかも知れないから、ためしに呑ませて見よう』といひますので、早速求めてきて乳でといてのませました。すると、呑んだ翌る日、今までの綠便が黄色になりました。これに力を得て、缺かさず服用させましたら、一週間目には健康時の樣な便となりましたので、今更ながら『わかもと』の效力のすぐれてゐるのに感心いたしました。それからは家中皆わかもと黨となり、三ケ月の大瓶を求め、皆でのむ事に致しました。

★

丁度知人の子供も腸がわるくなりましたので、早速『わかもと』を知らせて上げましたら、すぐになほりましたさうで、大變よろこんでをられました。厚くお禮申上げます。

天皇陛下萬歲を絶叫して 壯烈な金子上等兵の戰死
一旦白旗を掲げて騙討ちした 頑强な寛城子支那兵

寛城子第六百六十三團第三營長の總指揮で十九日午前四時半より交戰頑强に抵抗した支那兵も我が山砲の威力に全く沈默し同十一時白旗を掲げて遂に我が軍門に降つた、わが駐剳第一大隊は直に兵舍に突入して支那兵の武裝を解除し機關銃、小銃、拳銃及彈丸、馬具、馬匹等の軍用品全部を馬車、トラックに山積して第四聯隊に輸送すると共に捕虜五百餘名を軍隊警護の下に徒歩第四聯隊に引上げた、この戰ひによつて兩軍の損失は未だ的確なる數は判明しないが**我軍は戰死者二十二名　負傷者三十餘名支那軍は戰死二十餘名　負傷者二十餘名（輕傷、逃走せる者多數の見込）て支那軍に比し我軍の死傷者が多かつた**のは支那軍が一度白旗を掲げて降伏したので我軍は武裝。解除すべく安心して兵舍に入つた際支那兵は突如騙討をやつたことが原因である、金子上等兵の如きは彼等のこの手によつて戰死したものであるが**死の直前天皇陛下萬歲を絶叫し**更に紙片に「皆様によろしく」との絶筆を殘して悲壯な死に就いたのである【長春電話】

寛城子の中央廣場に 慘！我戰死者を收容
激戰直後の修羅の巷を視察
本社記者　南里順生

寛城子を占領した我第一大隊は南嶺攻擊の友軍を應援するため息つく暇もなく急行したが、戰後の修羅場を視察のために記者は寛城子に急行した、途中護送中の支那捕虜兵一團及び捕虜憲兵團に路上で逢ひ一里餘を徒歩で兵營内に入る先づ左手に**寛城子軍總指揮官傅冠軍が負傷後官舍に逃込まんとしたが出血甚だしく官舍の玄關先で仰向けに戰死してゐる**右手は下士以下の兵舍で兵舍の内外に戰死者の死體及び負傷者が散を亂して斃れてゐる物凄い光景、兵舍は彈痕でむしろ凄慘を極めてゐる、中央廣場にはわが勇敢なる戰死者が收容されて並べてある、わが軍の攻擊陣地をみれば眼下に展開してゐて攻擊軍の苦戰が思はれる、衣服寢具等血に染まつて散亂してゐる　兵舍内に負傷者が呻くのも戰時氣分とはいへあまりにもむごい光景である、午後二時長春に歸つたが南嶺の戰況は未だはつきりしないしかしこれもただ時間の問題で日暮れまでには總攻擊を開始するにあらざるかとみられてゐる【長春電話】

遼陽城内婦女子 避難の命令
楊縣長に嚴重警告

遼陽附屬地は從來の自警團以外に在鄕軍人中からさしあたり三十名を召集武裝せしめて十九日午後五時から變電所水源地郵便局銀行その他の要所に配置警備し遼陽城内居留民の保護に就ては十九日午前三時山崎領事と長山署長は縣政府に楊縣長を訪問絶對保障を聲明せしめたるもなほ不安なるを以て同領事は婦女子に附屬地に避難するやう居留民會を通じて命じた【遼陽電話】

山海關以北 邦人保護
營口で手配中

北寧線の山海關以北の各地居住邦人の保護に就いては營口守備隊において手配中である

留守司令部 緊張多忙
激電頻々

軍司令部の奉天移駐により旅順軍司令部内はガランとしてゐるが中央軍部よりの命令、内地及び鮮滿等よりの激勵電報、奉天における戰況情報等續々として來たり、これを一々奉天の軍司令官に報告するので留守隊員は多忙を極めてゐる

北行旅客の 輸送開始
安全保證で

滿鐵線の下り旅客は蘇家屯驛に於て引返すか途中下車をさしてゐたが、我軍の奉天城を完全に占領したことによつて鐵道安全の保證を得たので蘇家屯着十二時四十分（但し鳳凰城より、前方危險のため四十分停車してゐた）の列車から朝からの一般旅客を北に向けて輸送を開始した【奉天電話】

西大連市民大會
けふ午後七時から大正校で

西部大連有志は今回の支那側の暴戾に對し、輿論を喚起して支那を膺懲すべく、二十日午後七時より大正小學校講堂に於て時局對策西部大連市民大會を開催することとなつた

ダンス場正式に許可
奉天ブロードウエー、大連海務協會、長春ヤマトホテルの三つ
營業ホールは奉天だけ

ダンスホールの許可については既報の如くあまりに出願者が多いので關東廳警務局でもこゝもさちよつと戸まどひの體で果していつになつたら許可指令が下るやらと出願者は勿論ダンス黨まで頗る心細さを感じてゐたが警務局では先づ大連市内の營利的ダンスホールは第二段として十八日附でかねて奉天警察署經由で

出願中

の奉天瀋陽通二十三番地富永十一氏が同通り四十四番地大倉組事務所前向ふに設置せんとする舞踊場「ブロードウエー」並に社團法人大連海務協會代表市川數造氏より出願中の寺内町三番地海務協會海員會館の海員慰安を目的とした特殊ダンスホール及び長春ヤマトホテルより出願中の宿泊所のダンスホール等以上三ダンスホールをさりあへず許可してダンス黨を喜ばせることになつた「ブロードウエー」は資金三萬圓でホールの廣さ五十七坪二階食堂つきの本館を新築し三ケ月後において

完成の

上はダンサー及びバンドを置きビール、日本酒、罐詰、干魚、果物、コーヒー等の飲食物を備へ午前九時より夜半十二時まで踊れるようになり大連海務協會のホールは三十五坪でこれは外國船員の慰安が目的であるがこゝにもダンサーを二名置くことになつてゐる

他は合流方を慫慂
聞いてくれなければ皆許主義だ
有田保安課長談

右に關し有田保安課長は語る

「何しろひどい、奉天、長春は一つはホテル經營で特種なものであり他は出願が一軒もなく出願者も支那要人達にも來て貰つても〔ら〕はうと大いに意氣込んでゐるのでやく數になつたのだ、大連は前からやつてゐるしつてホールは前からやつてゐるし海務協會だつて今度指令がおりたではないか、前にも話したやうにいくら國際都市大連でも十件の出願とは恐れ入つた、そんなに繁かるものとは思はないがれ、當局としては近々に出願者をよんで合流方を慫慂して見るつもりでゐる、十軒も許してしまつたら結局一軒も出來ないことになつてまた〔逐〕いちやないか、だがこちらのいふことを聞いてくれなければ皆許主義だ、僕も大連のモダンボーイのために飛んだ損な役割をかつたもんだよ、兎に角何かに片附けたいと思つてゐる」

外國船員慰安
海務協會當局者の談

右に關し海務協會當事者の話しに依れば從來外國船舶入港に際して接待舞踏會を催してゐたシーメンスホームのホールを今回の規定に從つた正式のダンスホールとしての許可を受けたもので但し從來通りのものではなく又職業ダンサー等もおかずレコード伴奏で同ホールの現在居る二人の女給が相手をなし若し參加者が多くパートナーが不足の際は市中の職業ダンサーを臨時雇ひ入れる程度で勿論ホール代若しくは會費等をとるものでなく外國船員慰安の全然奉仕的なものであると

水害地の救濟は 秩序立つて進行
金井衞生課長視察談

去る四日武漢地方水災視察のため上海に赴いた滿鐵衞生課長金井章次氏は十八日入港の大連丸で歸連したが、同氏を船室に訪へば語る

初めは武漢地方まで行く考へでしたが、日程の都合で上海まで行つたきりで、同地で救濟方面に關係のある人々と打合せをなし、大體こちらの手害も定めて歸つて來ました、始めは滿鐵からも新らしく救護班を出すつもりでしたが、彼方へ行つて見ると、非常に秩序立つた救濟方法を採つてゐるので、滿鐵としては唯連絡をとつて適當なる處置をなして行けばよいと思ひます、上海には國民政府水災救濟委員會と云ふが組織され、これに調査、財務、會計、稽核、衞生、防疫等の六班があつて大活動を續けてゐます、目下日本人が加つて働いてゐるのは衞生防疫班です、この他に、民間でも救濟大競馬會、白裝束宣傳隊等いろいろの催しがあつて救濟金の募集をやつてゐます、滿鐵の救護船が非常な好感を買つてゐたことは私として大變嬉しく思ひました

僞布教師公判

本籍東京府下寺島町二六六無職足立義次郎（三〇）に係る詐欺竊盜有價證券僞造行使詐欺事件の公判は十八日午前十時から大連地方法院第二號法廷で長島判官係、今村檢察官事務取扱ひ立會の下に開廷、島判官から懲役十ケ月に處する旨の判決言渡があつた、被告足立義次郎は、少しばかり經文が讀め、佛教の智識がある處から日蓮宗布教師全國少年教化會理事、文學士等の出鱈目な肩書を付けた名刺を振り廻し、北は樺太北海道から南は九州熊本の端まで行脚し、至る處で日蓮宗布教所施設のため行脚してゐると稱して信仰に厚い人々を欺いて金品を詐取しその被害高十八件に及んでゐるたものである

中止された 催し物

二十日大連に於て舉行する筈であつた市民射擊會主催の全滿射擊大會及び旅順工大對大連商業並に大連倶樂部對旅順醫大の兩ラグビー戰、滿鐵に於ける全滿柔道大會等は日支時局重大化に鑑み中止することゝなつた

大連のお巡りさん 對抗柔劍道試合
十八日大連署で擧行

大連、水上、小崗子、沙河口四警察署聯合の柔劍道對抗試合は十八日午後一時大連署演武場において擧行されたが各署選手元氣一杯に力鬪し劍道は大連一組と沙河口が優勝戰の結果大連側勝、柔道は大連水上對小崗子、沙河口に分れて試合し大連、水上組の勝に歸した、閉戰後石井大連署長より賞品授與、飯島水上署長閉會の挨拶を述べ、それより祝宴に移り五時散會、成績左の如し

▲劍道

▲大連一組　沙河口

〇〇蜂須賀　根本〇〇

〇〇飯盛　桑園〇〇

〇〇櫻井　渡邊〇〇

〇〇山下　西〇

〇東　渡邊〇〇

▲柔道

▲小沙組　大水組

手島　堀〇

大木（引分）荒川

植原　五十嵐〇

矢口（引分）河野

井上（引分）世良

〇佐藤　久間木

副將今田　副將門脇〇

大將三間（引分）大將阿部

將棋上達の秘訣

大崎八段が初心者の爲めに又と得難き將棋必勝秘訣を講談倶樂部十月號に發表、到る處大好評

梅若後嗣來る

謠曲梅若流の宗家梅若龜之、貞之の兩兄弟及び門下一行六名は十九日入港のうらる丸にて來連した、船中に訪へば龜之氏は語る

大連を終つて奉天、青島の演奏に巡り三十日青島出帆歸京する筈ですが時局によつては豫定の如く行けますかどうか【寫眞は梅若後嗣兄弟】

世界大戰の豫言

ラッサル博士は世界大戰の豫言もして居る。ロシアの共產主義さ米國の資本主義この戰爭だ。戰場はドイツ地方で、イタリーは佛國と仲が惡いから露を助けるかも知れない東洋諸國は露の味方だ。飛行機と大砲で歐羅巴を撒き散らすので西歐の諸國は消滅し數千萬人が犧牲になる。文明はすべて破壞されてしまう。米國には文明が殘るだらう。東洋諸國にも文明は存するだらう。

世界終末の豫言

「吾々は今や世界の終局にある。一九三五年はキリスト再臨の年だ」一層に世界は惡化しつゝあるが、遂にはパレスチナのエスドーロンの平原に未曾有の大戰が勃發し二億の兵士が集まつて干戈を交へる戰ひはキリストの再現によつて熄むであらう」これは有名なチオニストで且つ屢々世界の終末を豫言した地球扁平説の主張者ウキルバー・グレン・ヴオリヴア氏の豫言である。氏は更に大苦難時代の來ることを豫言し眞のクリスチャンは苦難を免れんとして地上を去るといつてゐる。聖書中の日附や文句から計算した根據ある説だと自稱してゐる

離縁請求漸次流行

蔡成勳と云へば前江西督軍で一時は飛ぶ鳥をも落す勢ひだつた。今は退職して天津英租界二十號路に住んで居るが、民脂を搜括して溜めた金は千萬元を下らず。所が其二號太々盧氏と云ふ婦人、最近逃げ出して離緣を請求し且つ養老金若干を請求して居る。盧は今二十八歲だが、十年前某妓樓から落籍したものだ。先達ては倪嗣仲（元安徽督軍だつた）の後嗣倪道杰の愛妾雲姑（元女優）が離緣を迫つて一萬二千元を得た。廢帝妃の問題もある。天津では追々さはやりものになるだらう。

四本手の雙兒

石家莊木廠街、劉九江の妻女張氏（二〇）は九月八日午後十時産氣づいて生み落したのが男の双兒。所が二兒共に手が四本づゝある

四A對二で 立教快勝
慶大敗る

【東京十九日發】慶立第一回野球戰は正午錢村（球）野村圓城寺伊丹（壘）審判の下に慶應先攻にて開始四A對二にて立教勝ち二時十分閉戰

バッテリー（慶應）水原、上野、小川（立教）辻、百瀨

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
慶應	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
立教	0	0	1	0	0	0	0	2	1A	4A

	打數	安打	失策
慶應	二七	四	二
立教	二九	九	一

ノーチラス號 十九日ベ港へ

【ノーチラス號にてウイルキンス大尉十七日發電】十七日ベルゲンに向ひつゝあるノーチラス號は目下パイロットに導かれ濃霧の中を進んでゐる風は強いが十九日にはベルゲンに到着しやう、昨夜は波荒く艦體は激しく動搖し危く斷れんとした、これがため乘組員は艦橋から投げ出される騷ぎで無電連絡も斷たれたが、ベルゲンが近づくに從つて海も穩かになると思ふ【本社版權所有】

リ機南京へ

【長崎十九日發】リンディ機は今朝八時五十四分福岡名島飛行場離水秋空を一氣に南京に向つた

教職員の左傾 運動對策協議

【東京十八日發】最近中小學教員で左傾運動をなすもの續出し漸次擴大の形勢があるので文部省學生部は對策を講するため赤化事件を出した府縣教育當局者を本省に召集し十八日午前九時思想問題對策地方教職員協議會を開き對策を考究した

ツエ伯號南米へ

【フリードリッヒ十八日發】去る七日南米から歸つたツエ伯號は十八日午前一時十五分當地發乘客郵便物を搭載して南米に向つた

島中氏一行

婦人公論讀者慰問班島中中央公論社長一行四名は十八日十五時廿九分着列車でハルビンより來長十六時卅分發列車で赴連した【長春電話】

刀劍同好會日延

大連刀劍同好では二十日例會の豫定であつたが滿鐵運動會當日に相當し會員中に缺席の向き多數あるので二十四日午後一時より遼東ホテル樓上に於て開催する事に繰延べとなつた

脇山氏赴任

大連水上署保安主任より一躍佐賀縣小城警察署長へ榮轉し同僚間に羨望の的となつてゐた脇山小一郎警部補は十八日出帆のはるびん丸で各警察署長始め同僚の見送りを受け新任地赴任の途についた

滿洲の秋 七草
葛

◇七草の中で一寸變つてゐるのは葛だ。葛粉、葛湯などゝ云へば誰でも知つてゐるやうが、葛の花を知つてゐる人は餘りない。大連では老虎灘靜ケ浦の電車停留場で下車して、老虎灘街道の方へ返れば右側の山に、一面にこの葛が繁つてゐる。

◇葛は眞葛、くずかづら等と云はれ、荳科の多年生纏繞草本で、山野に多く見られる。莖は蔦のやうな形で、細長く一二丈に達し、岩根草の根に巻きついて大きな葉を擴がらせてゐる。葉は三つの小さな葉から成り立つた形の複葉で、裏面は白い。

◇蕪村が詠じた「葛の葉のうらみ顏なる細雨かな」と云つた味は、風が吹くとひらくと飜へつて趣きが深い。この大きな葉が持つ獨特なものだ。秋になると花がさく、一寸藤の花に似た紫紅色の蝶形をしてゐる。花は可愛らしいが、小さくて大概葉のかげに隱れてゐる。莖は繩の代用になり、又優雅な籠等を作るのに使はれてゐる（寫眞は葛）

曙の鐘 (54)

倉田潮

淺枝次朗畫

淺草の夜(一)

春木正雄は今夜も淺草行きのタキシイに身を置いてゐた。

晴れてさはやかな秋の夜だつた。街の灯は橙や蜜柑を吊るしたやうに宵闇を飾つて、電車や自動車の響きが夜の底に亂れてゐた。

先日あけみの訪れて來た日のことを考へると、惡夢のやうな氣がするのだつた。あけみは初めからあゝいふ意圖をもつて春木を訪れて來たのだらうか。それとも話しの行きがかりで戀心打ちあけ最後にあゝ云ふきようたいを演じて了つたのだらうか。それは解らないにしても春木が殆どあけみの手中に陷つて了はうとしたのは事實だつた。あれほどたえ子を戀し、あれほどあけみを憎んでゐたのに、誘惑にあふと一とたまりもなくあけみの魅力に眩惑されて了つたこ

ないことはなかつた。それは彼の男の意地からしても許し得ないことだつた。あの日あけみに云つた通り彼が次日から社に出ないのもやはり其の男の意地からだつた。一度口から外したことを、彼はあさに引くことは出來ない。

淺草は土曜の晩なので、非常なざつとうだつた。夜もこゝでは紅く明るい。その紅い夜の中に人がぎつしりとつまつて、うごめきながら流れて行く。兩側からは哀愁をおびた樂隊がその流れにマーチを合はせてゐた。

春木は急ぎ足で人の流れを横ぎつてOKチャリネの裏口を這入つた。階段のところから見物席を覗いて見ると、今夜もマリアが出ない爲か客が殆ど半分しか這入つてゐなかつた。たえ子のことでマリアが小舍を休んでゐると思ふと、

が、つくりたいゝかげんで切りあげて、ベルをならして火の番を呼び、例の通りの夜食や茶をたのんでから春木の前に來て坐つた。春木は毎晩のことなので氣の毒で仕方がなかつた。が、それないふさよ子ぎは笑ひながら、

「毎晩來る人が來ないと、淋しいものよ、この間なんか、來てくれないので、一晩中足りないやうな氣がしてたわよ」

さう云つて、少しも變らない好意の笑を浮べたが、鳥渡あらたまつて、

「それに、こん夜はあんたに逢ひ度いと云つてる人があるから、ゆつくりしてつて下さいな」

と、出幕のベルに呼ばれて部屋を出て行つた。

さを考へると、不思議のやうでもありまたふがいないことでもあつた。もしあの時マリアが部屋に這入つて來なければ、春木は今はあけみと戀におちてゐたかもしれなかつた。しかも、今なほ彼はあけみを思ふと、心に不思議な動揺を感じるのだつた。たえ子の樣子をさぐると云つて剛太郎のもとへ行つたマリアは、この頃は病氣なのか毎日小舍を休んでゐる。たえ子の消息は今もつて少しも解らない。今まであの屋敷にとぢこめられて毎日壯三に迫られ續けてゐることを思へば、たえ子が壯三の心に從つて了つたと云ふ想像もいちがいに邪推であるとばかり云ひ切れない氣もする。では、思ひ切つて過去のことを一さい無いことゝあきらめて、あけみの心に從はうか。あらためてあけみの戀をいれてやらうか。

とにかくあけみは長い間戀らすを戀をかけ續けてゐてくれた。今までの一さいの邪惡もその戀から出發して來た行爲であると思へば、憎んでばかりもゐられなくなるのだつた。

しかし、今になつてあけみの戀をいれるのは負けたやうな氣がし

春木は氣の毒な氣がしたが、しひて元氣に楠後の部屋に這入つた。

「ようこそ、春木」

と京極よもぎは例のやうににこやかな笑顔を鏡臺の前から見せた。彼女はマリアのあなうめに、次幕の出のしたくをしてゐるのだつた

滿日臨時碁戰

三段 增淵辰子孃
先番三段 大磯義勇氏

(第一譜 一—百六十)

滿日俳壇

島田青峰選

鷄頭

大連 高木春蔭

鷄頭や西日まぶしき倉の壁

さり〲の色美しき鷄頭かな

窓下に鷄頭燃ゆる夕日かな

鷄頭の色の赤さや夕に照る

澄み渡る空の青さや鷄頭燃ゆ

鷄頭や仰げば空の高々さ

鷄遊ぶ荒れたる園や鷄頭花

けふの放送

大連 JQAK

九月廿日午後六時五十分

▲ニュース

▲謠曲「鉢の木」(觀世左近師レコード)說明泉泰一郎

▲尺八「都山流本尚寒砧」一部沖野靜山、二部小笠原米山

▲新日本音樂「虫の聲」「鈴虫」箏福森勾當、尺八小笠原米山

▲義太夫「新版歌祭文、野崎村の段」淨瑠璃福田二龍、三味線竹本佐太夫

▲ラヂオ體操

▲天氣豫報

▲中國劇「上天臺」連東俱樂部々員

東京 JOAK

九月廿日午後六時卅分

(映畫の夕)▲放送映畫劇「沖戰河古原城」冬島泰三作、十時左馬之助(尾上榮五郎)中兄右馬之助(正宗新九郎)弟米馬(實川正三郎)叔母よし枝(環歌子)娘道枝(浦濱須磨子)田々維庄左衛門(坪井哲)兵堂伴作(志賀靖郎)其の他大勢、解說早稻田旭濤、伴奏歌舞伎座管絃樂團▲映畫小唄「レビユーの蹟」「パリーの屋根の下」「一太郎ヤーイ」「ラモナ」「さむらひ日本」「リリオム」「野に叫ぶもの」田谷力三、伴奏コロナコンサートオーケストラ▲ラヂオコメディ「風船玉とバジャマと戀」北村小松作(場景)或る文化住宅内の應接間、父「武田春郞」母「飯田蝶子」長女藤子「村瀨幸子」其の夫幸太郎「石山龍嗣」次女節子「川崎弘子」其の戀人牧「日守新一」放送指揮「清水宏」

衛生相談

療病顧問

痔瘻の初期

昨年の二月痔核を手術して全治しましたが最近肛門の奥にシコリの樣なものがあつて痛みを覺ます、痔疾とは違ふやうに感ぜられますが何でしようか(小石川 天野)

(答)痔瘻の初期であらうと思ひます、瘻孔が外部に開口せずに居るのです、放任して置くとやがて孔が開き膿汁を分泌します。體質との問題もありますから、よく醫師とご相談の上早く治療なさる方がよろしいでしよう。

出血と貧血

姙娠の時から痔が惡くなり時々紙に血がつく程度したが、最近ひどく出血しますので、顏色が惡くなり、困つて居ります、よい療法を(大阪 さよ子)

(答)痔出血は甚だしく貧血を招くものです、餘病等の問題もありますから用心に如くはありません、適當な痔疾藥を挿入して出血を止めなければなりません、自宅で用ひるには小松ぢの藥などが一番よろしいでしよう。

疣痔と鎮痛藥

最近肛門の内側に小さな疣が二つ三つ出來て、激しく痛みます、痛みを止める藥をお敎へ下さい。(埼玉 松木生)

(答)凡ての痔疾藥は鎮痛收斂作用があります、しかし痛みを止めるだけでなく、痔核そのものを消すのが本當です、小松ぢの藥など用ひてごらんなさい。

ガツチヤキと大蒜

裂痔(ガツチヤキ)で三月ほど前から、歩行困難、出血、痛みが止みません、痔疾にニンニクがよく効くと聽きましたがほんとうでしようか(北海道 M生)

(答)ニンニクが果して痔疾に効くかどうか……は醫學的には未定ですからハツキリ申上げられませんそれよりは優秀な醫師なり藥なりの方が安全でしよう、家庭療法ならば小松ぢの藥などがあります。

痔疾の療法に就て御照會下さい。叮嚀に御說明いたします。(宛先は東京日本橋瀨戸物町玉置合名會社保健保究のこと)

醫療新說

一旦治つた痔疾が何故?再發するか

新しく發見された重大な痔疾の原因

人は

病の器であるといふ四百四病は昔の話で現代には果して幾百の病氣があるか…思ふだに肌に粟立つではないか……しかもそのなかで最も現代生活と關係深く亡國病の名が擬にしつゝあるものに結核と痔疾のがある、結核のことはさて置いて痔疾の多いことは專門病院すら舌を捲いてゐるといふ話である。

何故

現代人にかく迄に痔疾が多いかといふことについて最近學界多數の權威者によつて驚くべき新發見が齎らされた。それに據れば從來本病の原因は單に常習性の便祕、硬糞の停滯によ、壓迫暴飮暴食、内臟諸疾患、花柳病、姙娠、椅子久座、長時間の乘馬自轉車乘等によつて起る痔靜脈の鬱血と認められてゐたのであるが、果然この他に今一つ重大なる素因が困却されてゐることが發見されて肛門病學的に一大衝動を捲起したのである。

この

新しき發見によれば元來人體の各部に於ける靜脈管には其要所々々に血液還流に必要なる特有の瓣を有して鬱血停滯せざる樣造化の妙を盡してゐるのであるが、何故か肛門周圍の痔靜脈に限つてこの瓣を缺除するものなることが明白となり、靜脈還流の圓滑を缺ぎ、解剖學的に怖るべき痔疾の重大なる原因を成しつゝあるといふことが斷定されたのである。

痔疾

が血を流し肉を裂くの痛苦を忍びて治療するも尙且次から次へと再發の浮目を見、患者をして痔疾不治の痛ましき幻想を抱かしめる、その大原因が何處にあるかは、この新發見によつて極めて明確に說明されることとなつた即ち痔疾の原因が在來稱へられて居たるが如く、生理的及び生活的原因にありとすれば、その原因は患者の攝生によつてこれを排除し又患部は之を切除することによつて治療の目的は完全に達せらるべきであるが、前記の如く解剖學的主因ありとせば、この鬱血素因を排除せざる限り、痔疾の再發は或る程度避くべからざることになる譯である。

兹に

於て目下治療界に於て熱心な研究の焦點となつてゐるものは痔疾を治すといふことも勿論重要であるが、同時に次の發生を豫防するといふことがより重大な必要事ではあるまいかといふことである。具體的に言へば瓣の缺如による鬱血をいかにして防ぐかその新しい方法こそ治療界に課せられた大きな宿題でなければならぬ。

とこ

ろで現在行はれてゐる治療法の裡で豫防的意義をも兼ねてゐる家庭療法は藥物による療法であるが、藥物の選擇とその使用法は最も愼重であらねばならない使用法を簡單に述べるならば、治療効果としては主として挿入藥或は塗布藥が有効であり、豫防的効果としては内服藥が適當であらう内服藥は主として痔毒を下すことと便通を整へることによつて鬱血を除くすることに焦點が置かれてあるからである、故にこの三種或は二種の交互應用こそ痔疾を治す秘訣といはねばならない。

尙痔疾藥として、この際最も信賴すべく實際的効果のすぐれてゐるものとしては一小松ぢの藥一等が第一に數へられてゐる。この藥の効果は既に定評あるものであるが連用によつて痛みを除き、出血を防ぎ、患部を消毒し、肉芽の新生を助ける外、怖るべき鬱血の機會を除くする樣深甚なる考慮がその配劑の上に加へられてゐると言はれてゐる。同病者の爲に紹介して置く(小松ぢの藥は全國藥店デパートに販賣されて居ります)